函　教　学
令和５年(2023 年) ７月１９日

函館市教育委員会
　教育長　藤井　壽夫　様

函館市小学校用教科用図書選定委員会
委員長　　島　　修一

令和６年度（２０２４年度）使用中学校用教科用図書および令和６年度（２０２４年度)使用教科用図書のうち学校教育法附則第９条に規定する教科用図書（一般図書）の選定について

令和５年６月７日付け函教学で諮問のあったこのことについて，別添答申資料のとおり答申いたします。

令和６年度（２０２４年度）使用

小学校用教科用図書選定委員会

答　申　資　料

＜小学校用教科用図書選定委員会経過＞

第１回（R5.6.7）	・令和６年度(2024 度)使用小学校用教科用図書の選定および令和６年度(2024 年度)使用教科用図書のうち学校教育法附則第９条の規定による教科等図書（一般図書）の選定について諮問
第２回（R5.7.18）	・令和６年度使用小学校用教科用図書および令和６年度使用教科用図書のうち学校教育法附則第９条の規定による教科等図書（一般図書）について調査・研究（１日目）
第３回（R5.7.19）	・令和６年度使用小学校用教科用図書および令和６年度使用教科用図書のうち学校教育法附則第９条の規定による教科等図書（一般図書）について調査・研究（２日目） ・選定委員長へ報告

函館市小学校用教科用図書選定委員会

委員長　　島　　修　一

副委員長　　永　井　貴　之

1 教科書名

発行者名	教科書の記号・番号					
2 東京書籍	国語 109 110	国語 209 210	国語 309 310	国語 409 410	国語 509	国語 609
教科書名	新編あたらしい こくご一上 新編あたらしい こくご一下	新編 新しい 国語二上 新編 新しい 国語二下	新編 新しい 国語三上 新編 新しい 国語三下	新編 新しい 国語四上 新編 新しい 国語四下	新編 新しい国語五	新編 新しい国語六

2 調査研究内容

取扱内容（学習指導要領の総則及び各教科，各学年の目標，内容等）	○ 〔知識及び技能〕の内容については，目標を達成することができるよう，次のような学習活動が取り上げられている。 第 1,2 学年～ 昔話の読み聞かせを聞くなどして，好きな場面を友だちに教える活動や，物の名前を表す言葉を使ってしりとりをしたり，仲間分けしたりする活動 第 3,4 学年～ 身の回りにある物をローマ字で書いたり読んだりする活動や，いろいろなことわざや故事成語の意味を調べたり，使い方を考えたりする活動 第 5,6 学年～「竹取物語」などの古文を音読し，言葉の響きを楽しむ活動や，相手や 場面に応じ敬語や改まった言葉遣いを考えたり使ったりする活動 ○ 話すこと・聞くことについては，目標を達成することができるよう，次のような学習活動が取り上げられている。 第 1,2 学年～ 思ったことを話したり聞いたりして話をつなぐ活動や，伝えたいことを選んで，宝物を紹介する活動 第 3,4 学年～ メモを取りながら人の話を聞く活動や，司会や提案者などの役割を意識 して話し合う活動 第 5,6 学年～ インタビューをして，自分の知りたいことを相手から聞き出す活動や，学校生活をよりよくする工夫を考え，資料を使って提案する活動 ○ 書くことについては，目標を達成することができるよう，次のような学習活動が取り上げられている。 第 1,2 学年～ いろいろな乗り物について，本で調べて乗り物カードを作る活動や，家でしていることについて，友だちが分かりやすいように，文章を書く活動 第 3,4 学年～ 大事なことが伝わるように，案内の手紙を書く活動や，書いた文章を読み返し，よいところを確かめる活動 第 5,6 学年～ 心の動きや出来事の様子が伝わるように，表現を工夫して短歌を作る活動や，論の進め方を工夫して，提案書を書く活動 ○ 読むことについては，目標を達成することができるよう，次のような学習活動が取り上げられている。 第 1,2 学年～ 物語を読んで，好きなところを見付ける活動や，どんな順序で説明されているかを考えて読む活動 第 3,4 学年～ 物語を読んで，中心人物の行動や気持ちについて，考えたことを伝え合う活動や，文章を読んで目的に合わせて要約し，紹介する活動 第 5,6 学年～ 伝記を読んで，生き方について考えたことを感想文にまとめる活動や，文章を読んで，意見や感想を伝え合い，自分の考えを広げる活動 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については，次のような学習活動が取り上げられている。 第 1,2 学年～「ことばの力」や「学しゅうのながれ」において，学習課題を設定し，見通しをもたせるとともに，登場人物の様子を思い浮かべながら音読したり，自分の知っていることを結び付けて文章を読んだりするなど，考えを広げたり深めたりする活動

	第 3,4 学年～ 「言葉の力」や「学習の流れ」において，学習課題を設定し，見通しをもたせるとともに，登場人物の性格について，想像したことを伝え合ったり，自分の体験と結び付けて筆者の考えを捉えたりするなど，考えを広げたり深めたりする活動 第 5,6 学年～ 「言葉の力」や「学習の流れ」において，学習課題を設定し，見通しをもたせるとともに，物語の組み立てや山場での登場人物の気持ちの変化について，考えたことを伝え合ったり，複数の文章を関係づけて読み，分かったことを整理したりするなど，考えを広げたり深めたりする活動
内容の構成・排列	第 1,2 学年～ 第1学年で，登場人物の設定を考えながら物語を書く活動，第2学年で，絵を見て場面のつながりを考えながら物語を書く活動を取り扱うなど，2学年を通じて系統的・発展的に学習できるような工夫 第 3,4 学年～ 第3学年で，登場人物の様子や場面を想像して音読で表す活動，第4学年で，登場人物の気持ちを想像して音読で表す活動を取り扱うなど，2学年を通じて系統的・発展的に学習できるような工夫 第 5,6 学年～ 第5学年で，意図を明確にして計画的に話し合い，考えを広げる活動，第6学年で，自分の立場を明確して話し合い，考えを広げる活動を取り扱うなど，2学年を通じて系統的・発展的に学習できるような工夫
使用上の配慮等	○ 伝えたいことが相手に伝わるように，工夫して話す活動（第4学年）や相手や目的に応じて情報を集め，パンフレットを作る活動（第6学年）を通して，相手意識や目的意識を明確にするとともに，読書に親しむ習慣や態度を育むため，読書単元「本は友達」を掲載する（全学年）など，児童の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 「言葉の力を集めよう」で当該学年で学習する単元と「言葉の力」を示したり（第 2～6 学年），「言葉の力のつながり」で「言葉の力」の系統表を示したり（第 3～6 学年）するなど，児童が主体的に学習に取り組めるような工夫がなされている。 ○ 独自開発の教科書体を中心に，文字の小さな箇所にはUDフォントを使用したり（全学年），紙面内の文字や図版などの区別を明確にし，配置や色使いを工夫したり（全学年）するとともに，1人1台端末を活用した学習活動として，二次元コードを掲載し，単元導入の動画やアニメーション，「話すこと・聞くこと」のモデル動画等を活用できるようにする（第2～6 学年）など，使用上の便宜が図られている。
その他	○ 各単元のとびらで学習の流れが明示され，指導者にも学習者にも学習内容や学習過程が分かるよう構成されている。また，既習事項が単元の始めに提示されており，児童が見通しをもち，主体的に学びを進めることができるような工夫がなされている。 ○ 「情報のとびら」が前の単元と後の単元との間に適切に配置され，「読むこと→情報のとびら→書くこと」等，学習者の学びや思考をつなげることができるよう工夫がなされている。 ○ デジタルコンテンツには，漢字や語句に関する練習問題も提示されている。特に新出漢字の学習については，例文や熟語の提示が豊富で，児童が日々の学習で主体的に活用することができるような工夫がなされている。

小委員会委員氏名

小委員長名	委　員	委　員	委　員	委　員	委　員	委　員
能登　雅宏 （港小）	白幡　俊一 （学識経験者）	向　大喬 （PTA）	中村　一美 （湯川小）	佐藤　倫子 （昭和小）	天内美貴子 （青柳小）	吉田実千代 （戸井学園）

1 教科書名

発行者名	教科書の記号・番号					
17 教育出版	国語 111 112	国語 211 212	国語 311 312	国語 411 412	国語 511 512	国語 611 612
教科書名	ひろがることば しょうがくこくご一上 ひろがることば しょうがくこくご一下	ひろがることば 小学国語二上 ひろがることば 小学国語二下	ひろがることば 小学国語三上 ひろがることば 小学国語三下	ひろがることば 小学国語四上 ひろがることば 小学国語四下	ひろがることば 小学国語五上 ひろがることば 小学国語五下	ひろがることば 小学国語六上 ひろがることば 小学国語六下

2 調査研究内容

取扱内容（学習指導要領の総則及び各教科，各学年の目標，内容等）	○ 〔知識及び技能〕の内容については，目標を達成することができるよう，次のような学習活動が取り上げられている。 第1,2学年～ 昔話などの読み聞かせを聞いて面白いと思ったところを発表する活動や，言葉探しゲームで似た意味の言葉をまとめる活動 第 3,4 学年～ 日常使われている簡単な単語についてローマ字で読んだり書いたりする活動や，故事成語などの意味を調べてカードを作り，相手に紹介する活動 第 5,6 学年～ 相手や場面に応じて敬語を使う活動や，「枕草子」などの古典を音読して，昔の人のものの見方や感じ方を知る活動 ○ 話すこと・聞くことについては，目標を達成することができるよう，次のような学習活動が取り上げられている。 第 1,2 学年～ 話す事柄の順序に気を付けながら発表する活動や，質問したり答えたりしてつないで話し合う活動 第3,4学年～ 調べたことを資料にまとめて大事なことが伝わるように発表する活動や，役割に気を付けながら話し合う活動 第 5,6 学年～ 資料を使って効果的に発表する活動や，地域の防災について，パネルディスカッションにおいて立場を明確にして話し合う活動 ○ 書くことについては，目標を達成することができるよう，次のような学習活動が取り上げられている。 第1,2学年～ 写真を見て想像したことを基に物語を書く活動や，身の回りの生き物について調べてわかったことを基に生き物クイズカードを作る活動 第3,4学年～ 見学したり調べたりしたことをまとめて報告するリーフレットを作る活動や，想像したことを基に，設定や展開を考えながら物語を書く活動 第5,6学年～ 構成や表現を工夫したポスターを作る活動や，文章全体の展開を工夫して物語を書く活動 ○ 読むことについては，目標を達成することができるよう，次のような学習活動が取り上げられている。 第1,2学年～ 文章と絵を結び付けて読むことのよさについて考えたことを伝え合う活動やあらすじや心に残ったところなどをまとめて紹介する活動 第3,4学年～ 文章を読んで考えたことをまとめる活動や，登場人物の性格や気持ちの移り変わりについて分かったことを伝え合う活動 第5,6学年～ 事例と解説を基に筆者の考えについて読み取る活動や，伝記を読んで生き方について，自分の考えをまとめる活動 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については，次のような学習活動が取り上げられている。 第1,2学年～「学習のてびき」において，学習課題を設定し，見通しをもたせるとともに，登場人物が考えていたことを想像しながら読んだり，説明の順序に気を付けて内容の大体を捉えて読んだりするなど，考えを広げたり深めたりする活動 第3,4学年～「学習のてびき」において，学習課題を設定し，見通しをもたせるとともに，登場人物の気持ちの変化について想像しながら読んだり，大事な言葉や文に気を付けて要約しながら読んだりするなど，考えを広げたり深めたりする活動 第5,6学年～「学習のてびき」において，学習課題を設定し，見通しをもたせるとともに，物語に使われている表現の工夫について考えながら読んだり，筆者の論の進め方についてまとめたりするなど，考えを広げたり深めたりする活動

内容の構成・排列	○ 内容の構成・排列については，次のような工夫がなされている。 第 1,2 学年～ 第1学年で，身の回りの生き物を友達に知らせる文章を書く活動，第2学年で，身の回りで見付けたものを友達に知らせる文章を書く活動を取り扱うなど，2学年を通じて系統的・発展的に学習できるような工夫 第 3,4 学年～ 第3学年で，自分の気持ちが相手に伝わるように礼状を書く活動，第4学年で，送る相手や伝える目的に合わせた手紙や電子メールを書く活動を取り扱うなど，2学年を通じて系統的・発展的に学習できるような工夫 第 5,6 学年～ 第5学年で，意図をもって話を聞いたことを基に考えたことをまとめる活動，第6学年で，相手の思いを考えながら聞き，感想を伝え合う活動を取り扱うなど，2学年を通じて系統的・発展的に学習できるような工夫
使用上の配慮等	○ 人の話を聞いて，初めて知ったことを友達に伝える活動（第1学年）や写真や図表を効果的に使い，読む人の興味を引く図鑑を作る活動（第4学年）を通して，相手意識や目的意識を明確にするとともに，多様なテーマの図書を紹介した「読書の広場」を掲載する（全学年）など，児童の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 「ひろがる言葉」でどのような内容を学び，どのような言葉の力を身に付けるのかを示したり（全学年），各単元で言語活動の具体的な場面をイラストや図版で示したり（全学年）するなど，児童が主体的に学習に取り組めるような工夫がなされている。 ○ 教科書体を基本としながら，UDに配慮したオリジナルフォントを使用したり（全学年），色調のバランスや形の上で区別しやすいようカラーUDに配慮したり（全学年）するとともに，1人1台端末を活用した学習活動として，二次元コードを掲載し，児童作品例の別バージョンや補完版，資料画像等を活用できるようにする（全学年） など，使用上の便宜が図られている。
その他	○ 巻頭の目次で領域ごとの学習が明示され，一年間を見通した学習計画を立てることができるため，主体的な学びへとつながる工夫がなされている。 ○ 各学年・各単元で学習活動の場面を挿絵で例示し，児童が学習内容や学習活動を具体的にイメージし，思考を広げられるような工夫がなされている。 ○ 巻末の付録には，教材に関連した「読み物」や「言葉の道具箱」「新出漢字」が提示されており，児童の学びを広げたり，実生活での活用を促したりする工夫がなされている。

小委員会委員氏名

小委員長名	委　員	委　員	委　員	委　員	委　員	委　員
能登　雅宏 （港小）	白幡　俊一 （学識経験者）	向　大喬 （PTA）	中村　一美 （湯川小）	佐藤　倫子 （昭和小）	天内美貴子 （青柳小）	吉田実千代 （戸井学園）

1 教科書名

発行者名	教科書の記号・番号					
38 光村図書	国語 113 114	国語 213 214	国語 313 314	国語 413 414	国語 513	国語 613
教科書名	こくご一上 かざぐるま こくご一下 ともだち	こくご二上 たんぽぽ こくご二下 赤とんぼ	国語三上 わかば 国語三下 あおぞら	国語四上 かがやき 国語四下 はばたき	国語五 銀河	国語六 創造

2 調査研究内容

取扱内容〔学習指導要領の総則及び各教科，各学年の目標，内容等〕	○ 〔知識及び技能〕の内容については，目標を達成することができるよう，次のような学習活動が取り上げられている。 第 1,2 学年～ 昔話の読み聞かせを聞いて面白かったところや出来事について感想を伝え合う活動や，様子を表す言葉やたとえを使って文を作る活動 第 3,4 学年～ 身の回りで使われている簡単な単語についてローマ字で書いたり読んだりする活動や，短歌や俳句を言葉の響きを楽しみながら音読する活動 第 5,6 学年～ 「竹取物語」や「平家物語」などの古文を様子を想像しながら音読する活動や，日常よく使われる敬語に使い慣れる活動 ○ 話すこと・聞くことについては，目標を達成することができるよう，次のような学習活動が取り上げられている。 第 1,2 学年～ 友達と相談しながら問題を作ってクイズを出し合う活動や，相手の考えを引き出す質問をし合う活動 第 3,4 学年～ 質問しながら友達の話を詳しく聞く活動や，学級全体で話し合いの議題を決め，役割を意識しながら話し合う活動 第 5,6 学年～ 意図が伝わるように質問したり，それに答えたりする活動や，質問して考えを広げ，問題点や改善点を明らかにして考えをまとめたりする活動 ○ 書くことについては，目標を達成することができるよう，次のような学習活動が取り上げられている。 第 1,2 学年～ 知らせたいことを明確にして手紙を書く活動や，観察したことを記録する文章を書く活動 第 3,4 学年～ 身の回りの仕事を取材してレポートにまとめる活動や，災害への備えに対する自分の考えを書く活動 第 5,6 学年～ 考えが伝わるように書き方を工夫して意見文を書く活動や，相手や目的を考えて引用したり図表を用いたりしてパンフレットを作る活動 ○ 読むことについては，目標を達成することができるよう，次のような学習活動が取り上げられている。 第 1,2 学年～ 役割を決めて音読したり演じたりする活動や，獣医の仕事を説明する文章を読んで考えたことを伝え合う活動 第 3,4 学年～ 文章を読んで考えたことをまとめ，伝え合う活動や，登場人物の気持ちの変化について考えをまとめ，交流する活動 第 5,6 学年～ 文章の要旨を捉え，考えたことを伝え合う活動や，構成や表現に着目し，作品の世界を想像しながら読む活動

	○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については，次のような学習活動が取り上げられている。 第 1,2 学年～ 「がくしゅう」において，学習課題を設定し，見通しをもたせるとともに，場面や登場人物の様子を想像しながら読んだり，文章を読んで分かったことを伝え合い，関連する本を選んで読んだりするなど，考えを広げたり深めたりする活動 第 3,4 学年～ 「学習」において，学習課題を設定し，見通しをもたせるとともに，筆者の説明の仕方の工夫を見付けながら読んで考えたことを伝え合ったり， 物語を読んで登場人物の気持ちの移り変わりについて考えたことを伝え合ったりするなど，考えを広げたり深めたりする活動 第 5,6 学年～ 「学習」において，学習課題を設定し，見通しをもたせるとともに，文章と図表やグラフ，写真などを結び付けながら読んだり，複数の文章を読んで，それぞれの特徴について考えたことを伝え合ったりするなど，考えを広げたり深めたりする活動
内容の構成・排列	○ 内容の構成・排列については，次のような工夫がなされている。 第 1,2 学年～ 第1学年で，学校で見付けたものを知らせる文章を書く活動，第2学年 で，町の中で見付けたもののよさを知らせる文章を書く活動を取り扱うなど，2学年を通じて系統的・発展的に学習できるような工夫 第 3,4 学年～ 第3学年で，相手に必要なことが伝わるように行事を案内する手紙を書く活動，第4学年で，相手に気持ちが伝わるように礼状を書く活動を取り扱うなど，2学年を通じて系統的・発展的に学習できるような工夫 第 5,6 学年～ 第5学年で，特定の立場に立って意見を述べ合う活動，第6学年で，様々な考え方を聞いて自分の考えを広げたり深めたりする活動を取り扱うな ど，2学年を通じて系統的・発展的に学習できるような工夫
使用上の配慮等	○ 夏休みの出来事を友達に知らせる活動（第1学年）や知らせたいことが読む人に伝わるよう工夫して新聞を作る活動（第4学年）を通して，相手意識や目的意識を明確にするとともに，図書館の活用方法や多様なジャンルの読み物を紹介した「本は友達」を掲載する（全学年）など，児童の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 「国語の学びを見わたそう」で学習の進め方や当該学年で学ぶ言葉の力を示したり（第 2～6 学年），「見通しをもとう」で学習過程を明確にしたり（第 2～6 学年）するなど，児童が主体的に学習に取り組めるような工夫がなされている。 ○ 自社作成の教科書体や着目させたい箇所及び文字の小さな箇所などにUD書体を使用したり（全学年），複数の情報の識別が必要な図版の色の組み合わせや色調に配慮したり（全学年）するとともに，1人1台端末を活用した学習活動として，二次元コードを掲載し，発表や話し合いなどの動画資料，作家へのインタビュー等を活用できるようにする（全学年）など，使用上の便宜が図られている。
その他	○ 巻頭の「国語の学びを見わたそう」によって，一年間を通した学習の進め方が提示されており，児童が 1 年間の学習の見通しをもつことができるような工夫がなされている。 ○ 学習の手引きに学習の流れが簡潔で指導事項が明確に示されていることから，個別最適な学びと協働的な学びの活動のバランスがとれており，児童の意欲や考える楽しさを引き出すことができる単元構成となっている。 ○ 児童にとって身近な生活場面を想定した教材の内容となっているとともに，指導内容に適したデジタルコンテンツが提供されており，児童が目標達成に向け，最適な学びができるような工夫がなされている。

小委員会委員氏名

小委員長名	委　員	委　員	委　員	委　員	委　員	委　員
能登　雅宏 （港小）	白幡　俊一 （学識経験者）	向　大喬 （PTA）	中村　一美 （湯川小）	佐藤　倫子 （昭和小）	天内美貴子 （青柳小）	吉田実千代 （戸井学園）

1 教科書名

発行者名	教科書の記号・番号					
2 東京書籍	書写 106	書写 206	書写 306	書写 406	書写 506	書写 606
教科書名	あたらしい しょしゃ 一	新しい しょしゃ 二	新しい書写 三	新しい書写 四	新しい書写 五	新しい書写 六

2 調査研究内容

取扱内容（学習指導要領の総則及び各教科，各学年の目標，内容等）	○ 硬筆については，次のような学習活動を取り上げ，目標を達成できるようになっている。 第 1,2 学年～ とめ，はね，はらいなどの点画の書き方に気を付けて書いたり，整った文字を書くための書き方を考えたりする活動を通して，点画の書き方や文字の形に注意しながら，筆順に従って丁寧に書く活動 第 3,4 学年～ 文字の大きさと字間に気を付けて書いたり，行の中心を整えて書くための書き方を考えたりする活動を通して，漢字や仮名の大きさ，配列に注意して書く活動 第 5,6 学年～ 横書きの行の整え方を確かめて書いたり，場面に合わせて書く速さを考えたりする活動を通して，用紙全体との関係に注意して，文字の大きさや 配列などを決めるとともに，書く速さを意識して書く活動 ○ 毛筆については，次のような学習活動を取り上げ，目標を達成できるようになっている。 第 3,4 学年～ 点画それぞれの書き方や筆圧に注意して書いたり，点画の長さや間隔などを考えて書いたりする活動を通して，毛筆を使用して点画の書き方への理解を深め，筆圧などに注意して書く活動 第 5,6 学年～ 点画のつながりを意識して書いたり，文字と文字のつながりを考えて書いたりする活動を通して，毛筆を使用して，穂先の動きと点画のつながりを意識して書く活動 ○ 硬筆と毛筆の関連については，次のような学習活動を取り上げ，目標を達成できるようになっている。 第 3,4 学年～ 点画の種類や書き方，左右の部分の組み立て方など，毛筆で学んだことを生かして硬筆で書く活動を通して，硬筆による書写の能力の基礎を身に付ける活動 第 5,6 学年～ 筆順と点画の接し方，用紙に合った文字の大きさなど，毛筆で学んだことを生かして硬筆で書く活動を通して，硬筆による書写の能力の基礎を身に付ける活動 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については，次のような学習活動が取り上げられている。 第 1,2 学年～ 「見つけよう」において，学習課題を設定し，見通しをもたせるとともに，「しょしゃのかぎ」（第2学年）を参考にして整った文字の書き方について考えたり，画の方向や間隔を確かめながら書いたりするなど，考えを広げたり深めたりする活動 第 3,4 学年～ 「見つけよう」において，学習課題を設定し，見通しをもたせるとともに，点画の書き方について筆圧を中心に話し合ったり，「書写のかぎ」（第 3学年）を参考にして毛筆や鉛筆で文字を書いて確かめたりするなど，考えを広げたり深めたりする活動 第 5,6 学年～ 「見つけよう」において，学習課題を設定し，見通しをもたせるとともに，次の文字に向かう動きについて考えたことを話し合ったり，「書写のかぎ」（第6学年）を参考にして毛筆や鉛筆で文字を書いて確かめたりするなど，考えを広げたり深めたりする活動

内容の構成・排列	○ 内容の構成・排列については，次のような工夫がなされている。 第1学年～ 平仮名や片仮名について，「とめ，はらい，はね」などの点画の書き方を確かめた後に，漢字の点画の書き方や字形に気を付けて書く活動を取り上げるなど，系統的・発展的に学習できるような工夫 第2学年～ 漢字について，筆順や画の長さ，方向，つき方などを確かめた後に，文字の外形や中心を考えながら書く活動を取り上げるなど，系統的・発展的に学習できるような工夫 第3学年～ 毛筆について，1字の漢字の点画の書き方，筆圧を確かめた後に，2字の平仮名の送筆部分の丸みを考えながら書く活動を取り上げるなど，系統的・発展的に学習できるような工夫 第4学年～ 毛筆について，1字の漢字の画の長さと間隔，方向を確かめた後に，2字の漢字の筆順と字形，漢字の組み立て方を考えながら書く活動を取り上げるなど，系統的・発展的に学習できるような工夫 第5学年～ 文字の組立て方や配列などを確かめた後に，目的に合った筆記具を選択し，様々な用紙に書く活動を取り上げるなど，系統的・発展的に学習できるような工夫 第6学年～ 点画のつながりや書く速さ，文字の組み立て方を確かめた後に，用紙に合った文字の大きさと余白，位置を考えて書く活動を取り上げるなど，系統的・発展的に学習できるような工夫
使用上の配慮等	○ リーフレットや実験記録の書き方など，国語や他教科における学習と関連を図った教材を掲載したり（第 3,5 学年），もののかたちからできた漢字のはなしを掲載したり （第1学年）するなど，児童の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 当該学年の学びを他教科や学校生活に生かす単元「生活に広げよう」を掲載した配り（全学年），さまざまな観点から文字文化に触れるコラム「文字といっしょに」を掲載したり（全学年）するなど，児童が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ 見やすく読み間違えにくいユニバーサルデザインフォントを採用したり（全学年）， 全ての児童の色覚特性に適応するようなデザインにしたり（全学年）するとともに， 1人1台端末を活用した学習活動として，二次元コードを掲載し，毛筆の準備や文字の書き方の動画を活用できるようにする（全学年）など，使用上の便宜が図られている。 ※ 小学校用教科書目録（令和6年度使用 文部科学省）による ○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。
その他	○ 「書写の学び方」によって，「①見つけよう」では学習のねらいをつかみ，話し合い，「書写のかぎ」でポイントをおさえ，「②確かめよう」で毛筆や鉛筆で書いて確かめ，「③生かそう」，そして「振り返ろう」で，「考えたこと」「分かったこと」「書けたこと」を実感できる構成となっている。 ○ デジタルコンテンツによって，低学年はアニメーションによりめあてを明確にとらえることができ，高学年は大事なポイントを確かめるようになっている。また，各学年のまとめを巻末の詳細な「書写のかぎ」としてまとめ，1年間の自己の学びを振り返って次につなげる活動を明確に思考することができる。 ○ 「生活に広げよう」の「書写のかぎ」により，これまでの学習を振り返り，日常生活や他教科とのつながりを意識して活用できるよう工夫されている。また，「文字といっしょに」では，「漢詩」「論語」（6年）「枕の草子」（5年）「百人一首」（4年）などを硬筆の題材とし，伝統的な文化を意識できる構成になっている。

小委員会委員氏名

小委員長名	委　員	委　員	委　員	委　員	委　員
石川　朋実 （千代田小）	白幡　俊一 （学識経験者）	向　大喬 （PTA）	佐々木　道彦 （中島小）	菅野　幸子 （上湯川小）	渡邉　宗彦 （中の沢小）

1 教科書名

発行者名	教科書の記号・番号					
17 教育出版	書写 107	書写 207	書写 307	書写 407	書写 507	書写 607
教科書名	しょうがく しょしゃ 一ねん	小学 しょしゃ 二年	小学 書写 三年	小学 書写 四年	小学 書写 五年	小学 書写 六年

2 調査研究内容

取扱内容（学習指導要領の総則及び各教科，各学年の目標，内容等）	○ 硬筆については，次のような学習活動を取り上げ，目標を達成できるようになっている。 第 1,2 学年～ とめ，はね，はらいなどに気を付けて書いたり，どちらの形が整っているかを考えたりする活動を通して，点画の書き方や文字の形に注意しながら，筆順に従って丁寧に書く活動 第 3,4 学年～「はらい」の方向に気を付けて書いたり，なぜ筆順どおりに書くことが大切なのかを考えたりする活動を通して，漢字や仮名の大きさ，配列に注意して書く活動 第 5,6 学年～ 用紙に対する文字の大きさと配列に気を付けて書いたり，目的に合った書く速さを考えたりする活動を通して，用紙全体との関係に注意して，文字の大きさや配列などを決めるとともに，書く速さを意識して書く活動 ○ 毛筆については，次のような学習活動を取り上げ，目標を達成できるようになっている。 第 3,4 学年～「横画」や「縦画」の筆使いに気を付けて書いたり，点画の接し方と間隔を考えて書いたりする活動を通して，毛筆を使用して点画の書き方への理解を深め，筆圧などに注意して書く活動 第 5,6 学年～ 穂先の動きと，線と線のつながりに気を付けて書いたり，文字の大きさと配列，点画のつながりを考えて書いたりする活動を通して，毛筆を使用して，穂先の動きと点画のつながりを意識して書く活動 ○ 硬筆と毛筆の関連については，次のような学習活動を取り上げ，目標を達成できるようになっている。 第 3,4 学年～ 点画の種類や筆使い，左右や上下の文字の組み立て方など，毛筆で学んだことを生かして硬筆で書く活動を通して，硬筆による書写の能力の基礎を身に付ける活動 第 5,6 学年～ 漢字どうしの大きさ，用紙に対する文字の大きさと配列など，毛筆で学んだことを生かして硬筆で書く活動を通して，硬筆による書写の能力の基 構礎を身に付ける活動 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については，次のような学習活動が取り上げられている。 第 1,2 学年～「めあて」において，学習課題を設定し，見通しをもたせるとともに，「考える」（第2学年）を参考にして画の方向の違いについて考えたり， 左はらいの方向の違いに気を付けて書いたりするなど，考えを広げたり深 めたりする活動 第 3,4 学年～「めあて」において，学習課題を設定し，見通しをもたせるとともに，「結び」の筆使いや形について考えたり，「ここが大切」（第4学年）を参考にして「結び」の筆使いを確かめて書いたりするなど，考えを広げたり深めたりする活動 第 5,6 学年～「めあて」において，学習課題を設定し，見通しをもたせるとともに，目的に合った書く速さについて話し合ったり，「ここが大切」（第5学年） を参考にしてメモの取り方について確かめたりするなど，考えを広げたり 深めたりする活動

内容の構成・排列	○　内容の構成・配列については，次のような工夫がなされている。 第1学年～ 平仮名や片仮名について，「とめ，はらい」などの点画の書き方や字形を確かめた後に，漢字の点画の書き方や字形に気を付けて書く活動を取り上げるなど，系統的・発展的に学習できるような工夫 第2学年～ 片仮名や漢字について，筆順や画の方向，長さ，つき方などを確かめた後に，文字の中心や形に気を付けて書く活動を取り上げるなど，系統的・ 発展的に学習できるような工夫 第3学年～ 毛筆について，1字の漢字の点画の書き方，筆圧を確かめた後に，2字の平仮名のやわらかい筆使いに気を付けて書く活動を取り上げるなど，系統的・発展的に学習できるような工夫 第4学年～ 毛筆について，1字の漢字の穂先の通り道や筆圧の変化を確かめた後に，2字の漢字の筆順と字形，漢字の組み立て方に気を付けて書く活動を取り 上げるなど，系統的・発展的に学習できるような工夫 第5学年～ 文字の組み立て方や大きさなどを確かめた後に，用紙に対する文字の大きさや配列を考えて，筆記具を工夫して書く活動を取り上げるなど，系統的・発展的に学習できるような工夫 第6学年～ 文字の大きさと配列，文字の組み立て方を確かめた後に，用紙に対する文字の大きさと配列，点画のつながりに気を付けて書く活動を取り上げるなど，系統的・発展的に学習できるような工夫
使用上の配慮等	○ 俳句や話し合いメモの書き方など，国語や他教科における学習と関連を図った教材を掲載したり（第 3,6 学年），視写の教材として国語で学習した文学教材を掲載したり（全学年）するなど，児童の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 身に付けた書写の力を学習活動等に生かす題材「レッツ・トライ」を掲載したり（全学年），多様な文字文化への関心を高める「知りたい文字の世界」を掲載したり（全学年）するなど，児童が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ 見やすさ等に配慮したユニバーサルデザインフォントを採用したり（全学年），より多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインに配慮したり（全学年）するとともに，1人1台端末を活用した学習活動として，二次元コードを掲載し，学習時に参照できる運筆動画等を，ウェブサイトで見られるようにする（全学年）など，使用上の便宜が図られている。 ※ 小学校用教科書目録（令和6年度使用 文部科学省）による。 ○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。
その他	○ 「学習の進め方」によって，「①つかむ」で，試し書きをすることでめあてを確認し，「②確かめる」で，「めあて」にそって書き，「③振り返る」では，学習前の自分や友だちとの比べ合い，「④生かす・広げる」で，硬筆により生かし，「レッツ・トライ」で他教科の学習につなげる構成となっている。 ○ 「めあて」が青文字で明確に表記され，QRの実際に書いている動画により，見通しをもって主体的に学習を進めることができる。低学年の水書がどの教材にも示されており，毛筆にもつながる点画のつながりや筆圧に目を向け学習が進められるようになっている。 ○ 目次に「書写で学習したことを，他の学習や，生活の中で生かそう」に示され，提示されている教科数や具体的な例の数も多く，実生活との関連を強く意識できる構成となっている。また，他教科との学習につなげる「レッツ・トライ」においても「めあて」が示されており，身に付けたことを活用できるよう工夫されている。

小委員会委員氏名

小委員長名	委　員	委　員	委　員	委　員	委　員
石川　朋実 （千代田小）	白幡　俊一 （学識経験者）	向　大喬 （PTA）	佐々木　道彦 （中島小）	菅野　幸子 （上湯川小）	渡邉　宗彦 （中の沢小）

1 教科書名

発行者名	教　科　書　の　記　号・番　号					
38 光村図書	書写 108	書写 208	書写 308	書写 408	書写 508	書写 608
教科書名	しょしゃ 一ねん	しょしゃ 二年	書写 三年	書写 四年	書写 五年	書写 六年

2 調査研究内容

取扱内容（学習指導要領の総則及び各教科，各学年の目標，内容等）	○　硬筆については，次のような学習活動を取り上げ，目標を達成できるようになっている。 第 1,2 学年～ とめ，はね，はらいなどの点画の終わりに気を付けて書いたり，整った文字を書くためのきまりを考えたりする活動を通して，点画の書き方や文字の形に注意しながら，筆順に従って丁寧に書く活動 第 3,4 学年～ 部分の組み立て方に気を付けて書いたり，文や文章を読みやすく書くための文字の大きさや配列を考えたりする活動を通して，漢字や仮名の大きさ，配列に注意して書く活動 第 5,6 学年～ 場面によって，書く速さを変えて書いたり，文字の大きさや配列を考えたりする活動を通して，用紙全体との関係に注意して文字の大きさや配列などを決めるとともに，書く速さを意識して書く活動 ○　毛筆については，次のような学習活動を取り上げ，目標を達成できるようになっている。 第 3,4 学年～ 「横画」や「縦画」等の筆使いに気を付けて書いたり，部分の組み立て方を考えて書いたりする活動を通して，毛筆を使用して点画の書き方への理解を深め，筆圧などに注意して書く活動 第 5,6 学年～ 筆順と画の付き方を意識して書いたり，文字と文字のつながりを考えて書いたりする活動を通して，毛筆を使用して，穂先の動きと点画のつながりを意識して書く活動 ○　硬筆と毛筆の関連については，次のような学習活動を取り上げ，目標を達成できるようになっている。 第 3,4 学年～ 点画の種類や筆使い，左右や上下の部分の組み立て方など，毛筆で学んだことを生かして硬筆で書く活動を通して，硬筆による書写の能力の基礎を身に付ける活動 第 5,6 学年～ 点画のつながりと字形，筆順と点画のつながりなど，毛筆で学んだことを生かして硬筆で書く活動を通して，硬筆による書写の能力の基礎を身に付ける活動 ○　主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については，次のような学習活動が取り上げられている。 第 1,2 学年～ 「導入・理解」において，学習課題を設定し，見通しをもたせるとともに，整った字の書き方について見付けたり，「たいせつ」（第2学年）を参考にして画の長さに気を付けて書いたりするなど，考えを広げたり深めたりする活動 第 3,4 学年～ 「ねらい」において，学習課題を設定し，見通しをもたせるとともに，穂先がどこを通るかを考えたり，「たいせつ」（第4学年）を参考にして「折れ」の筆使いを確かめて書いたりするなど，考えを広げたり深めたりする活動 第 5,6 学年～ 「ねらい」において，学習課題を設定し，見通しをもたせるとともに，文字と文字のつながりが感じられる理由を話し合ったり，「たいせつ」（第 6学年）を参考にして点画のつながりを意識して書いたりするなど，考えを広げたり深めたりする活動

内容の構成・排列	○　内容の構成・配列については，次のような工夫がなされている。 第1学年～ 平仮名や片仮名について，「とめ，はね，はらい」などの点画の書き方を確かめた後に，漢字の点画の書き方や字形に気を付けて書く活動を取り 上げるなど，系統的・発展的に学習できるような工夫 第2学年～ 漢字について，筆順や点画の間，画の長さ，つき方などを確かめた後に， 文字の外形や中心に気を付けて書く活動を取り上げるなど，系統的・発展的に学習できるような工夫 第3学年～ 毛筆について，1字の漢字の点画の種類や筆使いを確かめた後に，2字の平仮名の丸みに気を付けて書く活動を取り上げるなど，系統的・発展的に学習できるような工夫 第4学年～ 毛筆について，1字の漢字の上下左右の組み立て方を確かめた後に，漢字どうしの大きさに気を付けて書く活動を取り上げるなど，系統的・発展的に学習できるような工夫 第5学年～ 文字の大きさと読みやすさを確かめた後に，文字の配列に注意して，筆記具を使い分けて書く活動を取り上げるなど，系統的・発展的に学習できるような工夫 第6学年～ 三つの部分をもつ漢字の組み立て方を確かめた後に，筆順と点画のつながりを意識して書く活動を取り上げるなど，系統的・発展的に学習できる
使用上の配慮等	○　手紙や横書きの書き方など，国語や他教科における学習と関連を図った教材を掲載したり(第 3,4 学年)，日常とのつながりが実感できる教材を掲載したり(第1学年) するなど，児童の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○　書写での学習を他教科に生かす教材「書写広げたい」を掲載したり(全学年)，書写で学んだことを生かして，日常の言葉や物語，短歌，俳句を書いて味わう「ことば」を掲載したり(全学年)するなど，児童が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○　読みやすさを考慮して独自に開発したオリジナルの教科書体を使用したり(全学年)，色覚の多様性に配慮し，誰もが識別できる配色にしたり(全学年)するとともに，1人1台端末を活用した学習活動として，二次元コードを掲載し，筆使いを確かめる動画やアニメーションを活用できるようにする(全学年)など，使用上の便宜が図られている。 ※ 小学校用教科書目録(令和6年度使用 文部科学省)による ○　学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。
その他	○　「学習の進め方」によって，「①考えよう」で整った文字を書くための決まりを見つけ，「②確かめよう」では，「たいせつ」によって書き方を確かめて毛筆で書き，「③生かそう」で学習したことを生かして鉛筆で書く配列となっており，各ページでも「学習の進め方」が詳細に示されており，学び方がわかりやすく提示されている。 ○　比較する文字が提示されたり， 間違いやすい例を示されるたりしていることで，学習者が見通しをもって課題に取り組み，主体的に学習が進められるように工夫されている。QR でも興味・関心を高める動画が多くおさめられており， 自己の学びを振り返って次の活動につなげられるようになっている。 ○　スタートカリキュラムを理解しやすく「すたーとぶっく」（１年）で硬筆「毛筆スタートブック」（３年）で毛筆「SDGs ブック」（４年）で他教科との関連「書写ブック」（６年）で６年間のまとめにより，各学年に応じたガイドが示されており，身に付けたことを，他の学習や生活の場面でも活用できるよう工夫されている。

小委員会委員氏名

小委員長名	委　員	委　員	委　員	委　員	委　員
石川　朋実 (千代田小)	白幡　俊一 (学識経験者)	向　大喬 (PTA)	佐々木　道彦 (中島小)	菅野　幸子 (上湯川小)	渡邉　宗彦 (中の沢小)

1 教科書名

発行者名	教科書の記号・番号					
2 東京書籍	社会 305	社会 405	社会 505	社会 506	社会 605	社会 606
教科書名	新編 新しい社会 3	新編 新しい社会 4	新編 新しい社会 5 上	新編 新しい社会 5 下	新編 新しい社会 6 上	新編 新しい社会 6 下

2 調査研究内容

取扱内容	○ 市を中心とする地域社会に関する内容については，目標を達成することができるよう，次のような学習活動が取り上げられている。 第３学年～地図や写真を用いて地域の土地の様子や地域で働く人々について調べたり，消防署や警察署などの地域の安全を守る働きについて調べたりする活動 ○ 県を中心とする地域社会に関する内容については，目標を達成することができるよう，次のような学習活動が取り上げられている。 第４学年～風水害や地震などの自然災害から人々を守る活動について調べたり，文化財や郷土芸能，用水路の開発など，地域の発展に尽くした人々について調べたりする活動 ○ 我が国の国土と産業に関する内容については，目標を達成することができるよう，次のような学習活動が取り上げられている。 第５学年～地球儀や地図帳を用いて北方領土等の日本の国土の様子について調べたり，米づくりに関わる人々の生産性や品質を高める努力について調べたりする活動 ○ 我が国の政治と歴史，国際理解に関する内容については，目標を達成することができるよう，次のような学習活動が取り上げられている。 第６学年～選挙の仕組みや税金の働きから我が国の政治の働きについて調べたり，学習したことと結び付けて日本の世界文化遺産や日本遺産などについて調べたりする活動 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については，次のような学習活動が取り上げられている。 ・第３学年～市の様子の移り変わりの学習において，学習問題を設定し，見通しをもたせるとともに，市の交通網の発達について調べたり，市の土地利用や暮らしの変化について話し合ったりするなど，考えを広げたり深めたりする活動 ・第４学年～人々の健康や生活環境を支える事業の学習において，学習問題を設定し，見通しをもたせるとともに，市のごみ処理の移り変わりについて調べたり，市のごみ処理に関して起きている課題について話し合ったりするなど，考えを広げたり深めたりする活動 ・第５学年～我が国の工業生産の学習において，学習問題を設定し，見通しをもたせるとともに，自動車の生産について調べたり，これからの自動車づくりにとって大切なことについて話し合ったりするなど，考えを広げたり深めたりする活動 ・第６学年～グローバル化する世界と日本の役割の学習において，学習問題を設定し，見通しをもたせるとともに，日本とつながりの深い国の人々の生活について調べたり，日本と外国の人々の文化や生活の違いについて話し合ったりするなど，考えを広げたり深めたりする活動

内容の程度・排列・分量等	○ 内容の構成・排列については，次のような工夫がなされている。 ・第３学年～地域に見られる生産や販売の仕事については，農家の人々の仕事の様子や工場で働く人々の仕事の様子の事例を取り上げるなど，地域の実態に応じて取り扱う内容を選択できるよう構成し，系統的・発展的に学習できるような工夫 ・第４学年～県内の特色ある地域の様子については，景観を生かしたまちづくりに取り組む人々や古い町並みを生かしたまちづくりに取り組む人々の事例を取り上げるなど，地域の実態に応じて取り扱う内容を選択できるよう構成し，系統的・発展的に学習できるような工夫 ・第５学年～我が国の国土の様子と国民生活については，地形に特色のある地域に住む人々の生活や気候に特色のある地域に住む人々の生活の事例を取り上げるなど，地域の実態に応じて取り扱う内容を選択できるよう構成し，系統的・発展的に学習できるような工夫 ・第６学年～我が国の政治の働きについては，子育て支援の願いを実現する政治の取組や震災復興の願いを実現する政治の取組の事例を取り上げるなど，地域の実態に応じて取り扱う内容を選択できるよう構成し，系統的・発展的に学習できるような工夫 ○ 内容の分量については，次のようになっている。 ・第 3 学年～市を中心とする地域社会に関する内容が 142 ページで，前回比-5% ・第 4 学年～県を中心とする地域社会に関する内容が 170 ページで，前回比-7% ・第 5 学年～我が国の国土と産業に関する内容が 260 ページで，前回比-6% ・第 6 学年～我が国の政治と歴史・国際理解に関する内容が 280 ページで，前回比-3% ・自然災害及び防災に関する内容(ページ数)～3 年:4　4 年:43　5 年:38　6 年:31 ・アイヌの人たちの歴史・文化等(箇所数)～3 年:0　4 年:0　5 年:11　6 年:10 ・北方領土に関する内容(箇所数)～3 年:0　4 年:1　5 年:7　6 年:2 ・道内の市町村等を取り上げている箇所数～3 年:4　4 年:7　5 年:95　6 年:24
使用上の配慮等	○ 寒い土地のくらしにかかわる学習において，北海道の農業や暮らしの工夫，札幌市の雪対策と雪を生かした観光について掲載したり（第５学年），アイヌの人たちの文化について掲載したり（第５学年）するなど，児童の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 見開きページに「まなびのポイント」を設けたり（全学年），「見方・考え方」の囲みを設けたり（全学年）するなど，児童が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ 教科書の使い方について説明するページを設けたり（全学年），全ての児童が学習しやすいよう，ユニバーサルデザインフォントを使用したり（全学年）するとともに，１人１台端末を活用した学習活動として，二次元コードを掲載し，動画やワークシー トを活用できるようにする（全学年）など使用上の便宜が図られている。
その他	※ 小学校用教科書目録（令和６年度使用 文部科学省）による ○ 思考力・判断力・表現力を高めたり，身に付いた力や自身の成長を自覚できたりすることができるよう，「まとめ」の場面では様々な表現活動を工夫して例示や配置をしている。また，学習の目標やねらいが押さえられるようレイアウトや本文が揃えられている。 ○　各単元のページごとに「つかむ」「調べる」「まとめる」「いかす（ひろげる）」の学習場面が端的に示されており，またデジタルコンテンツ（ＱＲコード）が準備され，児童が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ 実社会や実生活との関連を意識できるよう，アイヌや北方領土など北海道や函館市の課題との関連が図られ，身近な地域の事象を取り上げている。また，身近な地域の事象と比較できるよう，水産業では北海道や函館と関連する内容が掲載されている。

小委員会委員氏名

小委員長名	委　員	委　員	委　員	委　員	委　員	委　員
近江 辰仁 （桔梗小）	奥平 理 （学識経験者）	山﨑 夕記子 （PTA）	大山　悦仁 （旭岡小）	野呂　勇己 （八幡小）	松浦 真木子 （赤川小）	渡部　靖 （大森浜小）

1 教科書名

発行者名	教　科　書　の　記　号・番　号					
17 教育出版	社会 307	社会 407	社会 507	社会 607		
教科書名	小学社会 3	小学社会 4	小学社会 5	小学社会 6		

2 調査研究内容

取扱内容	○ 市を中心とする地域社会に関する内容については，目標を達成することができるよう，次のような学習活動が取り上げられている。 第３学年～地図や写真を用いて地域の土地の様子や地域で働く人々について調べたり，消防署や警察署などの地域の安全を守る働きについて調べたりする活動 ○ 県を中心とする地域社会に関する内容については，目標を達成することができるよう，次のような学習活動が取り上げられている。 第４学年～地震や津波，水害などの自然災害から人々を守る活動について調べたり，文化財や伝統芸能，新田開発など，地域の発展に尽くした人々について調べたりする活動 ○ 我が国の国土と産業に関する内容については,目標を達成することができるよう,次のような学習活動が取り上げられている。 第５学年～地球儀や地図帳を用いて北方領土等の日本の国土の様子について調べたり,米づくりに関わる人々の安全性や品質を高める努力について調べたりする活動 ○ 我が国の政治と歴史，国際理解に関する内容については，目標を達成することができるよう，次のような学習活動が取り上げられている。 第６学年～地域の子育て支援の取組やその制度の成立過程から我が国の政治の働きについて調べたり,条約改正が達成されるまでの出来事などについて調べたりする活動 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については，次のような学習活動が取り上げられている。 ・第３学年～市の様子の移り変わりの学習において，学習問題を設定し，見通しをもたせるとともに，市の交通網の発達について調べたり，市の土地利用や暮らしの変化について話し合ったりするなど，考えを広げたり深めたりする活動 ・第４学年～人々の健康や生活環境を支える事業の学習において，学習問題を設定し，見通しをもたせるとともに，ごみの処理やリサイクルについて調べたり，ごみを減らすための取組について話し合ったりするなど,考えを広げたり深めたりする活動 ・第５学年～我が国の工業生産の学習において，学習問題を設定し，見通しをもたせるとともに，日本の工業生産の特色について調べたり，これからの工業生産の発展に大切なことについて話し合ったりするなど，考えを広げたり深めたりする活動 ・第６学年～グローバル化する世界と日本の役割の学習において，学習問題を設定し，見通しをもたせるとともに，日本とつながりの深い国の人々の暮らしについて調べたり,調べた国と自分たちの暮らしとのつながりについて話し合ったりするなど，考えを広げたり深めたりする活動

内容の程度・排列・分量等	○ 内容の構成・排列については，次のような工夫がなされている。 ・第３学年～地域に見られる生産や販売の仕事については，工場で働く人々の仕事の様子や農家の人々の仕事の様子の事例を取り上げるなど，地域の実態に応じて取り扱う内容を選択できるよう構成し，系統的・発展的に学習できるような工夫 ・第４学年～自然災害から人々を守る活動については，水害に備えるまちづくりや，火山の噴火や雪の災害に備える取組の事例を取り上げるなど，地域の実態に応じて取り扱う内容を選択できるよう構成し，系統的・発展的に学習できるような工夫 ・第５学年～我が国の国土の様子と国民生活については，気候に特色のある地域に住む人々の生活や地形に特色のある地域に住む人々の生活の事例を取り上げるなど，地域の実態に応じて取り扱う内容を選択できるよう構成し，系統的・発展的に学習できるような工夫 ・第６学年～我が国の政治の働きについては，災害からの復旧や復興に向けた政治の取組や雪とともに生きる暮らしを支える政治の取組の事例を取り上げるなど，地域の実態に応じて取り扱う内容を選択できるよう構成し，系統的・発展的に学習できるような工夫 ○ 内容の分量については，次のようになっている。 ・第 3 学年～市を中心とする地域社会に関する内容が 179 ページで，前回比 1% ・第 4 学年～県を中心とする地域社会に関する内容が 225 ページで，前回比 0% ・第 5 学年～我が国の国土と産業に関する内容が 265 ページで，前回比 2% ・第 6 学年～我が国の政治と歴史・国際理解に関する内容が 307 ページで前回比 7% ・自然災害及び防災に関する内容(ページ数)～3 年:2　4 年:39　5 年:44　6 年:38 ・アイヌの人たちの歴史・文化等(箇所数)～3 年:0　4 年:0　5 年:9　6 年:16 ・北方領土に関する内容(箇所数)～3 年:0　4 年:1　5 年:14　6 年:3 ・道内の市町村等を取り上げている箇所数～3 年:6　4 年:31　5 年:138　6 年:47
使用上の配慮等	○ 寒い土地のくらしにかかわる学習において，北海道の観光や農業，漁業，アイヌの人たちの文化について掲載したり（第５学年），我が国の政治の働きの学習において，札幌市の雪対策の取組を掲載したり（第６学年）するなど，児童の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 見開きページに「インデックス」を設けたり（全学年），巻頭に「学習の進め方」を振り返る視点を設けたり（全学年）するなど，児童が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ 「社会科の学習の進め方」のページを設けたり（全学年），全ての児童が学習しやすいよう，ユニバーサルデザインフォントを使用したり（全学年）するとともに，１人１台端末を活用した学習活動として，二次元コードを掲載し，動画やワークシート を活用できるようにする（全学年）など，使用上の便宜が図られている。
その他	※ 小学校用教科書目録（令和６年度使用 文部科学省）による ○ 思考力・判断力・表現力を高めたり，身に付いた力や自身の成長を自覚できたりすることができるよう，知識・理解に基づいた「まとめ」をしっかりと位置付けている。また，自己調整的に学ぶ力や情報活用能力を身に付けることができるよう，オリエンテーションを充実させたり，豊富な資料を位置付けたりしている。 ○ 主体的に学習に取り組むことができるよう，各単元のページごとに「つかむ」「調べる」「まとめる」「つなげる」の学習場面を順序がわかるよう明示している。また，ＩＣＴを活用した自己調整的な学びができるよう，デジタルコンテンツ（ＱＲコード）が使いやすいように工夫されている。 ○ 実社会や実生活との関連を意識できるよう，アイヌや北方領土など北海道や函館市の課題との関連が広く図られている。また，身近な地域の事象と比較できるよう，水産業では北海道や函館と関連する内容を掲載している。

小委員会委員氏名

小委員長名	委　員	委　員	委　員	委　員	委　員	委　員
近江 辰仁 （桔梗小）	奥平 理 （学識経験者）	山﨑 夕記子 （PTA）	大山　悦仁 （旭岡小）	野呂　勇己 （八幡小）	松浦 真木子 （赤川小）	渡部　靖 （大森浜小）

1 教科書名

発行者名	教　科　書　の　記　号・番　号					
116 日本文教	社会 308	社会 408	社会 508	社会 608		
教科書名	小学社会 3 年	小学社会 4 年	小学社会 5 年	小学社会 6 年		

2 調査研究内容

取扱内容	○ 市を中心とする地域社会に関する内容については，目標を達成することができるよう，次のような学習活動が取り上げられている。 第３学年～地図や写真を用いて地域の土地の様子や地域で働く人々について調べたり，消防署や警察署などの地域の安全を守る働きについて調べたりする活動 ○ 県を中心とする地域社会に関する内容については，目標を達成することができるよう，次のような学習活動が取り上げられている。 第４学年～風水害や地震,津波などの自然災害から人々を守る活動について調べたり，伝統芸能や文化財，用水路の開発など，地域の発展に尽くした人々について調べたりする活動 ○ 我が国の国土と産業に関する内容については,目標を達成することができるよう,次のような学習活動が取り上げられている。 第５学年～地球儀や地図帳を用いて北方領土等の日本の国土の様子について調べたり,米づくりに関わる人々の安全性や生産性を高める努力について調べたりする活動 ○ 我が国の政治と歴史，国際理解に関する内容については，目標を達成することができるよう，次のような学習活動が取り上げられている。 第６学年～待機児童の問題への取組や税金の働きから我が国の政治の働きについて調べたり,第一次世界大戦後の日本の様子や政策などについて調べたりする活動 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については，次のような学習活動が取り上げられている。 ・第３学年～市の様子の移り変わりの学習において，学習問題を設定し，見通しをもたせるとともに，市の交通網の発達について調べたり，市の土地利用や暮らしの変化について話し合ったりするなど，考えを広げたり深めたりする活動 ・第４学年～人々の健康や生活環境を支える事業の学習において，学習問題を設定し，　見通しをもたせるとともに，ごみの処理の仕方について調べたり，ごみを減らすための取組について話し合ったりするなど,考えを広げたり深めたりする活動 ・第５学年～我が国の工業生産の学習において，学習問題を設定し，見通しをもたせるとともに，工業地帯や工業地域の分布について調べたり，これからの工業の発展について話し合ったりするなど，考えを広げたり深めたりする活動 ・第６学年～グローバル化する世界と日本の役割の学習において，学習問題を設定し，　見通しをもたせるとともに，日本とつながりの深い国の様子や人々の生活について調べたり，国と国との間の交流について話し合ったりするなど，考えを広げたり深めたりする活動

内容の程度・排列・分量等	○ 内容の構成・排列については，次のような工夫がなされている。 ・第３学年～地域に見られる生産や販売の仕事については，工場で働く人々の仕事の様子や農家の人々の仕事の様子の事例を取り上げるなど，地域の実態に応じて取り扱う内容を選択できるよう構成し，系統的・発展的に学習できるような工夫 ・第４学年～自然災害から人々を守る活動については，地震や津波，火山の噴火に対する取組や雪害に対する取組の事例を取り上げるなど，地域の実態に応じて取り扱う内容を選択できるよう構成し，系統的・発展的に学習できるような工夫 ・第５学年～我が国の国土の様子と国民生活については，気候に特色のある地域に住む人々の生活や地形に特色のある地域に住む人々の生活の事例を取り上げるなど，地域の実態に応じて取り扱う内容を選択できるよう構成し，系統的・発展的に学習できるような工夫 ・第６学年～我が国の政治の働きについては，豪雨災害からの復旧や復興に向けた政治の取組や公害を教訓にした地域活性化に向けた政治の取組の事例を取り上げるなど，地域の実態に応じて取り扱う内容を選択できるよう構成し，系統的・発展的に学習できるような工夫 ○ 内容の分量については，次のようになっている。 ・第 3 学年～市を中心とする地域社会に関する内容が 174 ページで，前回比 9% ・第 4 学年～県を中心とする地域社会に関する内容が 220 ページで，前回比 11% ・第 5 学年～我が国の国土と産業に関する内容が 296 ページで，前回比 5% ・第 6 学年～我が国の政治と歴史・国際理解に関する内容が 296 ページで前回比 6% ・自然災害及び防災に関する内容(ページ数)～3 年:5　4 年:52　5 年:46　6 年:20 ・アイヌの人たちの歴史・文化等(箇所数)～3 年:0　4 年:0　5 年:0　6 年:8 ・北方領土に関する内容(箇所数)～3 年:0　4 年:0　5 年:11　6 年:4 ・道内の市町村等を取り上げている箇所数～3 年:4　4 年:17　5 年:87　6 年:19
使用上の配慮等	○ 地域の発展に尽くした人々にかかわる学習において，日本で最初の女医である荻野吟子が北海道で活躍した事例を掲載したり（第４学年），寒い土地のくらしにかかわる学習において，旭川市の農業や観光について掲載したり（第５学年）するなど，児童の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 巻頭に「社会科の学習の進め方」を設けたり（全学年），学習活動に合わせて「学び方・調べ方コーナー」を設けたり（全学年）するなど，児童が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ 教科書の使い方について説明するページを設けたり（全学年），全ての児童が学習しやすいよう，ユニバーサルデザインフォントを使用したり（全学年）するとともに，１人１台端末を活用した学習活動として，二次元コードを掲載し，動画やワークシー トを活用できるようにする（全学年）など，使用上の便宜が図られている。
その他	○ 問題解決的な学習を進めていくことができるよう，各学年の教科書の前半に社会科の学習の進め方を示している。また，学習問題をつかみ，考えを深め合い，解決していくという学習の流れを，図を用いてわかりやすく提示している。 ○ 各単元のページごとに「問題を発見する力を身に付けよう」「問題を追求・解決する力を身に付けよう」「問題をほりさげ，よりよい未来をつくる力を身に付けよう」の学習場面を明示している。また，児童が主体的に学習に取り組むことができるよう，デジタルコンテンツ（ＱＲコード）が準備されている。 ○ ＳＤＧｓに関連した内容を多く取り上げ，ＳＤＧｓを意識した学習ができるように単元構成が工夫されている。また，情報の学習では多くの内容を掲載し，児童がねらいに沿って学習できるような工夫がなされている。

小委員会委員氏名

小委員長名	委　員	委　員	委　員	委　員	委　員	委　員
近江 辰仁 (桔梗小)	奥平 理 (学識経験者)	山﨑 夕記子 (PTA)	大山　悦仁 (旭岡小)	野呂　勇己 (八幡小)	松浦 真木子 (赤川小)	渡部　靖 (大森浜小)

1 教科書名

発行者名	教　科　書　の　記　号・番　号					
2 東京書籍	地図 303					
教科書名	新編　新しい地図帳					

2 調査研究内容

取扱内容	○ 社会科の目標を達成することができるよう，次のような学習活動が取り上げられている。 ・「地図帳の使い方」において，方位磁針を用いて身近な方位を調べたり，地図のきまりを使った地図づくりに取り組んだりする活動 ・「日本の全図」において，日本の東西南北端を調べたり，都市と都市との間の距離を調べたりする活動 ・「日本の地方図」において，本州から九州へ渡る交通路を調べたり，北陸地方の伝統工芸を読み取ったりする活動 ・「世界の地図」において，世界で一番高い所と深い所を調べたり，北極海を囲んでいる全ての国を調べたりする活動 ・「資料・統計」において，日本の最大の貿易相手国を読み取ったり，太平洋ベルトにみられる工業地帯や工業地域が海に面している理由を考えたりする活動 ○　主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については，次のような学習活動が取り上げられている。 ・日本列島全体の災害地図を掲載し，災害の起きる要因や防災対策について考察したり，日本と世界の歴史地図を掲載し，同時代の世界の様子を参照しながら学びを深めたりする活動
内容の程度・排列・分量等	○　内容の構成・排列については，次のような工夫がなされている。 ・「日本の各地の気温と降水量」や「地域による農業生産のちがい」など，各種の基礎的な資料を掲載し，基礎的かつ基本的な知識・技能を活用して課題を追究できるような工夫 ○　内容の分量は次のようになっている。 ・地図帳の使い方～8 ページで，全体に占める割合は 8%となっている。 ・日本の全図～7 ページで，全体に占める割合は 7%となっている。 ・日本の地方図～34 ページで，全体に占める割合は 33%となっている。 ・世界の地図～20 ページで，全体に占める割合は 20%となっている。 ・資料・統計～33 ページで，全体に占める割合は 32%となっている。 ・自然災害及び防災～12 ページ ・アイヌの人たちの歴史・文化等を取り上げている箇所数 6 ・北方領土に関する内容を取り上げている箇所数 13 ・道内の市町村等を取り上げている箇所数 37
使用上の配慮等	○ 冒頭の世界地図に，世界の国の「ありがとう」の言葉などを掲載したり，日本地図に，各都道府県からイメージされる特産品などのイラストを掲載したりするなど，児童の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ キャラクターが地図の基本を解説したり，「ホップ↑ステップ↑マップでジャンプ↑」を設けたりするなど，児童が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ 全ての児童にとって，読みやすいフォントとなるよう配慮したり，識別しやすい配色を用いたりするとともに，１人１台端末を活用した学習活動として，二次元コードを掲載し，地形がわかるドローン動画を活用できるようにするなど，使用上の便宜が図られている。

その他	※ 小学校用教科書目録（令和６年度使用 文部科学省）による ○ 主体的に学習に取り組むことができるよう，各ページには，「ホップ↑ステップ↑マップでジャンプ↑」という「問いと作業」が配置されている。また，地図帳を活用しながら，各教科と関連させて学習できるよう，内容を構成している。 ○ 主体的に学習に取り組むことができるよう，興味・関心を高める多様なデジタルコンテンツ（ＱＲコード）が準備されている。特徴のあるコンテンツは，ＱＲコード横にその説明が記されており，利用しやすいように工夫されている。 ○ 主体的に学習に取り組むことができるよう，身近な地域を結び付けたり，関連させたりした内容を掲載している。また，県名が分かりやすいように，ルビなどは大きめのサイズになっている。

小委員会委員氏名

小委員長名	委　員	委　員	委　員	委　員	委　員	委　員
近江 辰仁 （桔梗小）	奥平 理 （学識経験者）	山﨑 夕記子 （PTA）	大山　悦仁 （旭岡小）	野呂　勇己 （八幡小）	松浦 真木子 （赤川小）	渡部　靖 （大森浜小）

1 教科書名

発行者名	教　科　書　の　記　号・番　号					
46 帝国書院	地図 304					
教科書名	楽しく学ぶ小学生の地図帳 3・4・5・6年					

2 調査研究内容

取扱内容	○ 社会科の目標を達成することができるよう，次のような学習活動が取り上げられている。 ・「地図帳の使い方」において，縮尺を用いて実際の距離を調べたり，方位や地図記号などを用いた宝探しに取り組んだりする活動 ・「日本の全図」において，富士山がある県を調べたり，東北地方の大きな祭りや伝統行事を調べたりする活動 ・「日本の地方図」において，中国地方で一番高い山の高さを調べたり，沖縄島で栽培されている果物を読み取ったりする活動 ・「世界の地図」において，本初子午線上に都市記号がある国を調べたり，オーストラリアでたくさん採れる原料品を調べたりする活動 ・「資料・統計」において，日本が世界各地に輸出しているものを読み取ったり，田が広がっているところの地形の特徴を考えたりする活動 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については，次のような学習活動が取り上げられている。 ・「防災マップ」の具体的な作り方を掲載し，自らの身を守るために何ができるかを考えたり，比較・関連させて考察できる資料を掲載し，社会的な見方・考え方を働かせたりする活動
内容の程度・排列・分量等	○ 内容の構成・排列については，次のような工夫がなされている。 ・「江戸時代の結びつき」や「日本の世界遺産」など，歴史の学習で活用できるテーマ地図や資料図を掲載し,歴史事象を地理的な空間の広がりと結び付けることで深い学びを実現できるような工夫 ○ 内容の分量は次のようになっている。 ・地図帳の使い方～14 ページで，全体に占める割合は 11%となっている。 ・日本の全図～15 ページで，全体に占める割合は 11%となっている。 ・日本の地方図～46 ページで，全体に占める割合は 35%となっている。 ・世界の地図～20 ページで，全体に占める割合は 15%となっている。 ・資料・統計～37 ページで，全体に占める割合は 28%となっている。 ・自然災害及び防災～21 ページ ・アイヌの人たちの歴史・文化等を取り上げている箇所数 9 ・北方領土に関する内容を取り上げている箇所数 16 ・道内の市町村等を取り上げている箇所数 43
使用上の配慮等	○ 地図の見方を示唆したり，活用を促したりするキャラクターを掲載したり，世界全図では,世界のあいさつを二次元コードの音声コンテンツと併せて掲載したりするなど，児童の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 「トライ！」「地図マスターへの道」を設けたり，巻末に「地図マスターへの道」のまとめを掲載したりするなど,児童が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ 全ての児童にとって，読みやすいフォントとなるよう配慮したり，識別しやすい配色を用いたりするとともに，1 人 1 台端末を活用した学習活動として，二次元コード を掲載し，47 都道府県のクイズを活用できるようにするなど，使用上の便宜が図られている。

その他	○ 発達の段階に合わせて，地図を利用したり，読み取ったりすることができるよう地図を工夫している。また，児童が地図帳を活用しながら各教科と関連させて学習できるよう内容を構成している。 ○ 主体的に学習に取り組むことができるよう，興味・関心を高める多様なデジタルコンテンツ（ＱＲコード）が準備されている。また，身近な地域を結び付けたり，関連させたりした内容を掲載している。 ○ 北海道に興味・関心をもち，自分事として学ぶことができるよう，他都府県に比べて広い北海道の扱いについて工夫や配慮をしている。また，北海道地方の全体を入れた地図の他に南部を拡大した地図を掲載し，地形や産業，世界文化遺産などを調べることができるようにしている。

小委員会委員氏名

小委員長名	委　　員	委　　員	委　　員	委　　員	委　　員	委　　員
近江 辰仁 （桔梗小）	奥平 理 （学識経験者）	山﨑 夕記子 （PTA）	大山　悦仁 （旭岡小）	野呂　勇己 （八幡小）	松浦 真木子 （赤川小）	渡部　靖 （大森浜小）

1 教科書名

発行者名	教科書の記号・番号					
2 東京書籍	算数 112 113	算数 212 213	算数 312 313	算数 412 413	算数 512 513	算数 612
教科書名	新編あたらしいさんすう1①はじめよう！さんすう，新編あたらしいさんすう1②みつけよう！さんすう	新編新しい算数2上考えるっておもしろい！，新編新しい算数2下考えるっておもしろい！	新編新しい算数3上考えたことがつながるね！，新編新しい算数3下考えたことがつながるね！	新編新しい算数4上考えたことがつながるね！，新編新しい算数4下考えたことがつながるね！	新編新しい算数5上考えたことがつながるね！，新編新しい算数5下考えたことがつながるね！	新編新しい算数6数学へシャンプ！

2 調査研究内容

取扱内容（学習指導要領の総則及び各教科，各学年の目標，内容等）

○ 数と計算については，目標を達成することができるよう，次のような学習活動が取り上げられている。

第1学年～ 数の概念とその表し方及び計算の意味を理解するとともに，数の数え方や計算の仕方を考える力の育成に向け，絵を見てブロックを動かしたり，残ったどんぐりの数を求めたりする活動

第2学年～ 計算の意味と性質を理解するとともに，数の表し方や計算の仕方などを考察する力の育成に向け，乗り物に乗っている人数を求めたり，かけ算の式になるおはじきの並べ方を考えたりする活動

第3学年～ 整数の計算の意味と性質を理解するとともに，数の表し方や計算の仕方などを考察する力の育成に向け，クッキーを同じ数ずつ分けたり，二つのわり算の問題を比べたりする活動

第4学年～ 小数及び分数の意味と表し方を理解するとともに，計算の仕方などを考察する力の育成に向け，ポットに入る水のかさの表し方を考えたり，2本のテープを合わせた長さを求めたりする活動

第5学年～ 小数の計算の意味を理解するとともに，数の性質や計算の仕方などを考察する力の育成に向け，リボンの代金を求める式を考えたり，鉄の棒1mの重さを求めたりする活動

第6学年～ 分数の計算の意味を理解するとともに，数の表し方や計算の仕方などを考察する力の育成に向け，ペンキで塗れる板の面積を求める式を考えたり，ペンキ1dLで塗れる板の面積を求めたりする活動

○ 図形については，目標を達成することができるよう，次のような学習活動が取り上げられている。

第1学年～ 図形についての感覚を豊かにするとともに，ものの形に着目して特徴を，捉えたり，形の構成について考えたりする力の育成に向け，似ている形を集めたり，点と点をつないでいろいろな形をかいたりする活動

第2学年～ 基本的な図形の概念を理解するとともに，平面図形の特徴を図形を構成する要素に着目して捉えたり，身の回りの事象を図形の性質から考察したりする力の育成に向け，切り取ったパズルの形を仲間分けしたり，身の回りから長方形や正方形を見つけたりする活動

第3学年～ 基本的な図形の概念を理解するとともに，平面図形の特徴を図形を構成する要素に着目して捉えたり，身の回りの事象を図形の性質から考察したりする力の育成に向け，身の回りから三角形を見つけたり，円の周りの点や中心を直線で結んでかいた三角形を仲間分けしたりする活動

第4学年～ 平面図形について理解するとともに，図形を構成する要素及びそれらの位置関係に着目し，図形の性質について考察する力の育成に向け，四角形を仲間分けしたり，平行四辺形のかき方を考えたりする活動

第5学年～ 図形の意味と性質について理解するとともに，図形を構成する要素や図形間の関係などに着目し，図形の性質について考察する力の育成に向け，合同な四角形を見つけたり，合同な四角形のかき方を考えたりする活動

第6学年～ 図形の意味について理解するとともに，図形を構成する要素や図形間の関係などに着目し，図形の性質について考察する力の育成に向け，複数の図形を仲間分けしたり，拡大図のかき方を考えたりする活動

○ 測定については，目標を達成することができるよう，次のような学習活動が取り上げられている。

第1学年～ 数量の関係についての理解の基礎となる経験を重ねるとともに，身の回りにあるものの特徴を量に着目して捉え，量の大きさの比べ方を考える力の育成に向け，テープに長さを写し取って長さを比べたり，陣取り遊びをしたりする活動

第2学年～ 量の概念について理解するとともに，身の回りにあるものの特徴を量に着目して捉え，量の単位を用いて的確に表現する力の育成に向け，鉛筆の長さを比べる方法を考えたり，はがきの横の長さを測ったりする活動

第3学年～ 量の概念について理解するとともに，身の回りにあるものの特徴を量に着目して捉え，量の単位を用いて的確に表現する力の育成に向け，電池と コンパスの重さを比べたり，ランドセルの重さを測ったりする活動

○ 変化と関係については，目標を達成することができるよう，次のような学習活動が 取り上げられている。

第4学年～ 表やグラフに表す技能を身に付けるとともに，伴って変わる二つの数量やそれらの関係に着目し，変化や対応の特徴を見いだして，二つの数量の関係を表や式を用いて考察する力の育成に向け，二つ時計板の時刻の関係を式に表したり，正三角形を並べてできた図形の正三角形の数と周りの長さの関係を表に表したりする活動

第5学年～ 表やグラフに表す技能を身に付けるとともに，伴って変わる二つの数量やそれらの関係に着目し，変化や対応の特徴を見いだして，二つの数量の関係を表や式を用いて考察する力の育成に向け，直方体を積み重ねてできた直方体の高さと体積の関係を表に表したり，正方形の数と棒の数の関係 を式に表したりする活動

第6学年～ 表やグラフに表す技能を身に付けるとともに，伴って変わる二つの数量 やそれらの関係に着目し，変化や対応の特徴を見いだして，二つの数量の 関係を表や式，グラフを用いて考察する力の育成に向け，時間と水の量の 関係を調べたり，2本の比例のグラフを比べたりする活動

○ データの活用については，目標を達成することができるよう，次のような学習活動 が取り上げられている。

第1学年～ 簡単な絵や図などに表す技能を身に付けるとともに，データの個数に着 目して身の回りの事象の特徴を捉える力の育成に向け，生き物の数を整理 したり，生き物の数の分だけ色を塗ったりする活動

第2学年～ 簡単な表とグラフを理解するとともに，身の回りの事象をデータの特徴 に着目して捉え，簡潔に表現したり考察したりする力の育成に向け，みん なでしたい遊びを表やグラフに表したり，表やグラフから分かることを考 えたりする活動

第3学年～ 棒グラフを理解するとともに，身の回りの事象をデータの特徴に着目して捉え，簡潔に表現したり適切に判断したりする力の育成に向け，けがをした時間と人数を表に整理したり，三つの表を一つにまとめたよさを考えたりする活動

第4学年～ 折れ線グラフを理解するとともに，目的に応じてデータを収集し，デー タの特徴や傾向に着目して表やグラフに的確に表現し，それらを用いて問 題を解決したり，解決の過程や結果を多面的に捉え考察したりする力の育 成に向け，折れ線グラフから分かることを考えたり，二つの事柄について 調べたことを表に分かりやすく整理する方法を考えたりする活動

第5学年～ 帯グラフを理解するとともに，目的に応じてデータを収集し，データの特徴や傾向に着目して表やグラフに的確に表現し，それらを用いて問題を解決したり，解決の過程や結果を多面的に捉え考察したりする力の育成に向け，好きな給食のメニューの割合をグラフに表したり，二つのグラフを比べて分かることを考えたりする活動

	第6学年～ 度数分布を表す表を理解するとともに，身の回りの事象から設定した問 題について，目的に応じてデータを収集し，データの特徴や傾向に着目して適切な手法を選択して分析を行い，それらを用いて問題を解決したり，解決の過程や結果を批判的に考察したりする力の育成に向け，データから，長縄の8の字跳び大会の優勝クラスを予想したり，日本の年齢別人口について二つのグラフを比べて考えたりする活動 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については，次のような 学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 加法の学習において，学習課題を設定し，見通しをもたせるとともに，加法の計算の仕方を考えたり，数の並び方を見て気付いたことを話し合ったりするなどして，考えを広げたり深めたりする活動 第2学年～ 乗法の学習において，学習課題を設定し，見通しをもたせるとともに，考えを図や式を使ってかいたり，考えの相違点について話し合い，まとめたりするなどして，考えを広げたり深めたりする活動 第3学年～ 乗法の学習において，学習課題を設定し，見通しをもたせるとともに，考えを図や式を使ってかいたり，考えの相違点について話し合い，まとめたりするなどして，考えを広げたり深めたりする活動 第4学年～ 角の大きさの学習において，学習課題を設定し，見通しをもたせるとともに，考えを図や式で表したり，学習したことを基に新たな問題の解決方法について話し合ったりするなどして，考えを広げたり深めたりする活動 第5学年～ 立体図形の体積の学習において，学習課題を設定し，見通しをもたせるとともに，考えを図や式を使ってかいたり，考えの相違点について話し合い，まとめたりするなどして，考えを広げたり深めたりする活動 第6学年～ 分数の乗法，除法の学習において，学習課題を設定し，見通しをもたせるとともに，既習の計算との違いを考えたり，考えの相違点について話し合い，まとめたりするなどして，考えを広げたり深めたりする活動
内容の構成・排列	○ 内容の構成・排列については，次のような工夫がなされている。 第1学年～ 数の構成と表し方の学習において，10 とあといくつかを数える学習の後に，10 を単位として数の大きさをみる学習を扱うなど，系統的・発展的に学習できるような工夫 第2学年～ 長さ，かさの単位と測定の学習において，ものの特徴や長さに着目する学習の後に，普遍単位を用いて数値化する学習を扱うなど，系統的・発展的に学習できるような工夫 第3学年～ 小数の加法，減法の学習において，小数を数直線に対応させて考える学習の後に，小数点を揃え各位の単位を揃えて計算する学習を扱うなど，系統的・発展的に学習できるような工夫 第4学年～ 小数の仕組みとその計算の学習において，数の相対的な大きさを考える学習の後に，100 分の1の位までに範囲を広げる学習を扱うなど，系統的・発展的に学習できるような工夫 第5学年～ 割合の学習において，図や式などを用いて二つの数量の関係を比べる学習の後に，割合が小数で表される場合の学習を扱うなど，系統的・発展的に学習できるような工夫 第6学年～ 分数の乗法，除法の学習において，分数×整数の計算の仕方を考える学習の後に，分数×分数の計算の仕方を考える学習を扱うなど，系統的・発展的に学習できるような工夫

使用上の配慮等	○　「つないでいこう算数の目」や「算数マイノートを学習に生かそう」で，次に学習してみたいことを想起する子どもの姿を例示したり（全学年），コラム「ますりん通信」で，算数の学習に関連する多方面からの話題や見方・考え方などを取り上げたり（第 2～6 学年）するなど，児童の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○　吹き出しで子どもがよりよく問題解決しようとする姿や発展的に学習しようとする姿を例示したり（全学年），日常生活と学習場面を関連付け，学習することの意義や学習内容の有用性を実感できるようにしたり（全学年）するなど，児童が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○　視認性の高いUD教科書体を使用したり（全学年），カラーユニバーサルデザイン，余白を生かした紙面デザインを徹底したり（全学年）するとともに，1人1台端末を活用した学習活動として，二次元コードを掲載し，自動正誤判定や結果の記録機能で，個別最適化された学びを支援できるようにするなど，使用上の便宜が図られている。
その他	○　学習のめあてやまとめが明確である。また，ノート作りを重視し，巻頭の「学びのとびら」や単元内の「今日の深い学び」において，児童にとって分かりやすいノート作りの方法が丁寧に示されている。 ○　単元の初めに既習事項を振り返る学習内容が掲載されている。また，児童に気付かせたい考えを吹き出しで示し，見通しをもって学習を進めることができる。また，練習問題の解答を各ページのQRコードから確認でき，授業中の自力解決や，習熟のための演習，家庭学習など，様々な場面で活用できるような工夫がなされている。 ○　北海道の人口，札幌から旭川までの道のりなど，身近な地域の事象を取り上げている。また，「～は間違っています。理由を説明しましょう。」や，「似ているところを説明しましょう。」など，思考力・判断力・表現力を培う問いを扱っている。

小委員会委員氏名

小委員長名	委　員	委　員	委　員	委　員	委　員	委　員
島　修一 （深堀小）	永澤　篤 （学識経験者）	小野田　府 （PTA）	竹内　昭夫 （北日吉小）	中山　良子 （大森浜小）	村田　恵介 （弥生小）	永井　朋子 （桔梗小）

1 教科書名

発行者名	教科書の記号・番号					
4 大日本図書	算数 114 115	算数 214	算数 314	算数 414	算数 514	算数 614
教科書名	新版たのしいさんすう1ねん①，新版たのしいさんすう1ねん②	新版たのしい算数2年	新版たのしい算数3年	新版たのしい算数4年	新版たのしい算数5年	新版たのしい算数6年

2 調査研究内容

取扱内容（学習指導要領の総則及び各教科，各学年の目標，内容等）

○ 数と計算については，目標を達成することができるよう，次のような学習活動が取り上げられている。

第1学年～ 数の概念とその表し方及び計算の意味を理解するとともに，数の数え方や計算の仕方を考える力の育成に向け，水槽に入れる魚の数を数えたり，水槽に残った魚の数を求めたりする活動

第2学年～ 計算の意味と性質を理解するとともに，数の表し方や計算の仕方などを考察する力の育成に向け，乗り物に乗っている人数を求めたり，かけ算の式になるおはじきの並べ方を考えたりする活動

第3学年～ 整数の計算の意味と性質を理解するとともに，数の表し方や計算の仕方などを考察する力の育成に向け，いちごを同じ数ずつ分けたり，二つのわり算の場面を比べたりする活動

第4学年～ 小数及び分数の意味と表し方を理解するとともに，計算の仕方などを考察する力の育成に向け，やかんに入っている水のかさの表し方を考えたり，二つの水筒に入っているお茶を合わせた量を求めたりする活動

第5学年～ 小数の計算の意味を理解するとともに，数の性質や計算の仕方などを考察する力の育成に向け，リボンの代金を求める式を考えたり，木の棒1mの重さを求めたりする活動

第6学年～ 分数の計算の意味を理解するとともに，数の表し方や計算の仕方などを考察する力の育成に向け，ペンキで塗れる板の面積を求める式を考えたり，針金の重さや長さの求め方を考えたりする活動

○ 図形については，目標を達成することができるよう，次のような学習活動が取り上げられている。

第1学年～ 図形についての感覚を豊かにするとともに，ものの形に着目して特徴を，捉えたり，形の構成について考えたりする力の育成に向け，似ている形を集めたり，数え棒でいろいろな形を作ったりする活動

第2学年～ 基本的な図形の概念を理解するとともに，平面図形の特徴を図形を構成する要素に着目して捉えたり，身の回りの事象を図形の性質から考察したりする力の育成に向け，三角形や四角形と言える訳を説明したり，身の回りから三角形や四角形を見つけたりする活動

第3学年～ 基本的な図形の概念を理解するとともに，平面図形の特徴を図形を構成する要素に着目して捉えたり，身の回りの事象を図形の性質から考察したりする力の育成に向け，ストローで作った三角形を仲間分けしたり，身の回りから円の形をしている物を見つけたりする活動

第4学年～ 平面図形について理解するとともに，図形を構成する要素及びそれらの位置関係に着目し，図形の性質について考察する力の育成に向け，点と点を結んで四角形を作ったり，平行四辺形のかき方を考えたりする活動

第5学年～ 図形の意味と性質について理解するとともに，図形を構成する要素や図形間の関係などに着目し，図形の性質について考察する力の育成に向け，合同な図形を見つけたり，合同な四角形のかき方を考えたりする活動

第6学年～ 図形の意味について理解するとともに，図形を構成する要素や図形間の関係などに着目し，図形の性質について考察する力の育成に向け，アルファベットを仲間分けしたり，拡大図や縮図のかき方を考えたりする活動

○ 測定については，目標を達成することができるよう，次のような学習活動が取り上げられている。

第1学年～ 数量の関係についての理解の基礎となる経験を重ねるとともに，身の回りにあるものの特徴を量に着目して捉え，量の大きさの比べ方を考える力の育成に向け，2本の鉛筆の長さを比べたり，ハンカチの広さを比べたりする活動

第2学年～ 量の概念について理解するとともに，身の回りにあるものの特徴を量に着目して捉え，量の単位を用いて的確に表現する力の育成に向け，同じ長さのしおりを作る方法を考えたり，はがきの横の長さを測ったりする活動

第3学年～ 量の概念について理解するとともに，身の回りにあるものの特徴を量に着目して捉え，量の単位を用いて的確に表現する力の育成に向け，文房具の重さを比べたり，大豆の重さを測ったりする活動

○ 変化と関係については，目標を達成することができるよう，次のような学習活動が取り上げられている。

第4学年～ 表やグラフに表す技能を身に付けるとともに，伴って変わる二つの数量やそれらの関係に着目し，変化や対応の特徴を見いだして，二つの数量の関係を表や式を用いて考察する力の育成に向け，点と点を結んで作った長方形の縦の長さと横の長さの関係を表に表したり，水槽の水の量の変わり方をグラフに表したりする活動

第5学年～ 表やグラフに表す技能を身に付けるとともに，伴って変わる二つの数量やそれらの関係に着目し，変化や対応の特徴を見いだして，二つの数量の関係を表や式を用いて考察する力の育成に向け，水槽に水を入れる時間と水の深さの変わり方を表に表したり，リボン1mの代金を数直線図を使って式に表したりする活動

第6学年～ 表やグラフに表す技能を身に付けるとともに，伴って変わる二つの数量やそれらの関係に着目し，変化や対応の特徴を見いだして，二つの数量の関係を表や式，グラフを用いて考察する力の育成に向け，紙の枚数を数えずに求める方法を考えたり，2本の比例のグラフを比べたりする活動

○ データの活用については，目標を達成することができるよう，次のような学習活動が取り上げられている。

第1学年～ 簡単な絵や図などに表す技能を身に付けるとともに，データの個数に着目して身の回りの事象の特徴を捉える力の育成に向け，あさがおの花の数を整理したり，野菜の個数の分だけ色を塗ったりする活動

第2学年～ 簡単な表とグラフを理解するとともに，身の回りの事象をデータの特徴に着目して捉え，簡潔に表現したり考察したりする力の育成に向け，育てたい野菜と人数を表やグラフに表したり，表やグラフから分かることを説明したりする活動

第3学年～ 棒グラフを理解するとともに，身の回りの事象をデータの特徴に着目して捉え，簡潔に表現したり適切に判断したりする力の育成に向け，アンケートの結果を表した棒グラフの特徴を調べたり，三つの表を一つの表に整理したりする活動

第4学年～ 折れ線グラフを理解するとともに，目的に応じてデータを収集し，データの特徴や傾向に着目して表やグラフに的確に表現し，それらを用いて問題を解決したり，解決の過程や結果を多面的に捉え考察したりする力の育成に向け，折れ線グラフの特徴を調べたり，二つの事柄が一度に分かる表や目的に合わせた表を作ったりする活動

第5学年～ 帯グラフを理解するとともに，目的に応じてデータを収集し，データの特徴や傾向に着目して表やグラフに的確に表現し，それらを用いて問題を解決したり，解決の過程や結果を多面的に捉え考察したりする力の育成に向け，好きな給食のメニューの割合をグラフに表したり，作り変えたグラフの工夫点を考えたりする活動

	第6学年～ 度数分布を表す表を理解するとともに，身の回りの事象から設定した問題について，目的に応じてデータを収集し，データの特徴や傾向に着目して適切な手法を選択して分析を行い，それらを用いて問題を解決したり，解決の過程や結果を批判的に考察したりする力の育成に向け，10 年前と今年の児童のどちらが本をよく借りていると言えるか考えたり，3人の中から代表選手を1人選ぶためにデータを表やグラフに整理したりする活動 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については，次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 加法の学習において，学習課題を設定し，見通しをもたせるとともに，既習の加法の計算との違いを考えたり，考えの共通点について話し合ったりするなどして，考えを広げたり深めたりする活動 第2学年～ 2位数の加法の学習において，学習課題を設定し，見通しをもたせるとともに，考えを図や式，言葉を使ってかいたり，考えの共通点について話し合い，まとめたりするなどして，考えを広げたり深めたりする活動 第3学年～ 乗法の学習において，学習課題を設定し，見通しをもたせるとともに，考えを図や式，言葉を使ってかいたり，考えの共通点について話し合い，まとめたりするなどして，考えを広げたり深めたりする活動 第4学年～ 除法の学習において，学習課題を設定し，見通しをもたせるとともに，既習の除法の問題との相違点を見付けたり，考えの共通点について話し合い，まとめたりするなどして，考えを広げたり深めたりする活動 第5学年～ 平面図形の性質の学習において，学習課題を設定し，見通しをもたせるとともに，図や式，言葉を使って考えを筋道立ててかいたり，考えの共通点について話し合ったりするなどして，考えを広げたり深めたりする活動 第6学年～ 分数の乗法，除法の学習において，学習課題を設定し，見通しをもたせるとともに，図や式，言葉を使って考えを筋道立ててかいたり，式を見直してきまりを見つけたりするなどして，考えを広げたり深めたりする活
内容の構成・排列	○ 内容の構成・排列については，次のような工夫がなされている。 第1学年～ 加法，減法の学習において，和が 10 以下の加法の学習の後に，1位数＋1位数で繰り上がりのある加法の学習を扱うなど，系統的・発展的に学習できるような工夫 第2学年～ 乗法の学習において，乗法が用いられる実際の場面の学習の後に，乗法九九を構成したり性質に着目したりする学習を扱うなど，系統的・発展的に学習できるような工夫 第3学年～ 分数の意味と表し方の学習において，分数の大小や仕組みの学習の後に，整数と同様に加法の計算ができることを知る学習を扱うなど，系統的・発展的に学習できるような工夫 第4学年～ 整数の除法の学習において，2位数を2位数で割る計算の学習の後に，桁数の多い計算の仕方を発展的に考える学習を扱うなど，系統的・発展的に学習できるような工夫 第5学年～ 平面図形の面積の学習において，平行四辺形の高さと面積の関係を調べる学習の後に，三角形の面積の求め方の学習を扱うなど，系統的・発展的に学習できるような工夫 第6学年～ 分数の乗法，除法の学習において，分数の乗法の学習の後に，分数の除法の意味を考える学習を扱うなど，系統的・発展的に学習できるような工夫

使用上の配慮等	○　単元の導入コーナーで，児童自身が問題や疑問を見いだす題材を扱ったり（全学年），「ふくろう先生のなるほど算数教室」で，算数が社会で生かされていることを実感できるよう，算数を生かして仕事をされている方へのインタビューを掲載したり（第 3～6 学年）するなど，児童の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○　巻頭の「算数の学び方」で，問題解決型学習の流れを示すとともに，学習したことを生活に生かそうとする様子や発展的に問題を見いだす様子を掲載したり（全学年），単元や毎時の導入で，児童が問題や疑問を見いだせる題材を掲載したり（全学年）するなど，児童が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○　見やすく読みやすいUDフォントを使用したり（全学年），色覚の特性によらず情報が読み取れる配色を用いたり（全学年）するとともに，1人1台端末を活用した学習活動として，二次元コードを掲載し，シミュレーションコンテンツで，簡単に何度でも試行錯誤することができるようにするなど，使用上の便宜が図られている。
その他	○　学習のめあてが，明確に示されている。「まとめ＝発見！」や「発見！考え方」として身に付けさせたい学習事項が分かりやすく示されている。 ○　動画や練習問題等のQRコンテンツが準備され，児童にとって学習内容の理解を深めることができる。また，適用問題や補充問題が十分に用意されており，児童が主体的に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○　児童にとって興味をもちやすい題材を多くの問題で扱っている。また，随所に「次の2人の考えを説明しましょう。」「気付いたことを話し合いましょう。」という学習が盛り込まれており，児童が思考力・判断力・表現力を育むことができるような工夫がなされている。

小委員会委員氏名

小委員長名	委　員	委　員	委　員	委　員	委　員	委　員
島　修一 （深堀小）	永澤　篤 （学識経験者）	小野田 府 （保護者）	竹内 昭夫 （北日吉小）	中山 良子 （大森浜小）	村田 恵介 （弥生小）	永井 朋子 （桔梗小）

1 教科書名

発行者名	教科書の記号・番号					
11 学校図書	算数 116 117	算数 216 217	算数 316 317	算数 416 417	算数 516 517	算数 616 617
教科書名	みんなとまなぶしょうがっこうさんすう1ねん上，みんなとまなぶしょうがっこうさんすう1ねん下	みんなと学ぶ小学校算数2年上，みんなと学ぶ小学校算数2年下	みんなと学ぶ小学校算数3年上，みんなと学ぶ小学校算数3年下	みんなと学ぶ小学校算数4年上，みんなと学ぶ小学校算数4年下	みんなと学ぶ小学校算数5年上，みんなと学ぶ小学校算数5年下	みんなと学ぶ小学校算数6年，みんなと学ぶ小学校算数6年中学校へのかけ橋

2 調査研究内容

取扱内容（学習指導要領の総則及び各教科，各学年の目標，内容等）

○ 数と計算については，目標を達成することができるよう，次のような学習活動が取り上げられている。

第1学年～ 数の概念とその表し方及び計算の意味を理解するとともに，数の数え方や計算の仕方を考える力の育成に向け，小鳥の数を数えたり，駐車場の残った車の台数を求めたりする活動

第2学年～ 計算の意味と性質を理解するとともに，数の表し方や計算の仕方などを考察する力の育成に向け，乗り物に乗っている人数を求めたり，九九表から決まりを見つけたりする活動

第3学年～ 整数の計算の意味と性質を理解するとともに，数の表し方や計算の仕方などを考察する力の育成に向け，12 個のクッキーを4人で同じ数ずつ分ける方法を考えたり，等分除と包含除になるわり算の本を作ったりする活動

第4学年～ 小数及び分数の意味と表し方を理解するとともに，計算の仕方などを考察する力の育成に向け，1Lマスに入っている水のかさの表し方を考えたり，木の周りの長さの表し方を考えたりする活動

第5学年～ 小数の計算の意味を理解するとともに，数の性質や計算の仕方などを考察する力の育成に向け，リボンの代金を求めたり，ジュース1Lあたりの代金を求めたりする活動

第6学年～ 分数の計算の意味を理解するとともに，数の表し方や計算の仕方などを考察する力の育成に向け，ペンキで塗れる塀の面積を求めたり，ペンキ1dLで塗れる壁の面積を求めたりする活動

○ 図形については，目標を達成することができるよう，次のような学習活動が取り上げられている。

第1学年～ 図形についての感覚を豊かにするとともに，ものの形に着目して特徴を捉えたり，形の構成について考えたりする力の育成に向け，いろいろな形を集めたり，高く積み上げたりする活動

第2学年～ 基本的な図形の概念を理解するとともに，平面図形の特徴を図形を構成する要素に着目して捉えたり，身の回りの事象を図形の性質から考察したりする力の育成に向け，動物を囲んだ形を仲間分けしたり，身の回りから直角のかどを探したりする活動

第3学年～ 基本的な図形の概念を理解するとともに，平面図形の特徴を図形を構成する要素に着目して捉えたり，身の回りの事象を図形の性質から考察したりする力の育成に向け，ストローで作った三角形を仲間分けしたり，折り紙を折って二等辺三角形や正三角形を作ったりする活動

第4学年～ 平面図形について理解するとともに，図形を構成する要素及びそれらの位置関係に着目し，図形の性質について考察する力の育成に向け，地図記号から平行な直線を見つけたり，身の回りから台形を探したりする活動

第5学年～ 図形の意味と性質について理解するとともに，図形を構成する要素や図形間の関係などに着目し，図形の性質について考察する力の育成に向け，合同な図形を見つけたり，合同な三角形のかき方を考えたりする活動

第6学年～ 図形の意味について理解するとともに，図形を構成する要素や図形間の関係などに着目し，図形の性質について考察する力の育成に向け，折り紙で作った形を仲間分けしたり，拡大図や縮図のかき方を考えたりする活動

○ 測定については，目標を達成することができるよう，次のような学習活動が取り上げられている。

第1学年～ 数量の関係についての理解の基礎となる経験を重ねるとともに，身の回りにあるものの特徴を量に着目して捉え，量の大きさの比べ方を考える力の育成に向け，2本の鉛筆の長さを比べたり，陣取りゲームをしたりする活動

第2学年～ 量の概念について理解するとともに，身の回りにあるものの特徴を量に着目して捉え，量の単位を用いて的確に表現する力の育成に向け，長さを同じテープのいくつ分で表したり，はがきの横の長さを測ったりする活動

第3学年～ 量の概念について理解するとともに，身の回りにあるものの特徴を量に着目して捉え，量の単位を用いて的確に表現する力の育成に向け，文房具の重さを比べたり，はかりを使って文房具の重さを測ったりする活動

○ 変化と関係については，目標を達成することができるよう，次のような学習活動が取り上げられている。

第4学年～ 表やグラフに表す技能を身に付けるとともに，伴って変わる二つの数量やそれらの関係に着目し，変化や対応の特徴を見いだして，二つの数量の関係を表や式を用いて考察する力の育成に向け，周りの長さが一定の場合の長方形の縦の長さと横の長さの関係を表に表したり，浴槽に水を入れた時間とたまった水の量の関係を調べたりする活動

第5学年～ 表やグラフに表す技能を身に付けるとともに，伴って変わる二つの数量やそれらの関係に着目し，変化や対応の特徴を見いだして，二つの数量の関係を表や式を用いて考察する力の育成に向け，リボンの長さと代金の関係を表に表したり，正方形の1辺の長さと周りの長さの関係について考えたりする活動

第6学年～ 表やグラフに表す技能を身に付けるとともに，伴って変わる二つの数量やそれらの関係に着目し，変化や対応の特徴を見いだして，二つの数量の関係を表や式，グラフを用いて考察する力の育成に向け，水の量と深さの関係をグラフに表したり，2本の比例のグラフを比べたりする活動

○ データの活用については，目標を達成することができるよう，次のような学習活動が取り上げられている。

第1学年～ 簡単な絵や図などに表す技能を身に付けるとともに，データの個数に着目して身の回りの事象の特徴を捉える力の育成に向け，果物を種類ごとに並べたり，果物の個数の分だけ色を塗ったりする活動

第2学年～ 簡単な表とグラフを理解するとともに，身の回りの事象をデータの特徴に着目して捉え，簡潔に表現したり考察したりする力の育成に向け，お楽しみ会でやってみたいことを表やグラフに表したり，表やグラフから分かることを考えたりする活動

第3学年～ 棒グラフを理解するとともに，身の回りの事象をデータの特徴に着目して捉え，簡潔に表現したり適切に判断したりする力の育成に向け，好きな給食のメニューを表した表やグラフを読み取ったり，分かりやすいグラフの表し方について考えたりする活動

第4学年～ 折れ線グラフを理解するとともに，目的に応じてデータを収集し，データの特徴や傾向に着目して表やグラフに的確に表現し，それらを用いて問題を解決したり，解決の過程や結果を多面的に捉え考察したりする力の育成に向け，気温の変化をグラフに表したり，複合グラフから分かることについて話し合ったりする活動

第5学年～ 帯グラフを理解するとともに，目的に応じてデータを収集し，データの特徴や傾向に着目して表やグラフに的確に表現し，それらを用いて問題を解決したり，解決の過程や結果を多面的に捉え考察したりする力の育成に向け，好きなスポーツをグラフに表したり，グラフから分かることを考えたりする活動

	第6学年～ 度数分布を表す表を理解するとともに，身の回りの事象から設定した問題について，目的に応じてデータを収集し，データの特徴や傾向に着目して適切な手法を選択して分析を行い，それらを用いて問題を解決したり，解決の過程や結果を批判的に考察したりする力の育成に向け，新体力テストの結果のデータから代表値を求めたり，ソフトボール投げの結果のデータを度数分布表に表したりする活動 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については，次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 減法の学習において，学習課題を設定し，見通しをもたせるとともに，絵を使って考えを表したり，考えの共通点について話し合ったりするなどして，考えを広げたり深めたりする活動 第2学年～ 簡単な表やグラフの学習において，学習課題を設定し，見通しをもたせるとともに，落とし物調べを表やグラフに表したり，調べたことを基に減らす工夫を話し合ったりするなどして，考えを広げたり深めたりする活動 第3学年～ 除法の学習において，学習課題を設定し，見通しをもたせるとともに，等分除と包含除の場面の式について考えたり，考え方の相違点について話し合ったりするなどして，考えを広げたり深めたりする活動 第4学年～ 角の大きさの学習において，学習課題を設定し，見通しをもたせるとともに，三角定規を使って角の大きさを調べたり，数値で角の大きさを表す意味ついて話し合ったりするなどして，考えを広げたり深めたりする活動 第5学年～ 異種の二つの量の割合の学習において，学習課題を設定し，見通しをもたせるとともに，速さの意味を考えたり，速さを比べる方法について話し合ったりするなどして，考えを広げたり深めたりする活動 第6学年～ 比例の学習において，学習課題を設定し，見通しをもたせるとともに，紙の枚数を数えないで調べる方法について考えたり，比例しているかについて話し合ったりするなどして，考えを広げたり深めたりする活動
内容の構成・排列	○ 内容の構成・排列については，次のような工夫がなされている。 第1学年～ 数の構成と表し方の学習において，繰り上がりのない2位数と1位数の加法の学習の後に，簡単な2位数の減法の学習を扱うなど，系統的・発展的に学習できるような工夫 第2学年～ 乗法の学習において，乗数が1ずつ増えるときの積の増え方の学習の後に，簡単な場合の2位数と1位数との乗法の学習を扱うなど，系統的・発展的に学習できるような工夫 第3学年～ 分数の意味と表し方の学習において，分数の仕組みや大小の学習の後に，1より大きい分数の意味や表し方の学習を扱うなど，系統的・発展的に学習できるような工夫 第4学年～ 小数の仕組みとその計算の学習において，小数の大小の学習の後に，小数の 10 倍，10 分の1の学習を扱うなど，系統的・発展的に学習できるような工夫 第5学年～ 平面図形の面積の学習において，公式を使って平行四辺形の面積を求める学習の後に，三角形の面積の求め方の学習を扱うなど，系統的・発展的に学習できるような工夫 第6学年～ 角柱及び円柱の体積の学習において，角柱の体積の求め方の学習の後に，いろいろな立体の体積を工夫して公式を使って求める学習を扱うなど，系統的・発展的に学習できるような工夫

使用上の配慮等	○ 「見方・考え方」を児童が使いたくなるよう「考え方モンスター」として紙面に具現化したり（全学年），「算数をつかって」でこれまで学んできた学習内容や解決の仕方を活用してSDGsに関連した題材に取り組むことができるようにしたり（全学年）するなど，児童の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 身の回りの生活の中や，算数の学習の中から問題を発見することができるよう「？を発見」のページを設定したり（全学年），次の学びへの関心・意欲が高まり，真理を求める態度を養うことができるよう「つながりの？」を設定したり（全学年）するなど，児童が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ 全面的にUDフォントを使用したり（全学年），目に優しく判別のしやすい色を使用したり（全学年）するとともに，1人1台端末を活用した学習活動として，二次元コードを掲載し，5つのマークを付け，デジタルコンテンツにどのような内容が含まれているか分かるようにするなど，使用上の便宜が図られている。
その他	○ 必要に応じて，単位時間ごとのめあてやまとめが明確に示されている。また，各学年における「見方・考え方」が巻頭および巻末に一覧として掲載されており，児童が身に付けた力や自身の成長を自覚できるような工夫がなされている。 ○ 単元の導入場面等において，児童が主体的に取り組めるよう，学習の中で疑問に思うことを取り上げ，それを解決したいという意欲を高めることができるような工夫がなされている。 ○ 身の回りのものや実生活との関連のある題材を取り上げ，児童の学習意欲を高めることができるよう工夫されている。また，学習した内容を振り返る場面を適宜設けることにより，児童の自信を深めたり自己肯定感を高めたりすることができるよう構成されている。

小委員会委員氏名

小委員長名	委　員	委　員	委　員	委　員	委　員	委　員
島　修一 （深堀小）	永澤　篤 （学識経験者）	小野田　府 （保護者）	竹内　昭夫 （北日吉小）	中山　良子 （大森浜小）	村田　恵介 （弥生小）	永井　朋子 （桔梗小）

1 教科書名

発行者名	教科書の記号・番号					
17 教育出版	算数 118	算数 218 219	算数 318 319	算数 418 419	算数 518	算数 618
教科書名	しょうがくさんすう1	小学算数2上，小学算数2下	小学算数3上，小学算数3下	小学算数4上，小学算数4下	小学算数5	小学算数6

2 調査研究内容

取扱内容（学習指導要領の総則及び各教科，各学年の目標，内容等）

○ 数と計算については，目標を達成することができるよう，次のような学習活動が取り上げられている。

第1学年～ 数の概念とその表し方及び計算の意味を理解するとともに，数の数え方や計算の仕方を考える力の育成に向け，葉の枚数を数えたり，残ったまつぼっくりの数の求め方を考えたりする活動

第2学年～ 計算の意味と性質を理解するとともに，数の表し方や計算の仕方などを考察する力の育成に向け，乗り物に乗っている人数を求めたり，おはじきを使ってかけ算に表したりする活動

第3学年～ 整数の計算の意味と性質を理解するとともに，数の表し方や計算の仕方などを考察する力の育成に向け，クッキーを何袋に分けられるのかを求めたり，わり算の式になる問題を作ったりする活動

第4学年～ 小数及び分数の意味と表し方を理解するとともに，計算の仕方などを考察する力の育成に向け，ペットボトルに入っている水のかさの表し方を考えたり，紅茶と牛乳を合わせた量を求めたりする活動

第5学年～ 小数の計算の意味を理解するとともに，数の性質や計算の仕方などを考察する力の育成に向け，リボンの代金を求める式を考えたり，棒1mの重さを求めたりする活動

第6学年～ 分数の計算の意味を理解するとともに，数の表し方や計算の仕方などを考察する力の育成に向け，棒の重さの求め方を考えたり，1mの棒の重さの求め方を考えたりする活動

○ 図形については，目標を達成することができるよう，次のような学習活動が取り上げられている。

第1学年～ 図形についての感覚を豊かにするとともに，ものの形に着目して特徴を捉えたり，形の構成について考えたりする力の育成に向け，箱でいろいろな形を作ったり，色板でいろいろな形を作ったりする活動

第2学年～ 基本的な図形の概念を理解するとともに，平面図形の特徴を図形を構成する要素に着目して捉えたり，身の回りの事象を図形の性質から考察したりする力の育成に向け，動物を囲んだ形を仲間分けしたり，身の回りから三角形や四角形を見つけたりする活動

第3学年～ 基本的な図形の概念を理解するとともに，平面図形の特徴を図形を構成する要素に着目して捉えたり，身の回りの事象を図形の性質から考察したりする力の育成に向け，ストローで作った三角形を仲間分けしたり，身の回りから二等辺三角形や正三角形を見つけたりする活動

第4学年～ 平面図形について理解するとともに，図形を構成する要素及びそれらの位置関係に着目し，図形の性質について考察する力の育成に向け，四角形を仲間分けしたり，平行四辺形のかき方を考えたりする活動

第5学年～ 図形の意味と性質について理解するとともに，図形を構成する要素や図形間の関係などに着目し，図形の性質について考察する力の育成に向け，合同な四角形を見つけたり，合同な三角形のかき方を考えたりする活動

第6学年～ 図形の意味について理解するとともに，図形を構成する要素や図形間の関係などに着目し，図形の性質について考察する力の育成に向け，大きさは違うが同じ形を見つけたり，拡大図のかき方を考えたりする活動

○ 測定については，目標を達成することができるよう，次のような学習活動が取り上げられている。

第1学年～ 数量の関係についての理解の基礎となる経験を重ねるとともに，身の回りにあるものの特徴を量に着目して捉え，量の大きさの比べ方を考える力の育成に向け，2本の鉛筆の長さを比べたり，陣取りゲームをしたりする活動

第2学年～ 量の概念について理解するとともに，身の回りにあるものの特徴を量に着目して捉え，量の単位を用いて的確に表現する力の育成に向け，しおりの長さをものを使って表したり，はがきの横の長さを測ったりする活動

第3学年～ 量の概念について理解するとともに，身の回りにあるものの特徴を量に着目して捉え，量の単位を用いて的確に表現する力の育成に向け，スポンジと電池の重さを比べたり，ランドセルの重さを測ったりする活動

○ 変化と関係については，目標を達成することができるよう，次のような学習活動が取り上げられている。

第4学年～ 表やグラフに表す技能を身に付けるとともに，伴って変わる二つの数量やそれらの関係に着目し，変化や対応の特徴を見いだして，二つの数量の関係を表や式を用いて考察する力の育成に向け，ひもで作った長方形の横の長さと縦の長さの関係を表に表したり，おかしの数と代金の関係を式に表したりする活動

第5学年～ 表やグラフに表す技能を身に付けるとともに，伴って変わる二つの数量やそれらの関係に着目し，変化や対応の特徴を見いだして，二つの数量の関係を表や式を用いて考察する力の育成に向け，直方体を積み重ねてできた直方体の高さと体積の関係を表に表したり，表や式のよさについて話し合ったりする活動

第6学年～ 表やグラフに表す技能を身に付けるとともに，伴って変わる二つの数量やそれらの関係に着目し，変化や対応の特徴を見いだして，二つの数量の関係を表や式，グラフを用いて考察する力の育成に向け，画用紙の全部の枚数を調べたり，グラフから変化や対応の特徴を読み取ったりする活動

○ データの活用については，目標を達成することができるよう，次のような学習活動が取り上げられている。

第1学年～ 簡単な絵や図などに表す技能を身に付けるとともに，データの個数に着目して身の回りの事象の特徴を捉える力の育成に向け，野菜を種類ごとに並べたり，野菜の個数の分だけ色を塗ったりする活動

第2学年～ 簡単な表とグラフを理解するとともに，身の回りの事象をデータの特徴に着目して捉え，簡潔に表現したり考察したりする力の育成に向け，好きな遊びを表やグラフに表したり，表やグラフから分かることを考えたりする活動

第3学年～ 棒グラフを理解するとともに，身の回りの事象をデータの特徴に着目して捉え，簡潔に表現したり適切に判断したりする力の育成に向け，乗り物調べの結果を表した棒グラフの読み方を考えたり，三つの表を一つの表に整理したりする活動

第4学年～ 折れ線グラフを理解するとともに，目的に応じてデータを収集し，データの特徴や傾向に着目して表やグラフに的確に表現し，それらを用いて問題を解決したり，解決の過程や結果を多面的に捉え考察したりする力の育成に向け，気温の変化をグラフに表したり，二つの事柄について調べたことを表に分かりやすく整理する方法を考えたりする活動

第5学年～ 帯グラフを理解するとともに，目的に応じてデータを収集し，データの特徴や傾向に着目して表やグラフに的確に表現し，それらを用いて問題を解決したり，解決の過程や結果を多面的に捉え考察したりする力の育成に向け，ブルーベリーの収穫量の割合をグラフに表したり，表やグラフから分かることを考えたりする活動

第6学年～ 度数分布を表す表を理解するとともに，身の回りの事象から設定した問題について，目的に応じてデータを収集し，データの特徴や傾向に着目して適切な手法を選択して分析を行い，それらを用いて問題を解決したり，解決の過程や結果を批判的に考察したりする力の育成に向け，どちらのクラスが本をよく読んだか決める方法を考えたり，日本の年齢別人口について二つのグラフを比べて考えたりする活動

	○　主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については，次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～　加法の学習において，学習課題を設定し，見通しをもたせるとともに，加法のよりよい計算の仕方を考えたり，10 のまとまりを用いる意味について説明したりするなどして，考えを広げたり深めたりする活動 第2学年～　2位数の加法の学習において，学習課題を設定し，見通しをもたせるとともに，既習の加法の計算との違いを考えたり，考えの共通点について話し合ったりするなどして，考えを広げたり深めたりする活動 第3学年～　乗法の学習において，学習課題を設定し，見通しをもたせるとともに，既習の乗法の計算との違いを考えたり，考えの相違点について話し合ったりするなどして，考えを広げたり深めたりする活動 第4学年～　平面図形の面積の学習において，学習課題を設定し，見通しをもたせるとともに，L字型の図形の面積の求め方を考えたり，考えを図や式を用いて説明したりするなどして，考えを広げたり深めたりする活動 第5学年～　異種の二つの量の割合の学習において，学習課題を設定し，見通しをもたせるとともに，混み具合を比べる方法を考えたり，考えの相違点について話し合ったりするなどして，考えを広げたり深めたりする活動 第6学年～　比例の学習において，学習課題を設定し，見通しをもたせるとともに，10 のまとまりを基に解決の方法を考えたり，考えの相違点について話し合ったりするなどして，考えを広げたり深めたりする活動
内容の構成・排列	○　内容の構成・排列については，次のような工夫がなされている。 第1学年～　加法，減法の学習において，10 のまとまりを作って計算する学習の後に，1位数＋1位数で繰り上がりのある加法の学習を扱うなど，系統的・発展的に学習できるような工夫 第2学年～　長さ，かさの単位と測定の学習において，数と単位を使って長さを表す学習の後に，数と単位を使って水のかさを表す学習を扱うなど，系統的・発展的に学習できるような工夫 第3学年～　分数の意味と表し方の学習において，単位分数の学習の後に，同分母分数の加法の計算の仕方を考える学習を扱うなど，系統的・発展的に学習できるような工夫 第4学年～　小数の仕組みとその計算の学習において，小数×整数の計算の学習の後に，小数÷整数の計算の学習を扱うなど，系統的・発展的に学習できるような工夫 第5学年～　平面図形の面積の学習において，平行四辺形の面積を求める学習の後に，三角形の面積の求める学習を扱うなど，系統的・発展的に学習できるような工夫 第6学年～　分数の乗法，除法の学習において，分数×整数の計算の仕方を考える学習の後に，分数÷整数の計算の仕方を考える学習を扱うなど，系統的・発展的に学習できるような工夫
使用上の配慮等	○　身近な題材から算数の問題を発見するなど，学ぶ意義を感じ，目的意識をもって取り組める教材や活動を示す「きっかけ」ページを設けたり（全学年），各単元の終わりに，学習したことを使って取り組む活動を示すページを設けたり（全学年）するなど，児童の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○　単元の導入で，身近な題材から算数の問題を発見し，目的意識をもって数学的活動に取り組めるようにしたり（全学年），単元末で，学習したことを日常場面に活用し，「何ができるようになったか」実感できるようにしたり（全学年）するなど，児童が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○　UDデジタル教科書体を使用したり（全学年），識別しやすい配色を用い，図版に色名を付記したり（全学年）するとともに，1人1台端末を活用した学習活動として，二次元コードを掲載し，毎時の知識・技能まとめをアニメーションにして，視覚的にも理解が深められるようにするなど，使用上の便宜が図られている。
その他	○　「はてな？→なるほど！→だったら！？」と，問いを連続させて学ぶ機会を設け，児童の問題発見力・解決力・追究力の向上を図ることができるような工夫がなされている。 ○　主体的な学びのきっかけとなる導入やねらいにせまる発問，対話的な学びを促す発

	問などの工夫が見られる。また，QRコンテンツにおいて，まとめをアニメーションで解説したり，作図の手順を動画で示したりするなど，児童の学習の理解が深まるような工夫がなされている。 ○　具体物や図，式，言葉などを使って考えたり表したりする活動を多く設け，数学的表現力を豊かに育むことができるよう工夫がなされている。また，北海道に関わる写真が多く掲載されている。

小委員会委員氏名

小委員長名	委　員	委　員	委　員	委　員	委　員	委　員
島　修一 （深堀小）	永澤　篤 （学識経験者）	小野田　府 （保護者）	竹内　昭夫 （北日吉小）	中山　良子 （大森浜小）	村田　恵介 （弥生小）	永井　朋子 （桔梗小）

1 教科書名

発行者名	教科書の記号・番号					
61 啓林館	算数 120 121	算数 220 221	算数 320 321	算数 420 421	算数 520	算数 620
教科書名	わくわくさんすう1 すたあとぶっく，わくわくさんすう1	わくわく算数2上，わくわく算数2下	わくわく算数3上，わくわく算数3下	わくわく算数4上，わくわく算数4下	わくわく算数5	わくわく算数6

2 調査研究内容

取扱内容（学習指導要領の総則及び各教科，各学年の目標，内容等）

○ 数と計算については，目標を達成することができるよう，次のような学習活動が取り上げられている。

第1学年～ 数の概念とその表し方及び計算の意味を理解するとともに，数の数え方や計算の仕方を考える力の育成に向け，石の上のかえるの数を数えたり，木に残った柿の数を求めたりする活動

第2学年～ 計算の意味と性質を理解するとともに，数の表し方や計算の仕方などを考察する力の育成に向け，乗り物に乗っている人数を求めたり，かけ算になる問題を作ったりする活動

第3学年～ 整数の計算の意味と性質を理解するとともに，数の表し方や計算の仕方などを考察する力の育成に向け，いちごを等分する方法を考えたり，わり算になる問題カードを作成したりする活動

第4学年～ 小数及び分数の意味と表し方を理解するとともに，計算の仕方などを考察する力の育成に向け，サイクリングコースの道のりを求めたり，テープの長さを求めたりする活動

第5学年～ 小数の計算の意味を理解するとともに，数の性質や計算の仕方などを考察する力の育成に向け，リボンの代金を求めたり，ひも1m分の代金を求めたりする活動

第6学年～ 分数の計算の意味を理解するとともに，数の表し方や計算の仕方などを考察する力の育成に向け，ペンキで塗れる壁の面積を求めたり，ペンキ1dLで塗れる壁の面積を求めたりする活動

○ 図形については，目標を達成することができるよう，次のような学習活動が取り上げられている。

第1学年～ 図形についての感覚を豊かにするとともに，ものの形に着目して特徴を捉えたり，形の構成について考えたりする力の育成に向け，似ている形を集めたり，色板でいろいろな形を作ったりする活動

第2学年～ 基本的な図形の概念を理解するとともに，平面図形の特徴を図形を構成する要素に着目して捉えたり，身の回りの事象を図形の性質から考察したりする力の育成に向け，動物を囲んだ形を仲間分けしたり，身の回りから三角形や四角形を見つけたりする活動

第3学年～ 基本的な図形の概念を理解するとともに，平面図形の特徴を図形を構成する要素に着目して捉えたり，身の回りの事象を図形の性質から考察したりする力の育成に向け，色棒で作った三角形を仲間分けしたり，身の回りから二等辺三角形や正三角形を見つけたりする活動

第4学年～ 平面図形について理解するとともに，図形を構成する要素及びそれらの位置関係に着目し，図形の性質について考察する力の育成に向け，点を結んで四角形を作ったり，コンパスを使って平行四辺形をかいたりする活動

第5学年～ 図形の意味と性質について理解するとともに，図形を構成する要素や図形間の関係などに着目し，図形の性質について考察する力の育成に向け，形も大きさも同じ図形を見つけたり，合同な三角形をかいたりする活動

第6学年～ 図形の意味について理解するとともに，図形を構成する要素や図形間の関係などに着目し，図形の性質について考察する力の育成に向け，アルファベットを仲間分けしたり，方眼を使って拡大図や縮図をかいたりする活動

○ 測定については，目標を達成することができるよう，次のような学習活動が取り上げられている。

第1学年～ 数量の関係についての理解の基礎となる経験を重ねるとともに，身の回りにあるものの特徴を量に着目して捉え，量の大きさの比べ方を考える力の育成に向け，2本の鉛筆の長さを比べたり，場所取りゲームをしたりする活動

第2学年～ 量の概念について理解するとともに，身の回りにあるものの特徴を量に着目して捉え，量の単位を用いて的確に表現する力の育成に向け，こぶしを使ってものの長さを比べたり，はがきの横の長さを測ったりする活動

第3学年～ 量の概念について理解するとともに，身の回りにあるものの特徴を量に着目して捉え，量の単位を用いて的確に表現する力の育成に向け，文房具の重さを比べたり，ランドセルの重さを測ったりする活動

○ 変化と関係については，目標を達成することができるよう，次のような学習活動が取り上げられている。

第4学年～ 表やグラフに表す技能を身に付けるとともに，伴って変わる二つの数量やそれらの関係に着目し，変化や対応の特徴を見いだして，二つの数量の関係を表や式を用いて考察する力の育成に向け，ストローで作った長方形の縦の本数と横の本数の関係を表に表したり，水のかさと重さをグラフに表したりする活動

第5学年～ 表やグラフに表す技能を身に付けるとともに，伴って変わる二つの数量やそれらの関係に着目し，変化や対応の特徴を見いだして，二つの数量の関係を表や式を用いて考察する力の育成に向け，レンガと植木鉢の積む数と全体の高さの関係を表に表したり，和暦と西暦の関係について調べたりする活動

第6学年～ 表やグラフに表す技能を身に付けるとともに，伴って変わる二つの数量やそれらの関係に着目し，変化や対応の特徴を見いだして，二つの数量の関係を表や式，グラフを用いて考察する力の育成に向け，時間と水の深さの関係を調べたり，2本の比例のグラフを比べたりする活動

○ データの活用については，目標を達成することができるよう，次のような学習活動が取り上げられている。

第1学年～ 簡単な絵や図などに表す技能を身に付けるとともに，データの個数に着目して身の回りの事象の特徴を捉える力の育成に向け，果物を種類ごとに縦に並べたり，個数の分だけ色を塗ったりする活動

第2学年～ 簡単な表とグラフを理解するとともに，身の回りの事象をデータの特徴に着目して捉え，簡潔に表現したり考察したりする力の育成に向け，好きな遊びを表やグラフに表したり，表やグラフから分かることを考えたりする活動

第3学年～ 棒グラフを理解するとともに，身の回りの事象をデータの特徴に着目して捉え，簡潔に表現したり適切に判断したりする力の育成に向け，好きな遊び調べの人数をグラフに表したり，二つの表を一つの表に整理したりする活動

第4学年～ 折れ線グラフを理解するとともに，目的に応じてデータを収集し，データの特徴や傾向に着目して表やグラフに的確に表現し，それらを用いて問題を解決したり，解決の過程や結果を多面的に捉え考察したりする力の育成に向け，気温の変化をグラフに表したり，二つの事柄について調べる場合の整理の仕方を考えたりする活動

第5学年～ 帯グラフを理解するとともに，目的に応じてデータを収集し，データの特徴や傾向に着目して表やグラフに的確に表現し，それらを用いて問題を解決したり，解決の過程や結果を多面的に捉え考察したりする力の育成に向け，作物別産出額をグラフに表したり，表やグラフから分かることを考えたりする活動

第6学年～ 度数分布を表す表を理解するとともに，身の回りの事象から設定した問題について，目的に応じてデータを収集し，データの特徴や傾向に着目して適切な手法を選択して分析を行い，それらを用いて問題を解決したり，解決の過程や結果を批判的に考察したりする力の育成に向け，大縄跳びの3チームのデータから，代表チームの決め方を考えたり，データのちらばりの様子をグラフに表したりする活動

	○　主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については，次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～　加法の学習において，学習課題を設定し，見通しをもたせるとともに，加法のよりよい計算の仕方を考えたり，10 のまとまりを用いる意味について説明したりするなどして，考えを広げたり深めたりする活動 第2学年～　乗法の学習において，学習課題を設定し，見通しをもたせるとともに，箱の中のチョコレートの数について考えたり，図や式を用いた考え方について話し合ったりするなどして，考えを広げたり深めたりする活動 第3学年～　数量の関係を表す式の学習において，学習課題を設定し，見通しをもたせるとともに，□に当てはまる数について考えたり，図や式を用いた考え方について話し合ったりするなどして，考えを広げたり深めたりする活動 第4学年～　概数と四捨五入の学習において，学習課題を設定し，見通しをもたせるとともに，概数で和や差を求める方法を考えたり，計算の仕方を説明したりするなどして，考えを広げたり深めたりする活動 第5学年～　小数の乗法の学習において，学習課題を設定し，見通しをもたせるとともに，計算の方法を考えたり，考えのよいところや共通点について話し合ったりするなどして，考えを広げたり深めたりする活動 第6学年～　データの考察の学習において，学習課題を設定し，見通しをもたせるとともに，データの分類整理の仕方について話し合ったり，分析の仕方について説明したりするなどして，考えを広げたり深めたりする活動
内容の構成・排列	○　内容の構成・排列については，次のような工夫がなされている。 第1学年～　時刻の読み方の学習において，短針に着目して時計を読む学習の後に，長針に着目して時計を読む学習を扱うなど，系統的・発展的に学習できるような工夫 第2学年～　乗法の学習において，基準量に着目して乗法の意味を理解する学習の後に，乗法九九を構成したり理解したりする学習を扱うなど，系統的・発展的に学習できるような工夫 第3学年～　除法と乗法の関係の学習において，基準量の何倍かという見方・考え方を働かせる学習の後に，分数の意味と表し方を理解する学習を扱うなど，系統的・発展的に学習できるような工夫 第4学年～　簡単な場合についての割合の学習において，第3学年で培った基準量の何倍かという見方・考え方を働かせる学習の後に，割合を用いて比べる学習を扱うなど，系統的・発展的に学習できるような工夫 第5学年～　割合の学習において，割合を用いて比べる学習の後に，円グラフや帯グラフなどの割合のグラフの学習を扱うなど，系統的・発展的に学習できるような工夫 第6学年～　割合の学習において，割合を表す分数について理解を深める学習の後に，全体を1として割合を考えるという見方・考え方を働かせる学習を扱うなど，系統的・発展的に学習できるような工夫
使用上の配慮等	○　「学びをいかそう」で算数を学ぶ意義を感じられる題材を取り扱ったり（全学年），「わくわくSDGs」でエネルギーの利用など社会における答えが1つに定まらない問いに対して算数を使って取り組み，自分たちに何ができるかを考えたり（第 3～6 学年）するなど，児童の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○　児童から「めあて」が引き出せるよう，児童の「問いや気付き」を「めばえ」として掲載したり（第 2～6 学年），児童自らが単元全体の学習を振り返り，生かしていけるよう，「たしかめよう・ふりかえろう・やってみよう」を設定したり（第 2～6 学年）するなど，児童が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○　識別がしやすいUDフォントを使用したり（全学年），色覚の特性によらず学びやすい配色を用いたり（全学年）するとともに，1人1台端末を活用した学習活動として，二次元コードを掲載し，具体物の操作では時間のかかる創造的な活動も簡単に行えるようにするなど，使用上の便宜が図られている。
その他	○　児童自らの問いや気付きが「吹き出し」として示されており，児童が学習のめあてやまとめを導き出せるような工夫がなされている。 ○　児童がつまずきやすい内容にはQRコンテンツを配置し，確かな理解が図られるように

	している。また，問題演習では，児童が自分自身でヒントや解答を確認しながら学習が進めることができるよう工夫がなされている。 ○ 既習事項を生かす場面において，見通しを立てたり，根拠をもって考えを進めたりする様子を示し，児童の思考力・判断力・表現力を育むことができるよう工夫がなされている。

小委員会委員氏名

小委員長名	委　員	委　員	委　員	委　員	委　員	委　員
島　修一 （深堀小）	永澤　篤 （学識経験者）	小野田　府 （保護者）	竹内　昭夫 （北日吉小）	中山　良子 （大森浜小）	村田　恵介 （弥生小）	永井　朋子 （桔梗小）

1 教科書名

発行者名	教科書の記号・番号					
116 日本文教出版	算数 122 123	算数 222 223	算数 322 323	算数 422 423	算数 522	算数 622
教科書名	しょうがくさんすう1①, しょうがくさんすう1②	小学算数2上, 小学算数2下	小学算数3上, 小学算数3下	小学算数4上, 小学算数4下	小学算数5	小学算数6

2 調査研究内容

取扱内容（学習指導要領の総則及び各教科，各学年の目標，内容等）

○ 数と計算については，目標を達成することができるよう，次のような学習活動が取り上げられている。

第1学年～ 数の概念とその表し方及び計算の意味を理解するとともに，数の数え方や計算の仕方を考える力の育成に向け，まつぼっくりの数を数えたり，木に残った柿の数を求めたりする活動

第2学年～ 計算の意味と性質を理解するとともに，数の表し方や計算の仕方などを考察する力の育成に向け，乗り物に乗っている人数を求めたり，九九表から決まりを見つけたりする活動

第3学年～ 整数の計算の意味と性質を理解するとともに，数の表し方や計算の仕方などを考察する力の育成に向け，お菓子を同じ数ずつ分けたり，二つのわり算の問題を比べたりする活動

第4学年～ 小数及び分数の意味と表し方を理解するとともに，計算の仕方などを考察する力の育成に向け，ペットボトルに入っているジュースのかさの表し方を考えたり，リボンの長さを求めたりする活動

第5学年～ 小数の計算の意味を理解するとともに，数の性質や計算の仕方などを考察する力の育成に向け，リボンの代金を求めたり，パイプ1mの重さを求めたりする活動

第6学年～ 分数の計算の意味を理解するとともに，数の表し方や計算の仕方などを考察する力の育成に向け，ペンキで塗れる屋根の面積を求めたり，ペンキ1dLで塗れる机の面積を求めたりする活動

○ 図形については，目標を達成することができるよう，次のような学習活動が取り上げられている。

第1学年～ 図形についての感覚を豊かにするとともに，ものの形に着目して特徴を捉えたり，形の構成について考えたりする力の育成に向け，箱でいろいろな形を作ったり，色の棒でいろいろな形を作ったりする活動

第2学年～ 基本的な図形の概念を理解するとともに，平面図形の特徴を図形を構成する要素に着目して捉えたり，身の回りの事象を図形の性質から考察したりする力の育成に向け，動物を囲んだ形を仲間分けしたり，身の回りから長方形や正方形，直角三角形を見つけたりする活動

第3学年～ 基本的な図形の概念を理解するとともに，平面図形の特徴を図形を構成する要素に着目して捉えたり，身の回りの事象を図形の性質から考察したりする力の育成に向け，ストローで作った三角形を仲間分けしたり，身の回りから二等辺三角形や正三角形を見つけたりする活動

第4学年～ 平面図形について理解するとともに，図形を構成する要素及びそれらの位置関係に着目し，図形の性質について考察する力の育成に向け，四角形を仲間分けしたり，平行四辺形のかき方を考えたりする活動

第5学年～ 図形の意味と性質について理解するとともに，図形を構成する要素や図形間の関係などに着目し，図形の性質について考察する力の育成に向け，合同な四角形を見つけたり，合同な四角形のかき方を考えたりする活動

第6学年～ 図形の意味について理解するとともに，図形を構成する要素や図形間の関係などに着目し，図形の性質について考察する力の育成に向け，複数の図形を仲間分けしたり，方眼を使って拡大図や縮図をかいたりする活動

○ 測定については，目標を達成することができるよう，次のような学習活動が取り上げられている。

第1学年～ 数量の関係についての理解の基礎となる経験を重ねるとともに，身の回りにあるものの特徴を量に着目して捉え，量の大きさの比べ方を考える力の育成に向け，テープを使って長さを比べたり，陣取りゲームをしたりする活動

第2学年～ 量の概念について理解するとともに，身の回りにあるものの特徴を量に着目して捉え，量の単位を用いて的確に表現する力の育成に向け，テープを使ってものの長さを比べたり，はがきの横の長さを測ったりする活動

第3学年～ 量の概念について理解するとともに，身の回りにあるものの特徴を量に着目して捉え，量の単位を用いて的確に表現する力の育成に向け，いろいろなものの重さを比べたり，ランドセルの重さを測ったりする活動

○ 変化と関係については，目標を達成することができるよう，次のような学習活動が取り上げられている。

第4学年～ 表やグラフに表す技能を身に付けるとともに，伴って変わる二つの数量やそれらの関係に着目し，変化や対応の特徴を見いだして，二つの数量の関係を表や式を用いて考察する力の育成に向け，点と点を結んで作った長方形の縦の長さと横の長さの関係を表に表したり，長椅子の数と座れる人数の関係を式で表したりする活動

第5学年～ 表やグラフに表す技能を身に付けるとともに，伴って変わる二つの数量やそれらの関係に着目し，変化や対応の特徴を見いだして，二つの数量の関係を表や式を用いて考察する力の育成に向け，直方体を積み重ねてできた直方体の高さと体積の関係を表に表したり，二つの量の関係を表す方法を考えたりする活動

第6学年～ 表やグラフに表す技能を身に付けるとともに，伴って変わる二つの数量やそれらの関係に着目し，変化や対応の特徴を見いだして，二つの数量の関係を表や式，グラフを用いて考察する力の育成に向け，時間と水の深さの関係を調べたり，2本の比例のグラフを比べたりする活動

○ データの活用については，目標を達成することができるよう，次のような学習活動が取り上げられている。

第1学年～ 簡単な絵や図などに表す技能を身に付けるとともに，データの個数に着目して身の回りの事象の特徴を捉える力の育成に向け，動物の数を整理したり，動物の数の分だけ色を塗ったりする活動

第2学年～ 簡単な表とグラフを理解するとともに，身の回りの事象をデータの特徴に着目して捉え，簡潔に表現したり考察したりする力の育成に向け，メダルの色調べを表やグラフに表したり，表やグラフから分かったことを話し合ったりする活動

第3学年～ 棒グラフを理解するとともに，身の回りの事象をデータの特徴に着目して捉え，簡潔に表現したり適切に判断したりする力の育成に向け，好きなスポーツ調べを表したグラフについて調べたり，分かりやすい表のまとめ方について考えたりする活動

第4学年～ 折れ線グラフを理解するとともに，目的に応じてデータを収集し，データの特徴や傾向に着目して表やグラフに的確に表現し，それらを用いて問題を解決したり，解決の過程や結果を多面的に捉え考察したりする力の育成に向け，折れ線グラフの線の傾きについて調べたり，二つの事柄を同時に表に整理する方法を考えたりする活動

第5学年～ 帯グラフを理解するとともに，目的に応じてデータを収集し，データの特徴や傾向に着目して表やグラフに的確に表現し，それらを用いて問題を解決したり，解決の過程や結果を多面的に捉え考察したりする力の育成に向け，図書室で貸し出された種類別の本の数をグラフに表したり，目的に応じて表やグラフを選択したりする活動

	第6学年～ 度数分布を表す表を理解するとともに，身の回りの事象から設定した問題について，目的に応じてデータを収集し，データの特徴や傾向に着目して適切な手法を選択して分析を行い，それらを用いて問題を解決したり，解決の過程や結果を批判的に考察したりする力の育成に向け，データを基にどちらを代表チームにするとよいか考えたり，日本の年齢別人口について二つのグラフを比べて考えたりする活動 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については，次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 加法の学習において，学習課題を設定し，見通しをもたせるとともに，加法のよりよい計算の仕方を考えたり，考えの共通点について話し合ったりするなどして，考えを広げたり深めたりする活動 第2学年～ 2位数の加法の学習において，学習課題を設定し，見通しをもたせるとともに，既習の加法の計算との違いを考えたり，考えの相違点について話し合ったりするなどして，考えを広げたり深めたりする活動 第3学年～ 表と棒グラフの学習において，結果の違いが分かりやすいグラフのかき方を考えたり，グラフから分かったことを話し合ったりするなどして，考えを広げたり深めたりする活動 第4学年～ 除法の学習において，既習の除法の計算との違いを考えたり，考えの共通点や相違点について話し合ったりするなどして，考えを広げたり深めたりする活動 第5学年～ 立体図形の体積の学習において，考えを図や式，言葉を使ってかいたり，考えの共通点について話し合ったりするなどして，考えを広げたり深めたりする活動 第6学年～ 比例の学習において，比例の考えを使って画用紙の枚数を求める方法を考えたり，考えの共通点を整理して振り返ったりするなどして，考えを広げたり深めたりする活動
内容の構成・排列	○ 内容の構成・排列については，次のような工夫がなされている。 第1学年～ 加法，減法の学習において，10 を作る計算や 10 より大きい数などの既習事項を確認する学習の後に，1位数＋1位数で繰り上がりのある加法の学習を扱うなど，系統的・発展的に学習できるような工夫 第2学年～ 簡単な表やグラフの学習において，第1学年で学習した絵や図を用いた数量の表現を確認する学習の後に，簡単な表やグラフに表す学習を扱うなど，系統的・発展的に学習できるような工夫 第3学年～ 乗法の学習において，乗法に関して成り立つ性質を考える学習の後に，加法に関して成り立つ性質と乗法に関して成り立つ性質の共通点を考える学習を扱うなど，系統的・発展的に学習できるような工夫 第4学年～ 面積の学習において，L字型の図形の面積の求め方を考える学習の後に，L字型に並べたボールの数の求め方とL字型の図形の面積の求め方の共通点を考える学習を扱うなど，系統的・発展的に学習できるような工夫 第5学年～ 平面図形の性質の学習において，合同な三角形や四角形をかく学習の後に，合同な正三角形や円，ひし形のかき方を考える学習を扱うなど，系統的・発展的に学習できるような工夫 第6学年～ 分数の乗法，除法の学習において，倍を表す分数について理解を深める学習の後に，整数，小数，分数による倍の表し方の共通点を考える学習を扱うなど，系統的・発展的に学習できるような工夫

使用上の配慮等	○　単元アプローチとして，ストーリー性やビジュアル性のある導入ページを設けて学習の課題を自ら見つけられるようにしたり（全学年），「なるほど算数」で算数につながる数学界の偉人や伝統的な和算の紹介などの算数に関する豆知識的なコラムを掲載したり（全学年）するなど，児童の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○　「算数マイトライ」で理解度，学習の目的に合わせて様々なジャンル・難易度の問題を掲載したり（第2～6学年），「使ってみよう」で作業的・体験的な活動や学習したことを実際の場面に活用する活動の充実を図ったり（全学年）するなど，児童が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○　視認性の高いUDフォントを教科書体やゴシック体にも採用したり（全学年），図形に使う色数を抑え，目に優しい色を使用したり（全学年）するとともに，1人1台端末を活用した学習活動として，二次元コードを掲載し，アニメーションや自分で操作できるコンテンツで理解を深めるようにするなど，使用上の便宜が図られている。
その他	○　各時間にめあてとまとめが明示されており，児童にとって学習の流れが分かりやすい構成となっている。また，単元の終わりには，練習問題を十分に用意し，自らの学びを振り返ることができるような工夫がなされている。 ○　単元の導入では，日常生活や既習事項を使い，「おや？」と思う場面を設定し，児童が自ら課題を見付けられるようにしている。また，単元の初めには，既習事項の定着を確認するための練習問題が掲載されており，QRコードを使って児童が自分で確認できるような工夫がなされている。 ○　単元内の随所に「数学的な見方・考え方」を提示することで，児童の思考力・判断力・表現力の向上が図られている。

小委員会委員氏名

小委員長名	委　員	委　員	委　員	委　員	委　員	委　員
島　修一 （深堀小）	永澤　篤 （学識経験者）	小野田　府 （保護者）	竹内　昭夫 （北日吉小）	中山　良子 （大森浜小）	村田　恵介 （弥生小）	永井　朋子 （桔梗小）

1 教科書名

発行者名	教科書の記号・番号					
2 東京書籍	理科・307	理科・407	理科・507	理科・607		
教科書名	新編新しい理科3	新編新しい理科4	新編新しい理科5	新編新しい理科6		

2 調査研究内容

取扱内容（学習指導要領の総則及び各教科，各学年の目標，内容等）	○ 物質・エネルギーについては，目標を達成することができるよう，次のような学習取活動が取り上げられている。 第3学年～粘土やアルミニウムはくの形を変えて重さを調べる実験，日光で調理するソーラークッカーを作るものづくりなどの活動 第4学年～試験管に閉じ込めた空気を暖めたり冷やしたりして体積の変化を調べる実験，電気の働きで走るプロペラカーを作るものづくりなどの活動 第5学年～コーヒーシュガーや片栗粉を溶かした後の様子について調べる実験，電磁石の性質を利用した鉄の空き缶拾い機を作るものづくりなどの活動 第6学年～集気びんの上や下に隙間があるときのろうそくの燃え方を調べる実験，人感センサーを利用した電気自動車を作るものづくりなどの活動 ○ 生命・地球については，目標を達成することができるよう，次のような学習活動が取り上げられている。 第3学年～ピーマン，オクラなどを栽培し育ち方を調べる観察，日なたと日陰の地面の温度を放射温度計で調べる観察などの活動 第4学年～物を持ち上げたときの体の様子を調べる観察，昼間に見える月の位置の変化を調べる観察などの活動 第5学年～アサガオとヘチマの花のつくりを調べる観察，流す水の量を変えて流れる水の働きを調べる実験などの活動 第6学年～手首や足首，心臓の脈拍を調べる実験，ボールに光を当てて月の見え方を調べる実験などの活動 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については，次のような学習活動が取り上げられている。 第3学年～「じしゃくのせいしつ」において，問題を見いだし，予想を基に実験計画を立てさせるとともに，紙，10 円玉，鉄の缶などどんな物が磁石につくかについて調べ，金属でも磁石につく物とつかない物があることについて話し合い，考えを広げたり深めたりする活動 第4学年～「電流のはたらき」において，問題を見いだし，予想を基に実験計画を立てさせるとともに，乾電池2個のつなぎ方と回路に流れる電流の大きさについて調べ，直列つなぎのときと並列つなぎのときの回路に流れる電流の大きさについて話し合い，考えを広げたり深めたりする活動 第5学年～「電流が生み出す力」において，問題を見いだし，予想を基に実験計画を立てさせるとともに，電磁石を強くするためにはどうすればよいのかについて調べ，乾電池の数や導線の巻き数と電流との関係について話し合い，考えを広げたり深めたりする活動 第6学年～「てこのはたらきとしくみ」において，問題を見いだし，予想を基に実験計画を立てさせるとともに，てこが水平につり合うときにはどのようなきまりがあるのかについて調べ，実験結果のデータを基にきまりについて話し合い，考えを広げたり深めたりする活動

内容の構成・排列	○　内容の構成・排列については，次のような工夫がなされている。 第3学年～「太陽の光」において，光の性質についての学習の後に，太陽熱発電に関する資料を通じて，物質・エネルギーの内容区分で系統的・発展的に学習できるような工夫 第4学年～「夏の星」において，明るさや色の違う星についての学習の後に，すばる望遠鏡に関する資料を通じて，生命・地球の内容区分で系統的・発展的に学習できるような工夫 第5学年～「流れる水のはたらき」において，流れる水の働きと土地の変化についての学習の後に，上西郷川に関する資料を通じて，生命・地球の内容区分で系統的・発展的に学習できるような工夫 第6学年～「変わり続ける大地」において，土地のつくりと変化についての学習の後に，震源や震度に関する資料を通じて，生命・地球の内容区分で系統的・発展的に学習できるような工夫
使用上の配慮等	○　単元の導入において，棒を使って重い物を持ち上げるなどの学習内容に係る活動を位置付けたり（第6学年），「理科の世界」において，働く人のインタビュー形式のコラムを掲載し，理科を学ぶ意義を実感できるようにしたり（全学年）するなど，児童の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○　問題解決の過程を線でつなぎ学習の流れに見通しをもたせたり（全学年），単元末において，学習前後での自分の成長を実感できるよう振り返りを掲載したり（全学年）するなど，児童が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○　全ての児童にとって，読みやすいフォントとなるよう配慮したり（全学年），識別しやすい配色を用いたり（全学年）するとともに，二次元コードを掲載し，読み物資料で児童の興味・関心を広げる（全学年）など，使用上の便宜が図られている。
その他	○　理科及び他教科で学んだことを活用し，主体的な問題解決ができるように，既習内容が表記され，デジタルコンテンツで見られるようになっている。また，キャラクターの発言モデルを使って，理科の見方や考え方のポイントが分かりやすく示されている。 ○　問題解決の過程が1本の「学びのライン」として分かりやすく提示されており，各過程の区切りが明確で迷わず学習を進められるようになっている。また，単元末に「ふりかえろう」を設定し，自己の学びを振り返り，次の学習につなげられるような工夫がなされている。 ○　北海道の事例を取り上げ，身近な地域の事象と比較して考えられるように工夫されている。また，「広げよう！理科の発想」「理科の世界探検部」で，学んだことと実生活や実社会とのつながりが意識できるような工夫がなされている。

小委員会委員氏名

小委員長名	委　員	委　員	委　員	委　員	委　員	委　員
若林　慎也 （高丘小）	永澤　篤 （学識経験者）	山崎夕記子 （PTA）	坪谷　正樹 （南茅部小）	中村　円 （亀田小）	吉田麻夕子 （戸井学園）	竹内　文実 （中島小）

1 教科書名

発行者名	教科書の記号・番号					
4 大日本図書	理科・308	理科・408	理科・508	理科・608		
教科書名	新版たのしい理科3年	新版たのしい理科4年	新版たのしい理科5年	新版たのしい理科6年		

2 調査研究内容

取扱内容（学習指導要領の総則及び各教科，各学年の目標，内容等）	○ 物質・エネルギーについては，目標を達成することができるよう，次のような学習活動が取り上げられている。 第3学年～粘土やアルミニウムはくの形を変えて重さを調べる実験，ゴムと風で動く車を作るものづくりなどの活動 第4学年～石けん水のまくの様子を基に試験管中の空気の体積の変化を調べる実験，強弱スイッチ付き送風機を作るものづくりなどの活動 第5学年～コーヒーシュガーを溶かした後の様子について調べる実験，電磁石の性質を利用した魚つりゲームを作るものづくりなどの活動 第6学年～集気びんにふたがあるときとないときのろうそくの燃え方を調べる実験，モビールやさおばかりを作るものづくりなどの活動 ○ 生命・地球については，目標を達成することができるよう，次のような学習活動が取り上げられている。 第3学年～ホウセンカやヒマワリを栽培し育ち方を調べる観察，日なたと日陰の地面の温度を放射温度計や温度計で調べる観察などの活動 第4学年～体全体の筋肉の様子を調べる観察，半月や満月の位置の変化を調べる観察などの活動 第5学年～アサガオの花のつくりを調べる観察，流す水の量を変えて流れる水の働きを調べる実験などの活動 第6学年～胸，手首や首筋の脈拍を調べる実験，月の形の見え方が日によって変わる理由を調べる実験などの活動 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については，次のような学習活動が取り上げられている。 第3学年～「じしゃくのふしぎ」において，問題を見いだし，予想を基に実験計画を立てさせるとともに，磁石に近付けた鉄は磁石になるのかについて調べ，予想と比較したり，鉄釘に砂鉄が付いた結果を基に磁石になったかどうかについて話し合い，考えを広げたり深めたりする活動 第4学年～「雨水のゆくえ」において，問題を見いだし，予想を基に観察計画を立てさせるとともに，水はどのような場所に流れていくのかについて調べ，水が流れ始める場所と水が溜まっている場所について話し合い，考えを広げたり深めたりする活動 第5学年～「ふりこの性質」において，問題を見いだし，予想を基に実験計画を立てさせるとともに，ふりこの1往復する時間は何によって変わるのかについて調べ，ふりこの長さ，おもりの重さ，振れ幅について話し合い，考えを広げたり深めたりする活動 第6学年～「私たちの生活と電気」において，問題を見いだし，予想を基に実験計画を立てさせるとともに，豆電球と発光ダイオードで使う電気の量にどのような違いがあるのかについて調べ，明かりがついていた時間について話し合い，考えを広げたり深めたりする活動

内容の構成・排列	○ 内容の構成・排列については，次のような工夫がなされている。 第3学年～「太陽の光」において，光の性質についての学習の後に，光の反射に関する資料を通じて，物質・エネルギーの内容区分で系統的・発展的に学習できるような工夫 第4学年～「冬の星」において，冬の星の位置の変化についての学習の後に，はやぶさ2に関する資料を通じて，生命・地球の内容区分で系統的・発展的に学習できるような工夫 第5学年～「天気の変化」において，天気と雲の様子の学習の後に，季節によって変わる天気の変化に関する資料を通じて，生命・地球の内容区分で系統的・発展的に学習できるような工夫 第6学年～「水よう液の性質」において，酸性・中性・アルカリ性についての学習の後に，中和に関する資料を通じて，物質・エネルギーの内容区分で系統的・発展的に学習できるような工夫
使用上の配慮等	○ 単元の導入において，徒競走をした後の様子などの日常生活と関連付けた写真を掲載したり（第6学年），「りかのたまてばこ」において，科学技術との関連を取り上げ，理科を学ぶ意義を実感できるようにしたり（全学年）するなど，児童の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 問題解決の過程を8段階で示し学習の流れに見通しをもたせたり（全学年），単元末において，できるようになったことなどの振り返りの視点を掲載したり（全学年）するなど，児童が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ 全ての児童にとって，読みやすいフォントとなるよう配慮したり（全学年），識別しやすい配色を用いたり（全学年）するとともに，二次元コードを掲載し，Web コンテンツを利用できるようにする（全学年）など，使用上の便宜が図られている。
その他	○ 問題解決の過程を色分けされ，理科の見方・考え方につながる着眼点が明確に示されており，問題解決の力が身に付くような工夫がなされている。また，「ここに注目」が単元の中にあり，学習の流れで力を付けたいことが分かりやすいように示されている。 ○ 教科書の下部に器具の扱い方や観察・実験方法，「たしかめよう」の解答や「りかのたまてばこ」等のデジタルコンテンツが多数用意され，児童一人一人の個別最適な学びのサポートが図られている。 ○ SDGs や科学技術，キャリア教育等の資料が豊富に用意され，実生活との関連や未来の学びにつながる構成になっており，また，これまでに学んだ動植物の生命のつながりについて比較しながら提示していたり，他の教科との関連について触れたりしている。

小委員会委員氏名

小委員長名	委　員	委　員	委　員	委　員	委　員	委　員
若林　慎也 （高丘小）	永澤　篤 （学識経験者）	山崎夕記子 （PTA）	坪谷　正樹 （南茅部小）	中村　円 （亀田小）	吉田麻夕子 （戸井学園）	竹内　文実 （中島小）

1 教科書名

発行者名	教科書の記号・番号					
11 学校図書	理科・309	理科・409	理科・509	理科・609		
教科書名	みんなと学ぶ 小学校理科3年	みんなと学ぶ 小学校理科4年	みんなと学ぶ 小学校理科5年	みんなと学ぶ 小学校理科6年		

2 調査研究内容

取扱内容（学習指導要領の総則及び各教科，各学年の目標，内容等）	○ 物質・エネルギーについては，目標を達成することができるよう，次のような学習活動が取り上げられている。 第3学年～粘土の置き方や形を変えて重さを調べる実験，磁石で動くパックンへびを作るものづくりなどの活動 第4学年～石けん水のまくの様子を基に試験管中の空気の体積の変化を調べる実験，乾電池で走る車を作るものづくりなどの活動 第5学年～コーヒーシュガーを溶かした後の様子について調べる実験，電磁石の性質を利用したコイルモーターを作るものづくりなどの活動 第6学年～底のある集気びんと底のない集気びんの中のろうそくの燃え方を調べる実験，風車を利用した風力発電機を作るものづくりなどの活動 ○ 生命・地球については，目標を達成することができるよう，次のような学習活動が取り上げられている。 第3学年～ホウセンカやヒマワリを栽培し育ち方を調べる観察，日なたと日陰の地面の温度を温度計で調べる観察などの活動 第4学年～腕を曲げたときの筋肉の様子を調べる観察，朝に見える半月の位置の変化を調べる観察などの活動 第5学年～ヘチマとアサガオの花のつくりを調べる観察，傾きを変えて流れる水の働きを調べる実験などの活動 第6学年～手首やその他の脈拍を調べる観察，月の形が変わって見える理由を調べる観察などの活動 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については，次のような学習活動が取り上げられている。 第3学年～「明かりをつけよう」において，問題を見いだし，予想を基に実験計画を立てさせるとともに，折り紙，ガラスのコップ，クリップなどで電気を通すものについて調べ，電気を通したものがどのようなものでできているかについて話し合い，考えを広げたり深めたりする活動 第4学年～「雨水の流れ」において，問題を見いだし，予想を基に観察計画を立てさせるとともに，水のしみこみ方と土の粒の大きさの関係について調べ，粒が小さい土と大きい土を比べながら水のしみこみ方について話し合い，考えを広げたり深めたりする活動 第5学年～「雲と天気の変化」において，問題を見いだし，予想を基に観察計画を立てさせるとともに，雲の動きと天気の変化にはどのような関係があるのかについて調べ，雲の動きと雨量の関係について話し合い，考えを広げたり深めたりする活動 第6学年～「てこのしくみとはたらき」において，問題を見いだし，予想を基に実験計画を立てさせるとともに，てこが水平につり合うときにはどのようなきまりがあるのかについて調べ，支点からの距離とおもりの重さの関係について話し合い，考えを広げたり深めたりする活動

内容の構成・排列	○　内容の構成・排列については，次のような工夫がなされている。 第3学年～「光を調べよう」において，光の性質についての学習の後に，光の反射に関する資料を通じて，物質・エネルギーの内容区分で系統的・発展的に学習できるような工夫 第4学年～「ものの温まり方」において，熱の伝わり方についての学習の後に，熱気球に関する資料を通じて，物質・エネルギーの内容区分で系統的・発展的に学習できるような工夫 第5学年～「冬から春へ」において，天気と雲の様子についての学習の後に，日本海側と太平洋側の天気の違いに関する資料を通じて，生命・地球の内容区分で系統的・発展的に学習できるような工夫 第6学年～「生物のくらしと環境」において，生物と環境についての学習の後に，外来生物に関する資料を通じて，生命・地球の内容区分で系統的・発展的に学習できるような工夫
使用上の配慮等	○　単元の導入において，冷蔵庫を使用している様子などの日常生活と関連付けた写真を掲載したり（第6学年），「もっとしりたい」において，暮らしや仕事との関連を取り上げ，理科を学ぶ意義を実感できるようにしたり（全学年）するなど，児童の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○　問題解決の過程をチェックして学習の流れに見通しをもたせたり（全学年），単元末において，学習前後の変容を確かめるよう振り返りの視点を掲載したり（全学年）するなど，児童が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○　全ての児童にとって，読みやすいフォントとなるよう配慮したり（全学年），識別しやすい配色を用いたり（全学年）するとともに，二次元コードを掲載し，学習後の振り返りをできるようにする（全学年）など，使用上の便宜が図られている。
その他	○　問題解決の過程を8つのステップで表し，それぞれの過程に育てたい力がひと目で分かるキャラクターを登場させ，学びが深まるように工夫されている。そのことで，理科の見方や考え方が自然と身に付くような工夫がなされている。 ○　単元の始めには，働かせる見方や身に付けたい力を，単元の終わりには振り返りの場面を設けることにより，見通しをもって問題解決に取り組んだり，自らの学習や変容を確かめたりすることができる構成になっている。 ○　「もっとしりたい」では，発展的な内容や歴史，防災などの資料を提示し，実生活や実社会との関連を意識できるようになっている。更にデジタルコンテンツを使用することで，学んだことの視野が広がり，多面的に考える力が養われるような工夫がなされている。

小委員会委員氏名

小委員長名	委　員	委　員	委　員	委　員	委　員	委　員
若林　慎也 （高丘小）	永澤　篤 （学識経験者）	山崎夕記子 （PTA）	坪谷　正樹 （南茅部小）	中村　円 （亀田小）	吉田麻夕子 （戸井学園）	竹内　文実 （中島小）

1 教科書名

発行者名	教科書の記号・番号					
17 教育出版	理科・310	理科・410	理科・510	理科・610		
教科書名	みらいをひらく 小学校理科3	未来をひらく 小学校理科4	未来をひらく 小学校理科5	未来をひらく 小学校理科6		

2 調査研究内容

取扱内容（学習指導要領の総則及び各教科，各学年の目標，内容等）	○ 物質・エネルギーについては，目標を達成することができるよう，次のような学習活動が取り上げられている。 第3学年～粘土や新聞紙の形を変えて重さを調べる実験，風で動くほかけ車を作るものづくりなどの活動 第4学年～ペットボトルに閉じ込めた空気を暖めたり冷やしたりして体積の変化を調べる実験，電気の働きで走るプロペラカーを作るものづくりなどの活動 第5学年～コーヒーシュガーを溶かした後の様子について調べる実験，電磁石の性質を利用した電池チェッカーを作るものづくりなどの活動 第6学年～底のある集気びんと底のない集気びんの中のろうそくの燃え方を調べる実験，夜になると光るライトを作るものづくりなどの活動 ○ 生命・地球については，目標を達成することができるよう，次のような学習活動が取り上げられている。 第3学年～ホウセンカやヒマワリを栽培し育ち方を調べる観察，日なたと日陰の地面の温度を温度計や放射温度計で調べる観察などの活動 第4学年～腕や脚を動かすときの筋肉の様子を調べる観察，午後に見える半月の位置の変化を調べる観察などの活動 第5学年～ヘチマ，アサガオ，ツルレイシの花のつくりを調べる観察，流す水の量を変えて流れる水の働きを調べる実験などの活動 第6学年～心臓の動きと手首の脈拍を比べる活動，月の光っている側にいつも太陽がある理由を調べる観察などの活動 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については，次のような学習活動が取り上げられている。 第3学年～「電気の通り道」において，問題を見いだし，予想を基に実験計画を立てさせるとともに，乾電池，豆電球，導線をどのようにつなぐと，明かりがつくのかについて調べ，明かりがついたときのつなぎ方とつかなかったときのつなぎ方について話し合い，考えを広げたり深めたりする活動 第4学年～「電流のはたらき」において，問題を見いだし，予想を基に実験計画を立てさせるとともに，乾電池2個のつなぎ方と回路に流れる電流の大きさについて調べ，直列つなぎのときと並列つなぎのときの回路に流れる電流の大きさについて話し合い，考えを広げたり深めたりする活動 第5学年～「電流が生み出す力」において，問題を見いだし，予想を基に実験計画を立てさせるとともに，回路に流す電流の向きを変えると，電磁石は，極が入れかわるのかについて調べ，電流の向きと電磁石の極との関係について話し合い，考えを広げたり深めたりする活動 第6学年～「電気の利用」において，問題を見いだし，予想を基に実験計画を立てさせるとともに，手回し発電機や光電池を使って，電気をつくることができるのかについて調べ，電気をつくる方法について話し合い，考えを広げたり深めたりする活動

内容の構成・排列	○　内容の構成・排列については，次のような工夫がなされている。 第3学年～「音」において，音の性質についての学習の後に，超音波に関する資料を通じて，物質・エネルギーの内容区分で系統的・発展的に学習できるような工夫 第4学年～「水のゆくえ」において，雨水の行方と地面のようすについての学習の後に，自然の中の水の循環に関する資料を通じて，生命・地球の内容区分で系統的・発展的に学習できるような工夫 第5学年～「もののとけ方」において，物の溶け方についての学習の後に，海水のろ過に関する資料を通じて，物質・エネルギーの内容区分で系統的・発展的に学習できるような工夫 第6学年～「人の生活と自然環境」において，生物と環境についての学習の後に，ミドリムシに関する資料を通じて，生命・地球の内容区分で系統的・発展的に学習できるような工夫
使用上の配慮等	○　単元の導入において，洗剤や虫刺されの薬の成分などの日常生活と関連付けた写真を掲載したり（第6学年），「科学のまど」において，学んだことと関連した身の回りの話題を紹介し，理科を学ぶ意義を実感できるようにしたり（全学年）するなど，児童の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○　問題解決の過程を線でつなぎ学習の流れに見通しをもたせたり（全学年），単元末において，学習前後の成長を実感できるよう振り返りを掲載したり（全学年）するなど，児童が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○　全ての児童にとって，読みやすいフォントとなるよう配慮したり（全学年），識別しやすい配色を用いたり（全学年）するとともに，二次元コードを掲載し，動画で情報を補足する（全学年）など，使用上の便宜が図られている。
その他	○　理科の見方・考え方で注目するところが「見方のカギ」「考え方のカギ」として強調され，身に付けさせたい学び方が明確に示されている。さらに，巻頭に理科で必要な言語表現・ノートの書き方などについて見通しがもてるような工夫がなされている。 ○　単元の導入における「学習前の○○さん」，単元末における「学習後の○○さん」の考えを記載することで，学びの振り返りや自己の変容を実感し，次の学びに向かう意欲付けとなるような工夫がなされている。 ○　北海道や函館に関わる事象や写真を数多く掲載することで，学んだことと実生活や実社会との関連を比較できるように構成されている。さらに「科学のまど」や「チャレンジ」で，身の回りの事象に興味がもてるような工夫がなされている。

小委員会委員氏名

小委員長名	委　員	委　員	委　員	委　員	委　員	委　員
若林　慎也 （高丘小）	永澤　篤 （学識経験者）	山崎夕記子 （PTA）	坪谷　正樹 （南茅部小）	中村　円 （亀田小）	吉田麻夕子 （戸井学園）	竹内　文実 （中島小）

1 教科書名

発行者名	教科書の記号・番号					
26 信州教育	理科・311	理科・411	理科・511	理科・611		
教科書名	楽しい理科 3年	楽しい理科 4年	楽しい理科 5年	楽しい理科 6年		

2 調査研究内容

取扱内容（学習指導要領の総則及び各教科，各学年の目標，内容等）	○ 物質・エネルギーについては，目標を達成することができるよう，次のような学習活動が取り上げられている。 第3学年～粘土やアルミニウムはくの形を変えて重さを調べる実験，風やゴムで動くプロペラカーを作るものづくりなどの活動 第4学年～へこんだボールを暖めたり冷やしたりして体積の変化を調べる実験，水の体積変化を利用したストロー温度計を作るものづくりなどの活動 第5学年～コーヒーシュガーを溶かしたときの様子について調べる実験，電磁石の性質を利用したクレーンを作るものづくりなどの活動 第6学年～集気びんにふたがあるときとないときのろうそくの燃え方を調べる実験，人がいると明かりがつく装置を作るものづくりなどの活動 ○ 生命・地球については，目標を達成することができるよう，次のような学習活動が取り上げられている。 第3学年～ホウセンカやヒマワリを栽培し育ち方を調べる観察，日なたと日陰の地面の温度を温度計で調べる観察などの活動 第4学年～骨や関節が体のどこにあるのかを調べる観察，日中に見える月の位置の変化を調べる観察などの活動 第5学年～アサガオやズッキーニの花のつくりを調べる観察，山の斜面に水を流したときの地面の様子を調べる実験などの活動 第6学年～魚の臓器の様子やつながりを調べる観察，月が光っているときの太陽の位置を調べる観察などの活動 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については，次のような学習活動が取り上げられている。 第3学年～「豆電球に明かりをつけよう」において，問題を見いだし，予想を基に実験計画を立てさせるとともに，回路にスイッチをつないだときに明かりがつくのかについて調べ，明かりがついたときのつなぎ方とつかなかったときの回路について話し合い，考えを広げたり深めたりする活動 第4学年～「とじこめた空気と水のせいしつ」において，問題を見いだし，予想を基に実験計画を立てさせるとともに，紙玉のつめ方を変えたときの飛び方について調べ，紙玉をぬらしたときや紙玉をきつくつめたときの飛び方について話し合い，考えを広げたり深めたりする活動 第5学年～「種子の発芽」において，問題を見いだし，予想を基に実験計画を立てさせるとともに，空気とほどよい温度が種子の発芽に必要かどうかについて調べ，種子が発芽する条件について話し合い，考えを広げたり深めたりする活動 第6学年～「てこのはたらき」において，問題を見いだし，予想を基に実験計画を立てさせるとともに，身近なてこの働きを利用した道具の仕組みについて調べ，支点，力点，作用点の位置について話し合い，考えを広げたり深めたりする活動

内容の構成・排列	○　内容の構成・排列については，次のような工夫がなされている。 第3学年～「光のせいしつ」において，光の性質についての学習の後に，太陽熱発電所に関する資料を通じて，物質・エネルギーの内容区分で系統的・発展的に学習できるような工夫 第4学年～「天気と気温」において，1日の気温の変化についての学習の後に，天気と雲量に関する資料を通じて，生命・地球の内容区分で系統的・発展的に学習できるような工夫 第5学年～「もののとけ方」において，溶けている物を取り出すことについての学習の後に，再結晶に関する資料を通じて，物質・エネルギーの内容区分で系統的・発展的に学習できるような工夫 第6学年～「大地のつくりと変化」において，地震による土地の変化についての学習の後に，震度に関する資料を通じて，生命・地球の内容区分で系統的・発展的に学習できるような工夫
使用上の配慮等	○　単元の導入において，植物に水やりをしている様子などの日常生活と関連付けた写真を掲載したり（第6学年），「しりょう」において，学習内容に関わりのある情報を掲載し，理科を学ぶ意義を実感できるようにしたり（全学年）するなど，児童の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○　問題解決の過程をマークで示し学習の流れに見通しをもたせたり（全学年），単元末において，振り返るための学習内容のまとめを掲載したり（全学年）するなど，児童が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○　全ての児童にとって，読みやすいフォントとなるよう配慮したり（全学年），識別しやすい配色を用いたり（全学年）するとともに，二次元コードを掲載し，学習と関連する資料を活用できるようにする（全学年）など，使用上の便宜が図られている。
その他	○　問題意識を呼び起こし，事象提示から単元全体の問題把握ができるように焦点的なリード文を置き，既習学習や生活経験の想起の場が設定されている。 ○　直接観察することが難しい内容や実験困難なものなどの映像を参考にして，学習を深めたり，「ふりかえろう」のページにあるQRコードから「たしかめよう」の問題で取り組み，基礎的・基本的な事項の定着を図ったりすることができるような工夫がなされている。 ○　単元の中に「しらべてみよう」のコーナーを設け，児童にとって身近で興味・関心のある事物・現象の中から，その単元で学習した事項を適用できるものを教材化し，日常生活への応用や科学的なものの見方・考え方がより高められるような工夫がなされている。

小委員会委員氏名

小委員長名	委　員	委　員	委　員	委　員	委　員	委　員
若林　慎也 （高丘小）	永澤　篤 （学識経験者）	山崎夕記子 （PTA）	坪谷　正樹 （南茅部小）	中村　円 （亀田小）	吉田麻夕子 （戸井学園）	竹内　文実 （中島小）

1 教科書名

発行者名	教科書の記号・番号					
61 啓林館	理科・312	理科・412	理科・512	理科・612		
教科書名	わくわく 理科 3	わくわく 理科 4	わくわく 理科 5	わくわく 理科 6		

2 調査研究内容

取扱内容（学習指導要領の総則及び各教科，各学年の目標，内容等）	○ 物質・エネルギーについては，目標を達成することができるよう，次のような学習活動が取り上げられている。 第3学年～粘土や画用紙の形を変えて重さを調べる実験，クモのす糸電話を作るものづくりなどの活動 第4学年～丸底フラスコに閉じ込めた空気を暖めたり冷やしたりして体積の変化を調べる実験，ひとりでに回る風車を作るものづくりなどの活動 第5学年～コーヒーシュガーが溶けていく様子について調べる実験，電磁石の性質を利用したコイルモーターを作るものづくりなどの活動 第6学年～集気びんの上や下に隙間があるときのろうそくの燃え方を調べる実験，でんぷんやさおばかりを作るものづくりなどの活動 ○ 生命・地球については，目標を達成することができるよう，次のような学習活動が取り上げられている。 第3学年～ホウセンカやヒマワリを栽培し育ち方を調べる観察，日なたと日陰の地面の温度を放射温度計や温度計で調べる観察などの活動 第4学年～体を動かすときの筋肉の様子を調べる観察，昼間に見える半月の位置の変化を調べる観察などの活動 第5学年～ヘチマ，オモチャカボチャ，アサガオの花のつくりを調べる観察，曲がって流れる水の外側と内側の様子を調べる実験などの活動 第6学年～胸，手首や首の脈拍を調べる活動，月の形が変わって見えるのは月と太陽の位置と関係あるのかを調べる実験などの活動 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については，次のような学習活動が取り上げられている。 第3学年～「風とゴムの力のはたらき」において，問題を見いだし，予想を基に実験計画を立てさせるとともに，ゴムを伸ばす長さを変えると物を動かすはたらきは変わるのかについて調べ，ゴムを伸ばす長さと車が動く距離について話し合い，考えを広げたり深めたりする活動 第4学年～「電気のはたらき」において，問題を見いだし，予想を基に実験計画を立てさせるとともに，乾電池の数やつなぎ方と電流の大きさの関係について調べ，モーターの回る速さは電流の大きさに関係していることについて話し合い，考えを広げたり深めたりする活動 第5学年～「電流と電磁石」において，問題を見いだし，予想を基に実験計画を立てさせるとともに，電磁石にはどのような性質があるのかについて調べ，電磁石は極が入れ替わるなど棒磁石との性質の違いについて話し合い，考えを広げたり深めたりする活動 第6学年～「てこのはたらき」において，問題を見いだし，予想を基に実験計画を立てさせるとともに，てこを利用した道具はどのような仕組みになっているのかについて調べ，作用点で働く力の大きさについて話し合い，考えを広げたり深めたりする活動

内容の構成・排列	○　内容の構成・排列については，次のような工夫がなされている。 第3学年～「光のせいしつ」において，光の性質についての学習の後に，日光の進み方に関する資料を通じて，物質・エネルギーの内容区分で系統的・発展的に学習できるような工夫 第4学年～「もののあたたまり方」において，熱の伝わり方についての学習の後に，熱伝導に関する資料を通じて，物質・エネルギーの内容区分で系統的・発展的に学習できるような工夫 第5学年～「雲と天気の変化」において，天気と雲の様子についての学習の後に，季節によって変わる天気の変化に関する資料を通じて，生命・地球の内容区分で系統的・発展的に学習できるような工夫 第6学年～「生物どうしのつながり」において，生物と環境についての学習の後に，外来生物に関する資料を通じて，生命・地球の内容区分で系統的・発展的に学習できるような工夫
使用上の配慮等	○単元の導入において，ろうそくが燃えている様子の観察などの児童の豊かな表情の写真を掲載したり（第6学年），「くらしとリンク」において，身近な生活との関連を取り上げ，理科を学ぶ意義を実感できるようにしたり（全学年）するなど，児童の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○問題解決の過程を線でつなぎ学習の流れに見通しをもたせたり（全学年），単元末において，学習の振り返りとして新しく学習した言葉を掲載したり（全学年）するなど，児童が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○全ての児童にとって，読みやすいフォントとなるよう配慮したり（全学年），識別しやすい配色を用いたり（全学年）するとともに，二次元コードを掲載し，補充問題を活用できるようにする（全学年）など，使用上の便宜が図られている。
その他	○　「学びのサイクル」として「見つける・調べる・まとめる」の3段階を設け，問題解決の過程を「学びのライン」，理科の見方・考え方を「見方・考え方マーカー」で示し，学び方や身に付けさせたい力が明確に示されている。 ○　デジタルコンテンツが豊富で，実験器具の使い方の動画や，既習内容を確認する学習クイズ，学んだことを確認する基本問題が充実しており，児童が興味をもちながら進んで学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○　「理科の広場」「くらしとリンク」「STEAM」で理科に関わる身近な題材を豊富に掲載しており，学んだことと実生活や実社会との関連を意識して，理科の学ぶ意義や有用性を実感できるような工夫がなされている。

小委員会委員氏名

小委員長名	委　員	委　員	委　員	委　員	委　員	委　員
若林　慎也 （高丘小）	永澤　篤 （学識経験者）	山崎夕記子 （PTA）	坪谷　正樹 （南茅部小）	中村　円 （亀田小）	吉田麻夕子 （戸井学園）	竹内　文実 （中島小）

1 教科書名

発行者名	教　科　書　の　記　号・番　号					
2 東京書籍	生活 117 118					
教科書名	どきどき わくわく新編 あたらしいせいかつ 上 あしたへジャンプ新編 新しい生活 下					

2 調査研究内容

取扱内容（学習指導要領の総則及び各教科，各学年の目標，内容等）	○　学校，家庭及び地域の生活に関する内容については，目標を達成することができるよう，次のような学習活動が取り上げられている。 ・学校で見付けたことを他者に伝えたり，町の施設や人を調べ，伝えたりする活動を通して，自分と身近な人々，社会及び自然との関わりについて考える活動 ○　身近な人々，社会及び自然と関わる活動に関する内容については，目標を達成することができるよう，次のような学習活動が取り上げられている。 ・花を育てて図鑑にまとめたり，動くおもちゃを製作したりする活動を通して，活動のよさや大切さに気付き，自分たちの遊びや生活をよりよくする活動 ○　自分自身の生活や成長に関する内容については，目標を達成することができるよう，次のような学習活動が取り上げられている。 ・自分でできることをしてみたり，２年間の成長したことをまとめたりする活動を通して，自分のよさや可能性に気付き，意欲と自信をもって生活するようにする活動 ○　主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については，次のような学習活動が取り上げられている。 ・具体的な活動や体験を通して気付いたことを基に考え，気付きを確かなものとしたり，新たな気付きを得たりするようにするため，上下巻を通じて成長する挿絵の登場人物を活用して，活動や体験を通して気付いたことなどについて多様に表現し考える活動 ・具体的な活動や体験を通して気付いたことを基に考え，気付きを確かなものとしたり，新たな気付きを得たりするようにするため，「かつどうべんりてちょう」を活用して「見付ける」，「比べる」，「たとえる」，「試す」，「見通す」，「工夫する」などの多様な学習活動を行う活動
内容の構成・排列・分量等	○　内容の構成・排列については，次のような工夫がなされている。 ・中学年への期待を高める「つながるひろがる」を設け，中学年以降の教育との接続を図るなど，系統的・発展的に学習できるような工夫 ○　内容の分量については，次のようになっている。 ・「学校と生活」は４教材，「家庭と生活」は２教材，「地域と生活」は１０教材，「公共物や公共施設の利用」は７教材，「季節の変化と生活」は５教材，「自然や物を使った遊び」は５教材，「動植物の飼育・栽培」は４教材，「生活や出来事の交流」は１８教材，「自分の成長」は７教材，大単元数は１８であり，総ページ数は２５２ページで，前回よりも約４％減となっている。 ・他教科等との関連を取り上げているページ数は５３ページとなっている。 ・北海道とのかかわりのある内容を取り上げている写真の数は２となっている。 写真の内訳：図書館（札幌市），路面電車（函館市）

使用上の配慮等	○　見開きでダイナミックな活動写真を掲載したり（全学年），伝承遊びや，草花遊び，伝統行事などを掲載したり（全学年）するなど，児童の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○　単元の扉ページに小写真と児童のつぶやき例の吹き出しを掲載したり（全学年），多様な表現方法の例を掲載したり（全学年）するなど，児童が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○　児童の読みやすさに配慮して教科書・教材専用のユニバーサルデザインフォントを使用したり（全学年），配色及びデザインについて，専門家による検証を行ったり（全学年）するとともに，１人１台端末を活用した学習活動として，二次元コードを掲載し，画像や動画のデジタルコンテンツを活用できるようにする（全学年）など，使用上の便宜が図られている。
その他	○　学習指導要領で示された育成を目指す資質・能力を，教科書紙面で分かりやすく具体化している。 ○「気付きの質」が高められるよう，児童キャラクターの姿や多様な表現方法により，児童や先生方が具体的な活動イメージをつかめるよう工夫されている。 ○　学校内や地域内での探検や季節探しなど，実生活との関連を意識して学習を進めることができるよう構成されている。また，他教科で身に付けたことを活かせるよう，ヒントが掲載されている。

小委員会委員氏名

小委員長名	委　員	委　員	委　員	委　員	委　員
浦上　修一 （北星小）	長尾　智絵 （学識経験者）	小野田　府 （PTA）	伊藤　圭 （本通小）	紺田　智 （中部小）	藤田　愛 （八幡小）

1 教科書名

発行者名	教科書の記号・番号					
4 大日本図書	生活 119 120					
教科書名	新版 たのしい せいかつ 上 だいすき 新版 たのしい せいかつ 下 ひろがれ					

2 調査研究内容

取扱内容（学習指導要領の総則及び各教科，各学年の目標，内容等）	○ 学校，家庭及び地域の生活に関する内容については，目標を達成することができるよう，次のような学習活動が取り上げられている。 ・学校で見付けたことを他者に伝えたり，町のよさや働く人を調べ，伝えたりする活動を通して，自分と身近な人々，社会及び自然との関わりについて考える活動 ○ 身近な人々，社会及び自然と関わる活動に関する内容については，目標を達成することができるよう，次のような学習活動が取り上げられている。 ・花などを栽培して観察日記にまとめたり，楽しいおもちゃを製作したりする活動を通して，活動のよさや大切さに気付き，自分たちの遊びや生活をよりよくする活動 ○ 自分自身の生活や成長に関する内容については，目標を達成することができるよう，次のような学習活動が取り上げられている。 ・家族が笑顔になることをしたり，自分の成長したことをまとめたりする活動を通して，自分のよさや可能性に気付き，意欲と自信をもって生活するようにする活動 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については，次のような学習活動が取り上げられている。 ・具体的な活動や体験を通して気付いたことを基に考え，気付きを確かなものとしたり，新たな気付きを得たりするようにするため，自分の成長したことを実感できる書き込み欄を活用して，活動や体験を通して気付いたことなどについて多様に表現し考える活動 ・具体的な活動や体験を通して気付いたことを基に考え，気付きを確かなものとしたり，新たな気付きを得たりするようにするため，「がくしゅうどうぐばこ」を活用して「見付ける」，「比べる」，「たとえる」，「試す」，「見通す」，「工夫する」などの多様な学習活動を行う活動
内容の構成・排列・分量等	○ 内容の構成・配列については，次のような工夫がなされている。 ・合科的・関連的指導が効果的な箇所につながりが分かるマークを設け，中学年以降の教育との接続を図るなど，系統的・発展的に学習できるような工夫 ○ 内容の分量については，次のようになっている。 ・「学校と生活」は５教材，「家庭と生活」は教材，「地域と生活」は９教材，「公共物や公共施設の利用」は５教材，「季節の変化と生活」は７教材，「自然や物を使った遊び」は５教材，「動植物の飼育・栽培」は５教材，「生活や出来事の交流」は８教材，「自分の成長」は５教材，大単元数は１０であり，総ページ数は２６８ページで，前回よりも約５％減となっている。 ・他教科等との関連を取り上げているページ数は７０ページとなっている。 ・北海道とのかかわりのある内容を取り上げている写真の数は０となっている。

使用上の配慮等	○　児童の目線に立ったダイナミックで躍動感のある活動写真やイラストを掲載したり（全学年），昔遊び，地域の行事，日本固有の風物詩や行事などを取り上げたり（全学年）するなど，児童の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○　児童の思いや願いを挿絵や吹き出しで掲載したり（全学年），活動の視点を示唆するビンゴカードを掲載したり（全学年）するなど，児童が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○　特別支援教育に配慮してユニバーサルデザインフォントを使用したり（全学年），色覚の特性によらず情報が読み取れるよう配色に配慮したり（全学年）するとともに，１人１台端末を活用した学習活動として，二次元コードを掲載し，画像や動画のデジタルコンテンツを活用できるようにする（全学年）など，使用上の便宜が図られている。
その他	○　生活科の学び方を示すことにより，育成すべき資質･能力が見えるようにしたり，ＩＣＴを活用した活動場面を示したりすることにより，これからの生活科の新しい授業がわかるよう工夫がなされている。 ○　資料「がくしゅうどうぐばこ」をウェブにも広げ，豊富な資料で生活科の学びを支え，児童が主体的に学ぶことができるよう工夫がなされている。 ○　「わたしの町はっけん」という単元では，町探検だけではなく，その町に住む人や働く人にスポットを当て，インタビューや発表会への招待などといった，交流する場面を設定している。

小委員会委員氏名

小委員長名	委　員	委　員	委　員	委　員	委　員
浦上　修一 （北星小）	長尾　智絵 （学識経験者）	小野田　府 （PTA）	伊藤　圭 （本通小）	紺田　智 （中部小）	藤田　愛 （八幡小）

1 教科書名

発行者名	教科書の記号・番号					
11 学校図書	生活 121 122					
教科書名	みんなとまなぶ しょうがっこう せいかつ 上 みんなとまなぶ しょうがっこう せいかつ 下					

2 調査研究内容

取扱内容（学習指導要領の総則及び各教科，各学年の目標，内容等）	○ 学校，家庭及び地域の生活に関する内容については，目標を達成することができるよう，次のような学習活動が取り上げられている。 ・学校で見付けたことをカードに表したり，町で働いている人を調べ，伝えたりする活動を通して，自分と身近な人々，社会及び自然との関わりについて考える活動 ○ 身近な人々，社会及び自然と関わる活動に関する内容については，目標を達成することができるよう，次のような学習活動が取り上げられている。 ・アサガオを育て，日記にまとめたり，動くおもちゃを製作したりする活動を通して，活動のよさや大切さに気付き，自分たちの遊びや生活をよりよくする活動 ○ 自分自身の生活や成長に関する内容については，目標を達成することができるよう，次のような学習活動が取り上げられている。 ・家の仕事をしてみたり，自分の成長を調べて，伝えたりする活動を通して，自分のよさや可能性に気付き，意欲と自信をもって生活するようにする活動 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については，次のような学習活動が取り上げられている。 ・具体的な活動や体験を通して気付いたことを基に考え，気付きを確かなものとしたり，新たな気付きを得たりするようにするため，キャラクターによる単元のストーリーを活用して，活動や体験を通して気付いたことなどについて多様に表現し考える活動 ・具体的な活動や体験を通して気付いたことを基に考え，気付きを確かなものとしたり，新たな気付きを得たりするようにするため，「学び方図かん」を活用して「見付ける」，「比べる」，「たとえる」，「試す」，「見通す」，「工夫する」などの多様な学習活動を行う活動
内容の構成・配列・分量等	○ 内容の構成・配列については，次のような工夫がなされている。 ・中学年への期待を高めるページを設け，中学年以降の教育との接続を図るなど，系統的・発展的に学習できるような工夫 ○ 内容の分量については，次のようになっている。 ・「学校と生活」は3教材，「家庭と生活」は4教材，「地域と生活」は4教材，「公共物や公共施設の利用」は4教材，「季節の変化と生活」は3教材，「自然や物を使った遊び」は4 教材，「動植物の飼育・栽培」は5教材，「生活や出来事の交流」は13教材，「自分の成長」は5教材，大単元数は14であり，総ページ数は272ページで，前回よりも約6%増となっている。 ・他教科等との関連を取り上げているページ数は96ページとなっている。 ・北海道とのかかわりのある内容を取り上げている写真の数は0となっている。

使用上の配慮等	○　児童の活動など臨場感あふれる写真を掲載したり（全学年），手に入れやすい身近な素材や教具を取り上げたり（全学年）するなど，児童の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○　単元の導入で自分の思いや願いをもたせる言葉を掲載したり（全学年），単元の終末に「もっと○○したい」を掲載したり（全学年）するなど，児童が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○　読みやすく，児童が理解しやすい文字になるようユニバーサルデザインフォントを使用したり（全学年），目に優しく判別しやすい色づかいにしたり（全学年）するとともに，1人1台端末を活用した学習活動として，二次元コードを掲載し，資料や動画のデジタルコンテンツを活用できるようにする（全学年）など，使用上の便宜が図られている。
その他	○　記録をもとにしたふり返りを行うことで，単元を通して児童が「がんばった自分」に気付くことができるような工夫がなされている。 ○　見開きの中で活動の流れがわかり，見通しをもって学習に取り組むことができるようになっている。また，右下にはこれまでの活動と次の活動をつなぐイラストやコメントがあり，学習の連続性を意識できるよう工夫されている。 ○　家庭での活動が主な内容でも，イラストで家庭の仕事を表したり，自分が家庭で取り組んだことを表現する「チャレンジカード」を示したりすることで，授業の中でも活動が見える配慮がなされている。

小委員会委員氏名

小委員長名	委　員	委　員	委　員	委　員	委　員
浦上　修一 （北星小）	長尾　智絵 （学識経験者）	小野田　府 （PTA）	伊藤　圭 （本通小）	紺田　智 （中部小）	藤田　愛 （八幡小）

1 教科書名

発行者名	教科書の記号・番号					
17 教育出版	生活 123 124					
教科書名	せいかつ 上 みんな なかよし せいかつ 下 なかよし ひろがれ					

2 調査研究内容

取扱内容（学習指導要領の総則及び各教科，各学年の目標，内容等）	○ 学校，家庭及び地域の生活に関する内容については，目標を達成することができるよう，次のような学習活動が取り上げられている。 ・学校で見付けたことを伝えたり，町探検をマップにまとめたりする活動を通して，自分と身近な人々，社会及び自然との関わりについて考える活動 ○ 身近な人々，社会及び自然と関わる活動に関する内容については，目標を達成することができるよう，次のような学習活動が取り上げられている。 ・花を育てて観察したり，動くおもちゃを製作したりする活動を通して，活動のよさや大切さに気付き，自分たちの遊びや生活をよりよくする活動 ○ 自分自身の生活や成長に関する内容については，目標を達成することができるよう，次のような学習活動が取り上げられている。 ・家の仕事に挑戦したり，２年間の自分の成長をカードにまとめたりする活動を通して，自分のよさや可能性に気付き，意欲と自信をもって生活するようにする活動 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については，次のような学習活動が取り上げられている。 ・具体的な活動や体験を通して気付いたことを基に考え，気付きを確かなものとしたり，新たな気付きを得たりするようにするため，単元を「わくわくスイッチ」，「はっけんロード」と「はてな」，「ぐんぐんはしご」で構成して，活動や体験を通して気付いたことなどについて多様に表現し考える活動 ・具体的な活動や体験を通して気付いたことを基に考え，気付きを確かなものとしたり，新たな気付きを得たりするようにするため，「ひんと」を活用して「見付ける」，「比べる」，「たとえる」，「試す」，「見通す」，「工夫する」などの多様な学習活動を行う活動
内容の構成・配列・分量等	○ 内容の構成・配列については，次のような工夫がなされている。 ・「はってん」コラムと特設ページを設け，中学年以降の教育との接続を図るなど，系統的・発展的に学習できるような工夫 ○ 内容の分量については，次のようになっている。 ・「学校と生活」は２教材，「家庭と生活」は２教材，「地域と生活」は２教材，「公共物や公共施設の利用」は６教材，「季節の変化と生活」は８教材，「自然や物を使った遊び」は４教材，「動植物の飼育・栽培」は４教材，「生活や出来事の交流」は１５教材，「自分の成長」は４教材，大単元数は１であり，総ページ数は２６ページで，前回よりも６％減となっている。 ・他教科等との関連を取り上げているページ数は１１０ページとなっている。 ・北海道とのかかわりのある内容を取り上げている写真の数は８となっている。 写真の内訳：児童の様子及び校庭（札幌市２），児童の様子（札幌市２，釧路市１），学校（札幌市），旭山動物園（旭川市），さっぽろ雪まつり（札幌市）

使用上の配慮等	○　単元導入の「わくわくスイッチ」で動機付けしたり（全学年），日本各地の慣習や行事に目を向ける資料を豊富に掲載したり（全学年）するなど，児童の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○　小単元「サイコロ」で，「めあて」を掲載したり（全学年），単元末に「なにをかんじたかな」を掲載したり（全学年）するなど，児童が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○　児童が読みやすい正しい字形や文字の大きさに配慮してユニバーサルフォントを使用したり（全学年），読み取りやすいカラーユニバーサルデザインに配慮したり（全学年）するとともに，１人１台端末を活用した学習活動として，二次元コードを掲載し，動画やデジタル図鑑などのコンテンツを活用できるようにする（全学年）など，使用上の便宜が図られている。
その他	○　自分らしさをとらえ発揮する「学びに向かうチカラ」を育むことを軸として，生活科で育む，資質・能力が見える工夫がなされている。 ○　体全体を使って学ぶ直接的な体験活動と，生活科らしいＩＣＴ活用を取り入れた学習・表現活動により，児童が対話的で協働的な学びへと向かうことができるような工夫がなされている。 ○　生活科を中心に幼児教育から中学年以降の学びへ，さらに他教科へと縦横につなげて，児童の豊かな学びを育むことで，教師の授業実践を確実に進めることができるような工夫がなされている。

小委員会委員氏名

小委員長名	委　員	委　員	委　員	委　員	委　員
浦上　修一 （北星小）	長尾　智絵 （学識経験者）	小野田　府 （PTA）	伊藤　圭 （本通小）	紺田　智 （中部小）	藤田　愛 （八幡小）

1 教科書名

発行者名	教科書の記号・番号					
26 信州教育	生活 125	生活 126				
教科書名	せいかつ上 あおぞら	せいかつ下 そよかぜ				

2 調査研究内容

取扱内容〔学習指導要領の総則及び各教科，各学年の目標，内容等〕	○　学校、家庭及び地域の生活に関する内容については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 ・　学校で見付けたことを他者に伝えたり、町の施設や人を調べ、伝えたりする活動を通して、自分と身近な人々、社会及び自然との関わりについて考える活動 ○　身近な人々、社会及び自然と関わる活動に関する内容については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 ・　花を育てて図鑑にまとめたり、動くおもちゃを製作したりする活動を通して、活動のよさや大切さに気付き、自分たちの遊びや生活をよりよくする活動 ○　自分自身の生活や成長に関する内容については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 ・　自分でできることをしてみたり、２年間の成長したことをまとめたりする活動を通して、自分のよさや可能性に気付き、意欲と自信をもって生活するようにする活動 ○　主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。 ・　具体的な活動や体験を通して気付いたことを基に考え、気付きを確かなものとしたり、新たな気付きを得たりするようにするため、上下巻を通じて成長する挿絵の登場人物を活用して、活動や体験を通して気付いたことなどについて多様に表現し考える活動 ・　具体的な活動や体験を通して気付いたことを基に考え、気付きを確かなものとしたり、新たな気付きを得たりするようにするため、「かつどうべんりてちょう」を活用して「見付ける」、「比べる」、「たとえる」、「試す」、「見通す」、「工夫する」などの多様な学習活動を行う活動
内容の構成・排列	○　内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。 ・　中学年への期待を高める「つながるひろがる」を設け、中学年以降の教育との接続を図るなど、系統的・発展的に学習できるような工夫
使用上の配慮等	○　見開きでダイナミックな活動写真を掲載したり（全学年）、伝承遊びや、草花遊び、伝統行事などを掲載したり（全学年）するなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○　単元の扉ページに小写真と児童のつぶやき例の吹き出しを掲載したり（全学年）、多様な表現方法の例を掲載したり（全学年）するなど、児童が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○　児童の読みやすさに配慮して教科書・教材専用のユニバーサルデザインフォントを使用したり（全学年）、配色及びデザインについて、専門家による検証を行ったり（全学年）するとともに、１人１台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載し、画像や動画のデジタルコンテンツを活用できるようにする（全学年）など、使用上の便宜が図られている。
その他	○　活動の節々における「感動体験」，試す・確かめるなどの「探究活動」や，自らの体験を見返し味わう「表現活動」を設定し，児童が学び合いや情報交換ができるような工夫がなされている。 ○　「子どもの願いから立ち上がる端緒」や意識の高まり具合を，単元を象徴する写真やさし絵などで示すことで，学びの深めたり広げたりすることができるよう工夫がなされている。 ○　いつもの遊び場や散歩道などを位置付けた単元を設け，四季を通して繰り返し足を運

	ぶことで，児童が多様な気付きや発見の喜びを感じ，郷土への愛着を深めることができるよう構成されている。

小委員会委員氏名

小委員長名	委　員	委　員	委　員	委　員	委　員
浦上　修一 （北星小）	長尾　智絵 （学識経験者）	小野田　府 （PTA）	伊藤　圭 （本通小）	紺田　智 （中部小）	藤田　愛 （八幡小）

1 教科書名

発行者名	教　科　書　の　記　号・番　号					
38 光村図書	生活 127 128					
教科書名	せいかつ　たんけんたい　上 はじめてが　いっぱい せいかつ　たんけんたい　下 はっけん　だいすき					

2 調査研究内容

取扱内容〔学習指導要領の総則及び各教科，各学年の目標，内容等〕	○　学校，家庭及び地域の生活に関する内容については，目標を達成することができるよう，次のような学習活動が取り上げられている。 ・学校を探検して見付けたことを伝えたり，町の施設やお店を調べ，伝えたりする活動を通して，自分と身近な人々，社会及び自然との関わりについて考える活動 ○　身近な人々，社会及び自然と関わる活動に関する内容については，目標を達成することができるよう，次のような学習活動が取り上げられている。 ・花を育てて観察したり，動くおもちゃを製作したりする活動を通して，活動のよさや大切さに気付き，自分たちの遊びや生活をよりよくする活動 ○　自分自身の生活や成長に関する内容については，目標を達成することができるよう，次のような学習活動が取り上げられている。 ・家族が笑顔になることをしたり，自分の成長の様子をまとたりする活動を通して，自分のよさや可能性に気付き，意欲と自信をもって生活するようにする活動 ○　主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については，次のような学習活動が取り上げられている。 ・具体的な活動や体験を通して気付いたことを基に考え，気付きを確かなものとしたり，新たな気付きを得たりするようにするため，単元を「導入」，「展開」，「振り返り」で構成して，活動や体験を通して気付いたことなどについて多様に表現し考える活動 ・具体的な活動や体験を通して気付いたことを基に考え，気付きを確かなものとしたり，新たな気付きを得たりするようにするため，「ひろがるせいかつじてん」を活用して「見付ける」，「比べる」，「たとえる」，「試す」，「見通す」，「工夫する」などの多様な学習活動を行う活動
内容の構成・排列・分量等	○　内容の構成・配列については，次のような工夫がなされている。 ・中学年への期待を高めるコーナーを設け，中学年以降の教育との接続を図るなど，系統的・発展的に学習できるような工夫 ○　内容の分量については，次のようになっている。 ・「学校と生活」は2教材，「家庭と生活」は1教材，「地域と生活」は4教材，「公共物や公共施設の利用」は8教材，「季節の変化と生活」は11教材，「自然や物を使った遊び」は4教材，「動植物の飼育・栽培」は4教材，「生活や出来事の交流」は18教材，「自分の成長」は教材，大単元数は18あり，総ページ数は264ページで，前回よりも約2%増となっている。 ・他教科等との関連を取り上げているページ数は26ページとなっている。 ・北海道とのかかわりのある内容を取り上げている写真の数は1となっている。 資料（写真）の内訳：旭山動物園（旭川市），児童の様子（札幌市7），スノーキャンドル（旭川市），さっぽろ雪まつり（札幌市）

使用上の配慮等	○　表情・身振りなどから，楽しさ・真剣さが伝わる写真を掲載したり（全学年），日本各地の伝統・文化や季節の行事などを随所で紹介したり（全学年）するなど，児童の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○　単元扉に学習対象と児童の写真，問いかけを位置付けたり（全学年），小単元に「ふりかえろう」を位置付けたり（全学年）するなど，児童が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○　読みやすさを強調して作られたユニバーサルデザイン書体を使用したり（全学年），カラーユニバーサルデザインの観点から，専門家の校閲を受けたり（全学年）するとともに，1人1台端末を活用した学習活動として，二次元コードを掲載し，画像や動画のコンテンツを活用できるようにする（全学年）など，使用上の便宜が図られている。
その他	○　見開きごとに学びを振り返るコーナーを設けるなど，児童が活動しただけに終わることのないような工夫がなされている。 ○　児童の声が聞こえてくるような活動写真やイラストなどを用いて，多様性を大切にし，児童が自分らしく主体的に学びを深められるような工夫がなされている。 ○　対話的・協働的な学習を促すヒントを随所に設け，児童が探検する気持ちで活動しながら，生活の広がりに気付けるような工夫がなされている。

小委員会委員氏名

小委員長名	委　員	委　員	委　員	委　員	委　員
浦上　修一 （北星小）	長尾　智絵 （学識経験者）	小野田　府 （PTA）	伊藤　圭 （本通小）	紺田　智 （中部小）	藤田　愛 （八幡小）

1 教科書名

発行者名	教科書の記号・番号					
61 啓林館	生活 129 130					
教科書名	わくわく せいかつ上 いきいき せいかつ下					

2 調査研究内容

取扱内容〔学習指導要領の総則及び各教科，各学年の目標，内容等〕	○ 学校，家庭及び地域の生活に関する内容については，目標を達成することができるよう，次のような学習活動が取り上げられている。 ・学校で見付けたことを伝えたり，町の施設や人を調べ，伝えたりする活動を通して，自分と身近な人々，社会及び自然との関わりについて考える活動 ○ 身近な人々，社会及び自然と関わる活動に関する内容については，目標を達成することができるよう，次のような学習活動が取り上げられている。 ・花を育てて観察したり，おもちゃを製作したりする活動を通して，活動のよさや大切さに気付き，自分たちの遊びや生活をよりよくする活動 ○ 自分自身の生活や成長に関する内容については，目標を達成することができるよう，次のような学習活動が取り上げられている。 ・自分でできることに挑戦したり，自分の成長をまとめ，伝えたりする活動を通して，自分のよさや可能性に気付き，意欲と自信をもって生活するようにする活動 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については，次のような学習活動が取り上げられている。 ・具体的な活動や体験を通して気付いたことを基に考え，気付きを確かなものとしたり，新たな気付きを得たりするようにするため，単元を「わくわく」，「いきいき」，「ぐんぐん」の3段階で構成して，活動や体験を通して気付いたことなどについて多様に表現し考える活動 ・具体的な活動や体験を通して気付いたことを基に考え，気付きを確かなものとしたり，新たな気付きを得たりするようにするため，学びのキーワードを活用して「見付ける」，「比べる」，「たとえる」，「試す」，「見通す」，「工夫する」などの多様な学習活動を行う活動
内容の構成・排列・分量等	○ 内容の構成・配列については，次のような工夫がなされている。 ・「3年生へのステップブック」の資料単元を設け，中学年以降の教育との接続を図るなど，系統的・発展的に学習できるような工夫 ○ 内容の分量については，次のようになっている。 ・「学校と生活」は4教材，「家庭と生活」は2教材，「地域と生活」は5教材，「公共物や公共施設の利用」は5教材，「季節の変化と生活」は7教材，「自然や物を使った遊び」は5教材，「動植物の飼育・栽培」は5教材，「生活や出来事の交流」は15教材，「自分の成長」は4教材，大単元数は18であり，総ページ数は286ページで，前回よりも約1％減となっている。 ・他教科等との関連を取り上げているページ数は156ページとなっている。 ・北海道とのかかわりのある内容を取り上げている写真の数は5となっている。 写真の内訳：はこだてみなとまつり（函館市），児童の様子（苫小牧市），氷のお面（帯広市），苫小牧市立中央図書館（苫小牧市），路面電車（函館市）

使用上の配慮等	○　単元導入に「わくわくたいむ」を掲載したり（全学年），児童が親しみやすい学習活動や学習対象，学習材を取り上げたり（全学年）するなど，児童の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○　次の活動に向けた「めくり言葉」を位置付けたり（全学年），「できるかなできたかな？」コーナーを掲載したり（全学年）するなど，児童が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○　視認性と可読性を高めるユニバーサルデザインフォントを使用したり（全学年），色覚の個人差を問わず，紙面の内容が判別しやすい配色・デザインを用いたり（全学年）するとともに，１人１台端末を活用した学習活動として，二次元コードを掲載し，動画などのコンテンツやデジタル図鑑を活用できるようにする（全学年）など，使用上の便宜が図られている。
その他	○　紙面の適所に，気付いたことをもとに考えるための多様な学習活動を例示し，児童が思考を働かせ，気づきの質が高まるような工夫がなされている。 ○　身近な生活に関わる見方・考え方を十分に生かしながら，主体的・対話的で深い学びを通して，幅広い知識と教養を身につけられるような工夫がなされている。 ○　上巻では伝統的な遊び，下巻では各地の伝統的な行事を紹介し，地域や我が国の伝統文化への愛着が深まるような工夫がなされている。

小委員会委員氏名

小委員長名	委　員	委　員	委　員	委　員	委　員
浦上　修一 （北星小）	長尾　智絵 （学識経験者）	小野田　府 （PTA）	伊藤　圭 （本通小）	紺田　智 （中部小）	藤田　愛 （八幡小）

1 教科書名

発行者名	教　科　書　の　記　号・番　号					
17 教育出版	音楽 103	音楽 203	音楽 303	音楽 403	音楽 503	音楽 603
教科書名	小学音楽 おんがくの おくりもの1	小学音楽 音楽の おくりもの2	小学音楽 音楽の おくりもの3	小学音楽 音楽の おくりもの4	小学音楽 音楽の おくりもの5	小学音楽 音楽の おくりもの6

2 調査研究内容

取扱内容（学習指導要領の総則及び各教科，各学年の目標，内容等）	○ 歌唱については，目標を達成することができるよう，次のような学習活動が取り上げられている。 第 1，2 学年～ 音楽に合わせて体を動かしたり，声の感じや強さをかえたりして歌う活動 第 3，4 学年～ 曲に合った歌い方を見つけたり，響きを大切にして歌い方を工夫したりして歌う活動 第 5，6 学年～ 表現を工夫して聴き合いながら歌い合わせたり，思いや意図を大切にしながらみんなで表現を工夫したりして歌う活動 ○ 器楽については，目標を達成することができるよう，次のような学習活動が取り上げられている。 第 1，2 学年～ 一つの楽器からいろいろな音を出したり，楽器を選んで歌に合わせたりして演奏する活動 第 3，4 学年～ リコーダーの音でまねっこ遊びをしたり，パートの役割を生かしたりして演奏する活動 第 5，6 学年～ パートの役割や曲の特徴を生かしたり，旋律や響きの変化を捉えたりして演奏する活動 ○ 音楽づくりについては，目標を達成することができるよう，次のような学習活動が取り上げられている。 第 1，2 学年～ リズムをつくって遊んだり，たいこの音やリズムを声で表したりして音楽をつくる活動 第 3，4 学年～ 伴奏に合わせて旋律をつくったり，音階の音を選び，友だちと旋律をつなげたりして音楽をつくる活動 第 5，6 学年～ 和音に合わせて旋律をつくったり，音の重ね方，強弱，速さなどを工夫したりして音楽をつくる活動 ○ 鑑賞については，目標を達成することができるよう，次のような学習活動が取り上げられている。 第 1，2 学年～ 音楽に合わせて体を動かしたり，いろいろな音や旋律の移り変わりに気付いたりして聴く活動 第 3，4 学年～ 楽器の音色や曲の流れを捉えたり，曲の流れを感じ取り全体を味わったりして聴く活動 第 5，6 学年～ 曲のおもしろいところを見付けたり，世界のいろいろな声の表現や楽器のひびきに気付いたりして聴く活動 ○ 〔共通事項〕については，目標を達成することができるよう，次のような学習活動が取り上げられている。 第 1,2 学年～ 強さや速さを感じ取って聴いたり，音の重なりやリズムを感じて演奏したりする活動 第 3，4 学年～ 旋律の変化や流れを感じ取って聴いたり，拍の違いを感じて演奏したりする活動 第 5，6 学年～ 主題の変化や伴奏の動きを感じ取って聴いたり，旋律の動きや重なりを感じて演奏したりする活動

	○　主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については，次のような学習活動が取り上げられている。 第 1，2 学年～「どれみとなかよし」において，学習課題を設定し，見通しをもたせる　とともに，選んだ音に合わせて手の高さを工夫する学習の後に，歌に合わせて体を動かすなど，考えを広げたり，深めたりする活動 第 3，4 学年～「日本と世界の音楽」において，学習課題を設定し，見通しをもたせるとともに，おはやしづくりの後に，世界に伝わるいろいろなリズムや歌を楽しむなど，考えを広げたり，深めたりする活動 第 5，6 学年～「アンサンブルのみりょく」において，学習課題を設定し，見通しをもたせるとともに，交響曲の鑑賞の後に，思いや意図を大切にしながらみんなで表現を工夫するなど，考えを広げたり，深めたりする活動
内容の構成・排列	○　内容の構成・排列については，次のような工夫がなされている。 第 1，2 学年～　いろいろな太鼓の音を楽しむ学習の後に，おまつりの音楽をつくる学習を取り扱うなど，系統的・発展的に学習できる工夫 第 3，4 学年～　音の動き方を生かして旋律をつくる学習の後に，旋律の特徴を生かして歌う学習を取り扱うなど，系統的・発展的に学習できる工夫 第 5，6 学年～　日本の民謡を調べる学習の後に，旋律の感じを生かして民謡を歌う学習を取り扱うなど，系統的・発展的に学習できる工夫
使用上の配慮等	○　折り込みを使ったワイドな誌面で，歌詞に忠実な写真を掲載したり（第 3～6 学年），即興的に表現する活動を取り入れたり（第 1,2 学年）するなど，児童の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○　巻頭に「学習マップ」を掲載し，各題材で学習する内容を解説して見通しを持たせたり（全学年），「学習の進め方」コーナーを設け，それぞれの学習の目的や留意点を簡潔に示したり（第 3～6 学年）するなど，児童が主体的に学習に取り組めるような工夫がなされている。 ○　ユニバーサルデザインフォントを使用したり（全学年），他教科と関連する教材として「ショート タイム ラーニング」を掲載したり（全学年）するとともに，1人 1台端末を活用した学習活動として，二次元コードを掲載し，旋律の動きを捉えることができる動画を活用できるようにする（第 3～6 学年）など，使用上の便宜が図られている。
その他	○　題材の目標やねらいが分かりやすく，児童が見通しをもって主体的に活動できるようになっており，学習活動を支える指示や発問においては，説明が端的で明確であり，また，巻末の楽典のページでは，適度な情報量で，児童が視覚的に見やすいようにするなど工夫がなされている。 ○　写真を大きく提示し，曲のイメージを膨らませるように工夫され，児童が主体的に学習を進めることができるような工夫がなされている。 ○　高学年では，SDGｓへの取組に関連したページがあり，海や陸の豊かさを守るためのことや全ての人々の健康的な生活や質の高い教育など，児童が生涯学習の大切さについても意識をもつことができるような工夫がなされている。

小委員会委員氏名

小委員長名	委　員	委　員	委　員	委　員	委　員
宮森 仁之 （銭亀沢小）	長尾 智絵 （学識経験者）	小野田 府 （PTA）	庄司　浩 （中部小）	工藤 敏典 （本通小）	野原 一郎 （あさひ小）

1 教科書名

発行者名	教科書の記号・番号					
27 教育芸術社	音楽 104	音楽 204	音楽 304	音楽 404	音楽 504	音楽 604
教科書名	小学生の おんがく1	小学生の 音楽2	小学生の 音楽3	小学生の 音楽4	小学生の 音楽5	小学生の 音楽の6

2 調査研究内容

〔取扱内容 学習指導要領の総則及び各教科，各学年の目標，内容等〕

○ 歌唱については，目標を達成することができるよう，次のような学習活動が取り上げられている。

第 1，2 学年～ 音楽に合わせて体を動かし声を合わせたり，声の強さに気を付けて呼びかけ合ったりして歌う活動

第 3，4 学年～ 友だちと声やリズムを合わせたり，声が重なり合う美しさを感じ取ったりして歌う活動

第 5，6 学年～ 和音のひびきの移り変わりを感じ取ったり，曲想を生かして言葉や旋律のまとまりを大切にしたりして歌う活動

○ 器楽については，目標を達成することができるよう，次のような学習活動が取り上げられている。

第 1，2 学年～ 歌に合わせて楽器でリズムを打ったり，リズムを選んで歌と重ねたりして演奏する活動

第 3，4 学年～ リコーダーを吹く息の使い方に気を付けたり，パートの役割を生かしたりして演奏する活動

第 5，6 学年～ いろいろな楽器の音が重なり合う響きを味わったり，曲の特徴にふさわしい演奏の仕方を工夫したりして演奏する活動

○ 音楽づくりについては，目標を達成することができるよう，次のような学習活動が取り上げられている。

第 1，2 学年～ ことばでリズムをつくったり，リズムの繰り返しを使ったりして音楽をつくる活動

第 3，4 学年～ 繰り返しや変化を使ってまとまりのあるリズムをつくったり，日本の音階のよさを感じ取ったりして音楽をつくる活動

第 5，6 学年～ 打楽器の音色や音楽の仕組みを生かしてリズムアンサンブルをつくったり，旋律をつなげたり重ねたりして音楽をつくる活動

○ 鑑賞については，目標を達成することができるよう，次のような学習活動が取り上げられている。

第 1，2 学年～ 音楽に合わせて体を動かしたり，いろいろな楽器の音の中から好きな音を探したりして聴く活動

第 3，4 学年～ 旋律の音の上がり下がりに気付いたり，音楽が表している様子を思い浮かべたりして聴く活動

第 5，6 学年～ いろいろな楽器の音が重なり合う響きを味わったり，世界の様々な楽器の組み合せから生まれる響きを味わったりして聴く活動

○ 〔共通事項〕については，目標を達成することができるよう，次のような学習活動が取り上げられている。

第 1,2 学年～ 拍に乗ってリズムを感じ取って聴いたり，旋律の繰り返しを感じて演奏したりする活動

第 3，4 学年～ 旋律の重なりを感じ取って聴いたり，リズム伴奏の面白さを感じて演奏したりする活動

第 5，6 学年～ 詩と音楽の結びつきを感じ取って聴いたり，歌詞と旋律が一体となって生み出す曲想を感じて演奏したりする活動

	○　主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については，次のような学習活動が取り上げられている。 第 1, 2 学年～「はくにのってリズムをうとう」において，学習課題を設定し，見通しをもたせるとともに，音楽に合わせてリズムを打つ学習の後に，習ったリズムを選んで歌いながら打つなど，考えを広げたり，深めたりする活動 第 3, 4 学年～「日本の音楽でつながろう」において，学習課題を設定し，見通しをもたせるとともに，箏曲を鑑賞した後に，日本の音階のよさを感じ取りなが ら旋律をつくるなど，考えを広げたり，深めたりする活動 第 5,6 学年～「詩と音楽との関わりを味わおう」において，学習課題を設定し，見通しをもたせるとともに，日本歌曲の鑑賞の後に，曲想を感じ取って，思いが伝わるように歌うなど，考えを広げたり，深めたりする活動
内容の構成・排列	○　内容の構成・排列については，次のような工夫がなされている。 第 1,2 学年～　いろいろな楽器の音から好きな音を探す学習の後に，音を重ねて音楽づくりをする学習を取り扱うなど，系統的・発展的に学習にできる工夫 第 3,4 学年～　旋律の特徴を感じ取って聴く学習の後に，旋律の特徴を生かして歌う学習を取り扱うなど，系統的・発展的に学習できる工夫 第 5,6 学年～　日本の旋律の美しさを味わいながら歌う学習の後に，日本の民謡を調べる学習を取り扱うなど，系統的・発展的に学習できる工夫
使用上の配慮等	○　学習をサポートする写真やイラストを掲載したり（第 3～6 学年），ナビゲーターのキャラクターを取り入れたり（全学年）するなど，児童の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○　巻頭に「学習マップ」を掲載し，1年間で学習する内容の見通しを持たせたり（全学年），巻末に「ふり返りのページ」を掲載し，学習を振り返ることができるようにしたり（全学年）するなど，児童が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○　ユニバーサルフォントを使用したり（全学年），外国語活動と連携した平易な英語歌詞の歌を掲載したり（第 3～6 学年）するとともに，1人1台端末を活用した学習活動として，二次元コードを掲載し，タブレット端末で学習するコンテンツ（ムーブの 部屋）にアクセスし，参考となる音源や資料を活用できるようにする（全学年）など，使用上の便宜が図られている。
その他	○　１年から６年まで，学習が系統立てられたものとなっており，学習の過程が，児童にとって分かりやすく示されているなど，児童が学びを広げたり，深めたりすることができるような工夫がなされている。 ○　一つの題材で多様な活動が期待でき，技術的なポイントが具体的で明確で，音のイメージが図形楽譜で表記されており，やってみたいという意欲が自発的に生まれ，児童が主体的に学習を進めることができるような工夫がなされている。 ○　伝統楽器を詳しく扱ったり手遊び歌など地域の伝統文化を多く取り入れたりすることで，実生活や他教科と関連がなされており，また「音楽のいろいろな楽しみ方」では，音や音楽に対する考え方を広げたり深めたりすることができるなど児童の生活がより豊かに広がるような工夫がなされている。

小委員会委員氏名

小委員長名	委　員	委　員	委　員	委　員	委　員
宮森　仁之 （銭亀沢小）	長尾　智絵 （学識経験者）	小野田　府 （PTA）	庄司　浩 （中部小）	工藤　敏典 （本通小）	野原　一郎 （あさひ小）

1 教科書名

発行者名	教科書の記号・番号					
9 開隆堂	図画工作 105	図画工作 106	図画工作 305	図画工作 306	図画工作 505	図画工作 506
教科書名	ずがこうさく1・2 上 わくわくするね,	ずがこうさく1・2 下 みつけたよ	図画工作3・4 上 できたらいいな,	図画工作3・4 下 力を合わせて	図画工作5・6 上 心をひらいて,	図画工作5・6 下 つながる思い

2 調査研究内容

取扱内容（学習指導要領の総則及び各教科，各学年の目標，内容等）

○ 造形遊びをする活動については，目標を達成することができるよう，次のような学習活動が取り上げられている。

第1,2学年～ 砂や落ち葉に触れながら感じたことを行ったり，紙をねじったり，さいたりすることを通して，進んで表す態度を身に付け，つくり出す喜びを味わう活動

第3,4学年～ ビニルに空気を入れつなげたり，段ボールの切り方や組み合わせ方を工夫したりすることを通して，進んで表す態度を身に付け，つくり出す喜びを味わう活動

第5,6学年～ 場所の形や使われ方を捉えて変身させたり，光と水のよさを生かし，組み合わせて表したりすることを通して，進んで表す態度を身に付け，つくり出す喜びを味わう活動

○ 絵や立体，工作に表す活動については，目標を達成することができるよう，次のような学習活動が取り上げられている。

第1,2学年～ 絵や指を使った描き方を工夫して絵に表したり，形や色，紙の貼り方を工夫しておめんを作ったりすることを通して，進んで表す態度を身に付け，つくり出す喜びを味わう活動

第3,4学年～ 色々な布の形や色から作りたいものを考えたり，材料に光を通した感じから，作りたいランプを考えたりすることを通して，進んで表す態度を身に付け，つくり出す喜びを味わう活動

第5,6学年～ 季節を感じて表したいことや表し方を考えたり，液体ねん土で白くした形から表したいことを考えたりすることを通して，進んで表す態度を身に付け，つくり出す喜びを味わう活動

○ 鑑賞する活動については，目標を達成することができるよう，次のような学習活動が取り上げられている。

第1,2学年～ 友達の描いた好きなものを見て楽しんだり，たからものの形や色などに気付き，大切にしている理由について友達と交流したりすることを通して，面白さや楽しさを感じ取る活動

第3,4学年～ 作品に描かれた生き物から想像を広げてお話を考えたり，作品の形や色・から感じ取ったことについて，互いの見方や感じ方のよさや違いを味わったりすることを通して，面白さや楽しさを感じ取る活動

第 5,6 学年～ 墨や筆の色々な技から作品のよいところを考えたり，作品に描かれている町の様子から色々なことを想像して，見方や感じ方を深めたりすることを通して，面白さや楽しさを感じ取る活動

○ 〔共通事項〕については，目標を達成することができるよう，次のような学習活動が取り上げられている。

第1,2学年～ 身の周りにあるでこぼこを探してこすり出したり，のばした絵の具の形や色から表し方を考えたりすることを通して，形や色などを基に自分のイメージをもつ活動

第3,4学年～ 影の形から表したいことを考えたり，木の触感から感じたイメージの表し方を考えたりすることを通して，形や色などを基に自分のイメージをもつ活動

第5,6学年～ 人の動きや形を捉えて表し方を工夫したり，あったらいいなと思う新製品を考え，力してアイデアを考え表し，楽しんだりすることを通して，形や色などを基に自分のイメージをもつ活動

	○　主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については，次のような学習活動が取り上げられている。 第1,2学年～「あなでつながる二つの世界」の題材において，学習課題を設定し，見通しをもたせるとともに，表と裏の二つの世界を考え，友だちと話し合い，作品を交流するなど，考えを広げたり深めたりする活動 第3,4学年～「みんなでつくろうねん土ランド」の題材において，学習課題を設定し，見通しをもたせるとともに，どんな作品にしたいのかを考え，友だちと話し合い，アイデアを交流するなど，考えを広げたり深めたりする活動 第5,6学年～「学校おすすめガイド」の題材において，学習課題を設定し，見通しをもたせるとともに，学校のおすすめしたいものを考え，友だちと話し合い，学校の色々なよさを交流するなど，考えを広げたり深めたりする活動
内容の構成・排列	○　内容の構成・排列については，次のような工夫がなされている。 第1,2学年～ 箱と箱を組み合わせて立体に表す活動，身近な自然を材料に使って造形遊びをする活動など，材料や方法などについて，学校や地域の実態に応じて取り扱う内容を選択できるよう構成し，発展的に学習できるような工夫 第3,4学年～ 枝を材料に使った造形遊び，身の周りで出会う花を絵に表す活動など，材料や方法などについて，学校や地域の実態に応じて取り扱う内容を選択できるよう構成し，発展的に学習できるような工夫 第5,6学年～ 学校のお気に入りの場所を絵に表す活動，ビニルひもを使った造形遊びをする活動など，材料や方法などについて，学校や地域の実態に応じて取り扱う内容を選択できるよう構成し，発展的に学習できるような工夫
使用上の配慮等	○　いきいきと活動する児童の姿の写真を掲載したり（全学年），地域の伝統文化や材料などを生かした造形活動を取り上げた「みんなのギャラリー」を掲載したり（全学年）するなど，児童の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○　「図画工作を学ぶ皆さんへ」を設けたり（全学年），「未来へつながる図画工作」を設けたり（第5,6学年）するなど，児童が主体的に取り組むことができる工夫がなされている。 ○　題材ごとに三つの育てたい資質・能力を示した「学習のめあて」を掲載したり（全学年），カラーユニバーサルに配慮したり（全学年）するなど，使用上の便宜が図られているとともに，1人1台端末を活用した学習活動として，二次元コードを掲載し，材料用具の使い方や作品動画を活用できるようにする（全学年）など，使用上の便宜が図られている。
その他	○　児童が3つの資質・能力に応じた学習目標やねらいを捉えることができるよう，文字を見やすく，文章で分かりやすく示すなどの工夫がなされている。 ○　児童自身がQRコードを読み取ることで，授業に役立つQRコンテンツを見ることができ，用具の使い方や，発想や構想，振り返り等に役立つワークシートを使用できるような工夫がなされている。 ○　SDGsを取り上げて紹介するページ，関わる作品，活動を紹介するコラムを掲載し，児童が協働と共生，持続可能な社会について意識を高めることができるよう工夫がなされている。

小委員会委員氏名

小委員長名	委　員	委　員	委　員	委　員	委　員
三上　泰司 （鍛神小学校）	中村　吉秀 （学識経験者）	小野田　府 （PTA）	柿崎　雄二 （亀田小学校）	松田　恭子 （銭亀沢小学校）	川村　麻美 （昭和小学校）

1 教科書名

発行者名	教科書の記号・番号					
116 日本文教	図画工作 107	図画工作 108	図画工作 307	図画工作 308	図画工作 507	図画工作 508
教科書名	ずがこうさく1･2上 まるごとたのしもう,	ずがこうさく1･2下 まるごとたのしもう	図画工作3･4上 ためす見つける,	図画工作3･4下 ためす見つける	図画工作5･6上 わたしとひびき合う,	図画工作5･6下 わたしとひびき合う

2 調査研究内容

取扱内容（学習指導要領の総則及び各教科，各学年の目標，内容等）

○ 造形遊びをする活動については，目標を達成することができるよう，次のような学習活動が取り上げられている。

第1,2学年～ 砂や土に触れながら感じたことを行ったり，細い紙を切ってつなげたりすることを通して，進んで表す態度を身に付け，つくり出す喜びを味わう活動

第3,4学年～ 段ボールに切り込みを入れて組み立てたり，身近な材料に光をあて，影の形を組み合わせたりすることを通して，進んで表す態度を身に付け，つくり出す喜びを味わう活動

第 5,6 学年～ 身近な場所にある特徴を捉えてつくりかえたり，雪を固めて積み上げるなど自然の特徴を捉えたりすることを通して，進んで表す態度を身に付け，つくり出す喜びを味わう活動

○ 絵や立体，工作に表す活動については，目標を達成することができるよう，次のような学習活動が取り上げられている。

第1,2学年～ 紙を破いてできた形を並べ絵に表したり，楽しかったことや頑張ったことをねん土で表したりすることを通して，進んで表す態度を身に付け，つくり出す喜びを味わう活動

第3,4学年～ 用具を使って切り出したねん土を組み合わせたり，彫刻刀で板を彫った線や形から表したいことを考えたりすることを通して，進んで表す態度を身に付け，つくり出す喜びを味わう活動

第5,6学年～ 電動のこぎりを使い自由に切った板の形を組み合わせたり，材料の質感を感じながら組み合せたりすることを通して，進んで表す態度を身に付け，つくり出す喜びを味わう活動

○ 鑑賞する活動については，目標を達成することができるよう，次のような学習活動内 が取り上げられている。

第1,2学年～ 身の回りの自然や身近な物の触感を味わい言葉で表現したり，身の回りの草花を見つけ会話を想像し交流したりすることを通して，面白さや楽しさを感じ取る活動

第3,4学年～ 身近な土の色や触感を感じ取ったり，身の回りの形や色を写真に撮影し，形や色のよさを感じ取ったり交流したりすることを通して，面白さや楽しさを感じ取る活動

第5,6学年～ 友だちの作品や考えに触れ自分の思いを伝えたり，身の回りにある繰り返しの模様を見てよさや美しさについて話し合ったりすることを通して，面白さや楽しさを感じ取る活動

○ 〔共通事項〕については，目標を達成することができるよう，次のような学習活動が取り上げられている。

第1,2学年～ 紙を折ったり切ったりして紙を立たせたり，紙でつくった形を写してできた形や色を楽しんだりすることを通して，形や色などを基に自分のイメージをもつ活動

第3,4学年～ 紙の表と裏に絵を描き，紙を立ち上がらせたり，のこぎりを使って切った木の形を組み合わせて立体に表したりすることを通して，形や色などを基に自分のイメージをもつ活動

第5,6学年～ 箱に穴を開け暗い中に差し込む光から想像する世界を表したり，今日的な社会問題を踏まえた未来の町づくりを計画し模型で表したりすることを通して，形や色などを基に自分のイメージをもつ活動

	○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については，次のような学習活動が取り上げられている。 第1,2学年～「カラフルいろみず」の題材において，学習課題を設定し見通しをもたせるとともに，色水を使いながらしてみたいことを考え，友だちと話し合い，色のつくり方を交流するなど，考えを広げたり深めたりする活動 第3,4学年～「これでかきたい」の題材において，学習課題を設定し，見通しをもたせるとともに，用途に合わせた用具の使い方を考え，友だちと話し合い，用具の使い方を交流するなど，考えを広げたり深めたりする活動 第5,6学年～「自然を感じるすてきな場所」の題材において，学習課題を設定し，見通しをもたせるとともに，自然の材料の形や色の特徴を考え，場所をどのようにつくりかえるかを交流するなど，考えを広げたり深めたりする活動
内容の構成・排列	○ 内容の構成・排列については，次のような工夫がなされている。 第1,2学年～ 砂や土の造形遊び，身近な自然を観察する活動など，材料や方法などについて，学校や地域の実態に応じて取り扱う内容を選択できるよう構成し，発展的に学習できるような工夫 第3,4学年～ ひもを使った造形遊び，段ボールを使った立体に表す活動など，材料や方法などについて，学校や地域の実態に応じて取り扱う内容を選択できるよう構成し，発展的に学習できるような工夫 第 5,6 学年～ 日常的に使用する道具に形や色を施す工作や，自然を感じる造形遊びの活動など，材料や方法などについて，学校や地域の実態に応じて取り扱う内容を選択できるよう構成し，発展的に学習できるような工夫
使用上の配慮等	○ 授業での児童の表情や試行錯誤する情景写真を掲載したり（全学年），全国のさまざまな造形活動や美術館の取組，伝統工芸，美術作品などを掲載したり（全学年）するなど，児童の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 「教科書の使い方」を設けたり（全学年），「図画工作での学びをふり返ってみよう」を設けたり（第5,6学年）するなど，児童が主体的に取り組むことができる工夫がなされている。 ○ 題材ごとに三つの育てたい資質・能力を示した「学習のめあて」を掲載したり（全学年），カラーユニバーサルに配慮したり（全学年）するなど，使用上の便宜が図られているとともに，1人1台端末を活用した学習活動として，二次元コードを掲載し，材料用具の使い方や作品動画を活用できるようにする（全学年）など，使用上の便宜が図られている。
その他	○ 巻頭に「教科書の使い方」と「学習の進め方」のオリエンテーションを設定し，児童が活動の流れをイメージできるような工夫がなされている。。 ○ QR コードから，用具の使い方や，作品ギャラリー，参考児童作品（360度鑑賞可能），作家インタビューなどのデジタルコンテンツを活用することができるなど，児童が興味・関心をもって活動できるような工夫がなされている。 ○ SDGsにアートが深く関わっていることを意識できるような紹介ページ「広がる図工」を設け，児童が実生活とのつながりを意識できるよう工夫がなされている。。

小委員会委員氏名

小委員長名	委　員	委　員	委　員	委　員	委　員
三上　泰司 （鍛神小学校）	中村　吉秀 （学識経験者）	小野田　府 （PTA）	柿崎　雄二 （亀田小学校）	松田　恭子 （銭亀沢小学校）	川村　麻美 （昭和小学校）

1 教科書名

発行者名	教科書の記号・番号					
2 東京書籍	家庭 503					
教科書名	新編新しい 家庭5・6					

2 調査研究内容

取扱内容	○ 「A家族・家庭生活」については，目標を達成することができるよう，次のような学習活動が取り上げられている。 ・家族・家庭生活に関する知識及び技能を身に付け，日常生活の課題を解決する力を養い，家庭生活をよりよくしようと工夫する実践的な態度を育成するよう，家族と協力して行う家庭の仕事について考える活動や，家族との団らんを計画する活動 ○ 「B衣食住の生活」については，目標を達成することができるよう，次のような学習活動が取り上げられている。 ・食生活，衣生活，住生活に関する知識及び技能を身に付けるとともに，それらの課題を解決する力を養い，衣食住の生活をよりよくしようと工夫する実践的な態度を育成するよう，よごれの種類や場所に合わせたそうじの仕方について考える活動や，目的に合った袋を製作する活動 ○ 「C消費生活・環境」については，目標を達成することができるよう，次のような学習活動が取り上げられている。 ・消費生活・環境に関する知識及び技能を身に付けるとともに，それらの課題を解決する力を養い，身近な消費生活と環境をよりよくしようと工夫する実践的な態度を 育成するよう，目的に合った選び方や買い方について考える活動や，環境に配慮しながら冬の生活を工夫する活動 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については，次のような学習活動が取り上げられている。 ・「持続可能な社会へ 物やお金の使い方」の題材において，学習課題を設定し，見通しをもたせるとともに，SDGsを取り上げ，環境や資源に配慮していることを周りの人と交流するなど，グループでその課題を解決することを通して，考えを広げたり深めたりする活動
内容の構成・排列	○ 内容の構成・排列については，次のような工夫がなされている。 ・第4学年までの学習を踏まえ，2学年間の学習の見通しをもたせるため巻頭にガイダンス的な内容を位置付けるとともに，「食べて元気！ご飯とみそ汁」で基礎的・基本的な知識及び技能を身に付ける学習を行った後に，「まかせてね 今日の食事」で栄養のバランスに加えて，いろどりや味のバランスを考えた1食分の献立の立て方について学習するなど，系統的に学習できるような工夫 ・「B衣食住の生活」と「C消費生活・環境」の関連を図り，環境や資源に配慮した住まい方について考えるなど，これまでの学習で身に付けた知識及び技能を生活に生かすことができるような工夫
使用上の配慮等	○ 「安全」「環境」「発展」などのマークや「プロに聞く！」などのコラム欄を掲載したり，大きな写真やイラストを活用したりするなど，児童の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 題材ごとに「見つめよう」，「計画しよう・実践しよう」，「生活に生かそう・新しい課題を見つけよう」の3つのステップで授業が展開されるよう構成したり，学習の見通しをもつための「学習の流れ」を設けたりするなど，児童が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ ユニバーサルデザインフォントを使用したり，全ての児童の色覚特性に適応するようデザインしたりするとともに，1人1台端末を活用した学習活動として，二次元コードを掲載し，動画やワークシートを活用できるようにするなど，使用上の便宜が図られている。
その他	○ 全ての小題材の始めに「学習のめあて」，終わりには「ふり返り」が設定されており，学習のねらいや身に付けさせたい力が明確になるとともに，学習内容が定着するような工夫がなされている。 ○ 全ての大題材を3ステップで展開し，各ステップに合わせて学習活動が明示されていることから，児童が見通しをもち，興味・関心を高め，多様な活動を展開して進められるよう

	な工夫がなされている。 ○　長期休業を利用して取り組む「生活の課題と実践」が「夏休みわくわくチャレンジ」として各学年に位置づけられており，児童が学んだことを家庭生活の面でも主体的に生かすことができるような工夫がなされている。また，北海道とかかわりのある内容が1か所取り上げられている。

小委員会委員氏名

小委員長名	委　員	委　員	委　員	委　員	委　員
大室　文子 （神山小学校）	奥平　真紀 （駒場小学校）	中村　吉秀 （学識経験者）	山崎夕記子 （保護者）	熊谷　英代 （柏野小学校）	星澤　祐子 （万年橋小学校）

発行者名	教　科　書　の　記　号・番　号					
9 開隆堂	家庭 504					
教科書名	わたしたちの家庭科 5・6					

2 調査研究内容

取扱内容	○ 「A家族・家庭生活」については，目標を達成することができるよう，次のような学習活動が取り上げられている。 ・家族・家庭生活に関する知識及び技能を身に付け，日常生活の課題を解決する力を養い，家庭生活をよりよくしようと工夫する実践的な態度を育成するよう，自分にできる家庭の仕事について考える活動や，地域の中でできることを計画する活動 ○ 「B衣食住の生活」については，目標を達成することができるよう，次のような学習活動が取り上げられている。 ・食生活，衣生活，住生活に関する知識及び技能を身に付けるとともに，それらの課題を解決する力を養い，衣食住の生活をよりよくしようと工夫する実践的な態度を育成するよう，物の生かし方や不用品を減らす方法について考える活動や，生活に生かす袋を製作する活動 ○ 「C消費生活・環境」については，目標を達成することができるよう，次のような学習活動が取り上げられている。 ・消費生活・環境に関する知識及び技能を身に付けるとともに，それらの課題を解決する力を養い，身近な消費生活と環境をよりよくしようと工夫する実践的な態度を育成するよう，買い物をするときに集める情報について考える活動や，資源やエネルギーの使い方を工夫する活動 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については，次のような学習活動が取り上げられている。 ・「持続可能な社会のために」の題材において，学習課題を設定し，見通しをもたせるとともに，SDGsを取り上げ，地域で行われているごみを減らすための工夫や取組を調べるなど，グループでその課題を解決することを通して，考えを広げたり深めたりする活動
内容の構成・排列	○ 内容の構成・排列については，次のような工夫がなされている。 ・ 第4学年までの学習を踏まえ，2学年間の学習の見通しをもたせるため巻頭にガイダンス的な内容を位置付けるとともに，「クッキング はじめの一歩」で基礎的・基本的な知識及び技能を身に付ける学習を行った後に，「こんだてを工夫して」で栄養のバランスや調理の仕方，味のバランスを考えた1食分の献立の立て方について学習するなど，系統的に学習できるような工夫 ・「B衣食住の生活」と「C消費生活・環境」の関連を図り，環境に配慮した衣服の手入れについて考えるなど，これまでの学習で身に付けた知識及び技能を生活に生かすことができるような工夫
使用上の配慮等	○ 「安全」「環境」「発展」などのマークや「キャリアインタビュー」などのコラム欄を掲載したり，学習の案内役のキャラクターを活用したりするなど，児童の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 題材ごとに「気づく・見つける」，「わかる・できる」，「生かす・深める」の3つのステップで授業が展開されるよう構成したり，学習の見通しをもつための「学習のめあて」を設けたりするなど，児童が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ ユニバーサルデザインフォントを使用したり，色覚の個人差を問わず見やすくなるように配慮したりするとともに，1人1台端末を活用した学習活動として，二次元コードを掲載し，動画やワークシートを活用できるようにするなど，使用上の便宜が図られている。
その他	○ 各題材の導入で「学習のめあて」を示し，学ぶ内容や身に付ける知識・技能を明確にするとともに，終末には「学習を振り返ろう」「生活に生かそう」で児童が家庭での実践につなげることができるよう工夫がなされている。また，「調べよう」で知識・技能の定着を図る構成となっている。 ○ 全ての題材を「気づく・見つける」「わかる・できる」「生かす・深める」の3つのステップで展開するとともに，導入時に，これまでの生活を振り返る活動を位置付け，児童が自分の

	生活の中から課題をつかんだり，見通しをもつことができるような工夫がなされている。 ○　各学年のテーマ5年「生活を見つめ，できることを増やしていこう」，6年「工夫して生活に生かそう」の下，ストーリー性を考慮して題材を配列するとともに，両学年での内容を網羅するよう題材を配置し，児童が各内容をくり返し学習できるような工夫がなされている。 また，北海道とかかわりのある内容が4か所取り上げられている。

小委員会委員氏名

小委員長名	委　員	委　員	委　員	委　員	委　員
大室　文子 （神山小学校）	奥平　真紀 （駒場小学校）	中村　吉秀 （学識経験者）	山崎夕記子 （保護者）	熊谷　英代 （柏野小学校）	星澤　祐子 （万年橋小学校）

1 教科書名

発行者名	教科書の記号・番号					
2 東京書籍	保健 306	保健 506				
教科書名	新編 新しい ほけん3・4	新編 新しい 保健5・6				

2 調査研究内容

取扱内容（学習指導要領の総則及び各教科，各学年の目標，内容等）	○「健康な生活」については，目標を達成することができるよう，次のような学習活動が取り上げられている。 第3．4学年～ 手や衣服の汚れを調べる実験結果を基に体を清潔にする理由を考えたり，身の回りの環境についての問題点や改善点を考え，話し合ったりするなど，課題を見付け，その解決を目指した活動 ○「体の発育・発達」については，目標を達成することができるよう，次のような学習活動が取り上げられている。 第3．4学年～ 自分の身長の変化や発育の個人差について調べたり，思春期の悩みに対する友達へのアドバイスを考えたりするなど，課題を見付け，その解決を目指した活動 ○「心の健康」については，目標を達成することができるよう，次のような学習活動が取り上げられている。 第5．6学年～ 心と体がどのように影響し合っているかを自分の経験を基に考えたり，自分に合った不安や悩みへの対処方法について，学習したことを基に考えたりするなど，課題を見付け，その解決を目指した活動 ○「けがの防止」については，目標を達成することができるよう，次のような学習活動が取り上げられている。 第5．6学年～ 事故やけがの要因をデータや自分の経験を基に考えたり，けがの簡単な手当の実習を行い，自分でできる手当について考えたりするなど，課題を見付け，その解決を目指した活動 ○「病気の予防」については，目標を達成することができるよう，次のような学習活動が取り上げられている。 第5．6学年～ 喫煙による害についてデータを基に説明したり，地域では，どのような保健活動が行われているのかを調べ，自分や家族の利用の仕方について考えたりするなど，課題を見付け，その解決を目指した活動 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については，次のような学習活動が取り上げられている。 第3．4学年～ 健康な生活の学習において，学習課題を設定し，児童に見通しをもたせるとともに，「調べる・解決する」で2人の生活の仕方の事例を比較し，健康な生活の仕方について考え，「深める・伝える」で生活を見直した子どもがどのように変わるのかを考え話し合うなど，自分の考えを広げたり，深めたりする活動 第5．6学年～ けがの防止の学習において，学習課題を設定し，児童に見通しをもたせるとともに，「調べる・解決する」で事例を基に危険を回避するための対策について考え，「深める・伝える」で，交通事故を防ぐための環境整備の例から工夫されていることについて話し合うなど，自分の考えを広げたり，深めたりする活動

内容の構成・排列	○ 内容の構成・排列については，次のような工夫がなされている。 第3．4学年～ 入学してからの体の成長について学習した後，体が発育する時期や変化する量の個人差について考える学習活動を位置付け，思春期の体の変化についても同様の学習活動ができるようにするなど，系統的・発展的に学習できるような工夫 第5．6学年～ 事故やけがが起こる原因について学習した後，その原因を人の行動と環境に分けて考える学習活動を位置付け，交通事故や犯罪被害，自然災害についても同様の学習活動ができるようにするなど，系統的・発展的に学習できるような工夫
使用上の配慮等	○ 授業の導入で児童が自分の健康課題に気付き，問題意識を高めることができる資料を提示したり（全学年），各項目末に学習内容と関連のある資料を掲載したり（全学年）するなど，児童の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 習得した知識を基に考え，筋道を立てて表現する活動を示したり（全学年），学習したことをまとめ，自分の生活やこれからの学習に生かすための活動を示したり（全学年）するなど，主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ より多くの人に見やすく読み間違えにくいデザインの文字にしたり（全学年），色覚の多様性に配慮したり（全学年）するとともに，1人1台端末を活用した学習活動として二次元コードを掲載し，動画やシミュレーションを活用できるようにする（全学年）など，使用上の便宜が図られている。
その他	○ 学習の進め方が，「ステップ1」から「ステップ4」で構成され，どの単元も同じような学習過程になるように工夫がされている。また，各ステップに記入スペースが用意され，児童が思考・判断したことを表現できるような工夫がなされている。 ○ 紙面の随所に QR コードが配置され，直接リンクして動画等のコンテンツを起動させることができるようになっている。また，学習の振り返りでは，要点の整理とともに児童が思考を広げることができるよう，わかりやすくまとめられている。 ○ 児童が多様性を認め合い，共生社会を目指せるように，キャラクター等が配慮されている。また，5・6年生では，2018年の北海道地震の際の災害時の保健活動の写真が扱われており，児童が実生活との関連を意識できるような工夫がなされている。

小委員会委員氏名

小委員長名	委　員	委　員	委　員	委　員	委　員
佐藤　豊 （弥生小）	中村　吉秀 （学識経験者）	山﨑　夕記子 （PTA）	笹原　史裕 （南本通小）	中津　功喜 （亀田小）	一戸　寿勝 （桔梗小）

1 教科書名

発行者名	教科書の記号・番号					
4 大日本図書	保健 307	保健 507				
教科書名	新版 たのしい ほけん3・4	新版 たのしい 保健5・6				

2 調査研究内容

取扱内容（学習指導要領の総則及び各教科，各学年の目標，内容等）	○ 「健康な生活」については，目標を達成することができるよう，次のような学習活動が取り上げられている。 第3．4学年～ 自分の1日の生活を振り返り，健康な生活の仕方について考えたり，身の回りの環境の整え方について話し合ったりするなど，課題を見付け，その解決を目指した活動 ○ 「体の発育・発達」については，目標を達成することができるよう，次のような学習活動が取り上げられている。 第3．4学年～ 1年生から4年生までの自分の身長の変化を調べたり，学習したことを基によりよく成長するための生活の仕方を話し合ったりするなど，課題を見付け，その解決を目指した活動 ○ 「心の健康」については，目標を達成することができるよう，次のような学習活動が取り上げられている。 第5．6学年～ 心と体のつながりをこれまでの経験を振り返って考えたり，不安や悩みへの対処として体ほぐしの運動や呼吸法の実習を行ったりするなど，課題を見付け，その解決を目指した活動 ○ 「けがの防止」については，目標を達成することができるよう，次のような学習活動が取り上げられている。 第5．6学年～ 予測される危険やけがを防ぐ安全な行動について考えたり，けがの簡単な手当の実習を行い，けがをしたときの例示を基に実際の処置の仕方を考えたりするなど，課題を見付け，その解決を目指した活動 ○ 「病気の予防」については，目標を達成することができるよう，次のような学習活動が取り上げられている。 第5．6学年～ 病気になった要因について自分の生活を振り返って考え，話し合ったり，学習したことを基に虫歯や歯周病を予防するための生活習慣について考えたりするなど，課題を見付け，その解決を目指した活動 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については，次のような学習活動が取り上げられている。 第3．4学年～ 健康な生活の学習において，学習課題を設定し，児童に見通しをもたせるとともに，「話し合おう」で1日の生活リズムと運動，食事，休養・睡眠とのかかわりについて話し合い，「活かそう」で自分の生活リズムを整えるために工夫したいことを書くなど，自分の考えを広げたり，深めたりする活動 第5．6学年～ けがの防止の学習において，学習課題を設定し，児童に見通しをもたせるとともに，「考えよう」で事例を基に予測される危険や犯罪被害を防ぐための安全な行動について考え，「活かそう」で学習したことを活用して身近な場所や場面での危険を避ける安全な行動や環境づくりについて考えるなど，自分の考えを広げたり，深めたりする活動

内容の構成・排列	○内容の構成・排列については，次のような工夫がなされている。 第3．4学年～ 1日の生活の仕方や健康によい生活環境について学習した後，自分の生活を振り返り，健康に過ごすための生活の仕方について話し合う学習活動を位置付け，生活リズムを整えるための工夫ができるようにするなど，系統的・発展的に学習できるような工夫 第5．6学年～ 生活の仕方と病気の予防について学習した後，長期間にわたる喫煙が体に与える影響について考える学習活動を位置付け，飲酒や薬物乱用の影響についても同様の学習活動ができるようにするなど，系統的・発展的に学習できるような工夫
使用上の配慮等	○ 単元の扉に児童が学習課題に気付くことができる簡単なゲームを掲載したり（全学年），学びを広げて深めることができるよう学習内容に関連した「ミニ知識」を示したり（全学年）するなど，児童の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 考える，話し合う，調べるなどの活動を通して課題を解決する活動を示したり（全学年），学習でまとめたことを活用し，深める活動を示したり（全学年）するなど，主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ ユニバーサルデザインフォントを使用したり（全学年），色覚の特性によらず情報が読み取れるよう，配色に配慮したり（全学年）するとともに，1人1台端末を活用した学習活動として，二次元コードを掲載し，デジタルコンテンツを活用できるようにする（全学年）など，使用上の便宜が図られている。
その他	○ 1時間1見開きを基本としたレイアウトで，児童が迷いなく学習に取り組める構成になっており，学習内容に応じて適切な解決方法が提示されている。また，ページの左側に「見つける」「考える・やってみる」「まとめる」「広げる・深める」とガイドが設置され，児童が学習の流れをつかむことができるような工夫がなされている。 ○ 各時間のタイトルの横の QR コードから，児童が興味・関心をもてるような，様々な動画等のコンテンツにアクセスできるようになっている。また，学年のまとめが設定されており，児童が単元ごとに自己の学びを振り返ることができるような工夫がなされている。 ○「活かそう」では，学習したことを活用することで，学びを深め，今後の生活につなげていくことができるような活動が設定されている。また，発展的な内容として「もっと知りたい!」では，日常生活や他教科と関連する内容が示されている。

小委員会委員氏名

小委員長名	委　員	委　員	委　員	委　員	委　員
佐藤　豊 （弥生小）	中村　吉秀 （学識経験者）	山﨑　夕記子 （PTA）	笹原　史裕 （南本通小）	中津　功喜 （亀田小）	一戸　寿勝 （桔梗小）

1 教科書名

発行者名	教科書の記号・番号					
50 大修館	保健 308	保健 508				
教科書名	新編 小学校 ほけん3・4	新編 小学校 保健5・6				

2 調査研究内容

取扱内容（学習指導要領の総則及び各教科，各学年の目標，内容等）	○ 「健康な生活」については，目標を達成することができるよう，次のような学習活動が取り上げられている。 第3．4学年～ 自分の生活についてイラストを基に振り返り，友達と話し合ったり，空気の流れについての実験結果を基に換気の大切さについて考えたりするなど，課題を見付け，その解決を目指した活動 ○ 「体の発育・発達」については，目標を達成することができるよう，次のような学習活動が取り上げられている。 第3．4学年～ 1年間ごとの身長の伸びをグラフにして調べたり，思春期に起こる心の変化についてイラストを基に類似した経験を想起したりするなど，課題を見付け，その解決を目指した活動 ○ 「心の健康」については，目標を達成することができるよう，次のような学習活動が取り上げられている。 第5．6学年～ 心の働きが年齢とともにどのように変化してきたのかを話し合ったり，不安や悩みへの対処として体ほぐしの運動や呼吸法の実習を行ったりするなど，課題を見付け，その解決を目指した活動 ○ 「けがの防止」については，目標を達成することができるよう，次のような学習活動が取り上げられている。 第5．6学年～ 資料を基に交通事故を防ぐための方策を考え，その理由について話し合ったり，けがの簡単な手当の仕方を知り，実習を行ったりするなど，課題を見付け，その解決を目指した活動 ○ 「病気の予防」については，目標を達成することができるよう，次のような学習活動が取り上げられている。 第5．6学年～ 病気になった要因について自分の生活を振り返って考え，資料を活用して整理したり，学習したことを基に感染症を予防する方法について話し合ったりするなど，課題を見付け，その解決を目指した活動 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については，次のような学習活動が取り上げられている。 第3．4学年～ 体の発育・発達の学習において，学習課題を設定し，児童に見通しをもたせるとともに，「考えよう」で自分の食品の摂り方のバランスについて資料を基に考え，「話し合おう」で例示された朝食のメニューに追加する一品を選び，その理由について話し合うなど，自分の考えを広げたり，深めたりする活動 第5．6学年～ 病気の予防の学習において，学習課題を設定し，児童に見通しをもたせるとともに，「調べよう」で虫歯や歯周病の起こり方について資料を基に調べ，「話し合おう」で例示された2人の生活の仕方の違いに注目して，虫歯になりやすい生活の仕方について気付いたことを話し合うなど，自分の考えを広げたり，深めたりする活動

内容の構成・排列	○ 内容の構成・配列については，次のような工夫がなされている。 第3．4学年～ 体の発育の仕方と個人差について学習した後，思春期の体つき，発毛や変声などの変化についての学習を位置付け，思春期の体の働きの変化についても同様の学習ができるようにするなど，系統的・発展的に学習できるような工夫 第5．6学年～ 感染症の予防について学習した後，身近な生活習慣病として虫歯や歯周病の予防についての学習を位置付け，心臓病や脳卒中等の生活習慣病の予防について広げて考えられるようにするなど，系統的・発展的に学習できるような工夫
使用上の配慮等	○ 身近な生活の中から健康課題を発見する活動を設定したり（全学年），考えたことを表現できるよう教科書に書き込みスペースを設けたり（全学年）するなど，児童の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 友達と話し合い，互いの考えを共有する対話的な活動を示したり（全学年），自分の生活を見直すなどして自己の課題を修正する活動を示したり（全学年）するなど，主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ ユニバーサルデザインフォントを採用し，視認性と可読性を高めたり（全学年），様々な色覚の特性に対応したり（全学年）するとともに，1人1台端末を活用した学習活動として，二次元コードを掲載し，動画やシミュレーション，ウェブクイズを活用できるようにする（全学年）など，使用上の便宜が図られている。
その他	○ 「課題をつかもう，きょうの課題」「話し合おう・考えよう・調べよう・やっていみよう」「まとめよう」の3ステップでシンプルな学習過程で構成されており，授業の流れがわかりやすくなっている。また，学び方がおおむねマニュアル化されており，児童が主体的に学習を進められるような工夫がなされている。 ○ それぞれの活動で働かせる見方・考え方をキャラクターが示したり，紙面の QR コードから充実した動画等のコンテンツが閲覧できたりするなど，深い学びができるよう配慮がされている。また，単元ごとに問題形式や記述での振り返りが設定されている。 ○ ICT の進展など，急速な社会の変化の中で差し迫っている健康問題が積極的に提示されている。5・6年生では，札幌市のユニバーサルデザインを取り入れたスロープの写真が掲載されており，児童が実生活との関連が意識できるような工夫がなされている。

小委員会委員氏名

小委員長名	委　員	委　員	委　員	委　員	委　員
佐藤　豊 （弥生小）	中村　吉秀 （学識経験者）	山﨑　夕記子 （PTA）	笹原　史裕 （南本通小）	中津　功喜 （亀田小）	一戸　寿勝 （桔梗小）

1 教科書名

発行者名	教科書の記号・番号					
207 文教社	保健 309	保健 509				
教科書名	新 わたしたちの ほけん3・4	新 わたしたちの 保健5・6				

2 調査研究内容

取扱内容（学習指導要領の総則及び各教科，各学年の目標，内容等）	○「健康な生活」については，目標を達成することができるよう，次のような学習活動が取り上げられている。 第3．4学年～ 1日の生活のリズムについて調べ，健康と生活の仕方の関わりについて考えたり，学習したことを振り返り，生活環境を整えるために心がけることを考えたりするなど，課題を見付け，その解決を目指した活動 ○「体の発育・発達」については，目標を達成することができるよう，次のような学習活動が取り上げられている。 第3．4学年～ 自分の身長の変化や発育の仕方の違いについて調べたり，思春期における異性への関心の芽生えについて資料を基に考え，話し合ったりするなど，課題を見付け，その解決を目指した活動 ○「心の健康」については，目標を達成することができるよう，次のような学習活動が取り上げられている。 第5．6学年～ 不安や悩みについて自分の経験を振り返り，資料を基に要因などを調べたり，自分に合った不安や悩みへの対処方法について学習したことを基に考えたりするなど，課題を見付け，その解決を目指した活動 ○「けがの防止」については，目標を達成することができるよう，次のような学習活動が取り上げられている。 第5．6学年～ けがの発生原因についてイラストやグラフを基に考えたり，けがの簡単な手当の実習を行った後，けがをしたときの例示を基に実際の状況判断の仕方を考えたりするなど，課題を見付け，その解決を目指した活動 ○「病気の予防」については，目標を達成することができるよう，次のような学習活動が取り上げられている。 第5．6学年～ 病原体が原因で起こる病気について感染の道筋を資料で調べたり，生活習慣病の予防の仕方について調べ，これからの生活で心がけることを考えたりするなど，課題を見付け，その解決を目指した活動 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については，次のような学習活動が取り上げられている。 第3．4学年～ 健康な生活の学習において，学習課題を設定し，児童に見通しをもたせるとともに，「Mission1」で部屋の明るさなどの事例を基に生活環境が体に及ぼす影響について考え，「Mission2」で生活環境を整えるためにこれからの生活で心がけることを記述するなど，自分の考えを広げたり，深めたりする活動 第5．6学年～ 心の健康の学習において，学習課題を設定し，児童に見通しをもたせるとともに，「Mission1」で不安や悩みについて今までの経験を振り返ったり，資料を基に調べたりし，「Mission2」で不安や悩みへの対処の方法を調べたり，相談方法について話し合ったりするなど，自分の考えを広げたり，深めたりする活動

内容の構成・排列	○ 内容の構成・配列については，次のような工夫がなされている。 第3．4学年～ 毎日の生活の仕方や身の回りの環境について学習した後，生活環境を整え健康な生活を送るための目標を考え，伝え合う学習活動を位置付け，目標を意識して生活を送ることができるようにするなど，系統的・発展的に学習できるような工夫 第5．6学年～ 喫煙が人体に及ぼす影響について学習した後，たばこを勧められたときの対処について考える学習活動を位置付け，飲酒や薬物乱用の学習においても同様の学習活動ができるようにするなど，系統的・発展的に学習できるような工夫
使用上の配慮等	○ 授業の導入において，児童が健康課題を自分事として共感して捉えやすい吹き出しを示したり（全学年），次の時間へのつなぎとして，継続した思考を促す内容を示したり（全学年）するなど，児童の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 単元のまとめとして，自分が考えた目標の達成に向けて，これから何が必要なのかを考える活動を示したり（全学年），考えたことを伝え合う活動を示したり（全学年）するなど，主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ 書体や文字の大きさ，色についてユニバーサルデザインの観点に配慮したり（全学年），読みやすく分かりやすいレイアウトにしたり（全学年）するとともに，1人1台端末を活用した学習活動として，二次元コードを掲載し，動画やデータを活用できるようにする（全学年）など，使用上の便宜が図られている。
その他	○ 「学習のめあて」と2つ3つの Mission からなる「本時のメニュー」が記載され，学習する目標と見通しをもてるようになっている。また，Mission の中に Stage が設定され，学習活動が明確に示されている。 ○ QR コードから動画等のコンテンツを視聴することや，各時間の最後に「もう一歩先の自分へ」が位置づけられていることで，より深い知識を身につけ，実践することができる内容となっている。また，イラストや写真が多く，視覚的な理解を助けることができるよう配慮されている。 ○ 3・4年生で二度，5・6年生で三度，「これからの自分の課題を考えよう」の中で，児童がこれからの課題を考えるために宣言することを通して，今後の生活に生かしたり，振り返ったりすることができるような工夫がなされている。

小委員会委員氏名

小委員長名	委　員	委　員	委　員	委　員	委　員
佐藤　豊 （弥生小）	中村　吉秀 （学識経験者）	山﨑　夕記子 （PTA）	笹原　史裕 （南本通小）	中津　功喜 （亀田小）	一戸　寿勝 （桔梗小）

1 教科書名

発行者名	教科書の記号・番号					
208 光文書院	保健 310	保健 510				
教科書名	小学ほけん 3・4	小学保健 5・6				

2 調査研究内容

取扱内容（学習指導要領の総則及び各教科，各学年の目標，内容等）	○「健康な生活」については，目標を達成することができるよう，次のような学習活動が取り上げられている。 第3．4学年～ 1日の生活の仕方について，資料を比較して話し合ったり，学習したことを振り返り，生活環境を整えるための取組やその理由を書いたりするなど，課題を見付け，その解決を目指した活動 ○「体の発育・発達」については，目標を達成することができるよう，次のような学習活動が取り上げられている。 第3．4学年～ 1年間ごとの身長の伸びをグラフにして調べたり，学習したことを基に体をよりよく発育させるための生活の仕方について考えたりするなど，課題を見付け，その解決を目指した活動 ○「心の健康」については，目標を達成することができるよう，次のような学習活動が取り上げられている。 第5．6学年～ 心と体の関係について心が体に影響する事例や自分の経験を基に考えたり，不安や悩みへの対処の方法として深呼吸の仕方の実習を行ったりするなど，課題を見付け，その解決を目指した活動 ○「けがの防止」については，目標を達成することができるよう，次のような学習活動が取り上げられている。 第5．6学年～ けがや事故の原因について事例やデータを基に考えたり，自分でできる手当の仕方について実習を行い，けがにあった適切な手当の手順を考えたりするなど，課題を見付け，その解決を目指した活動 ○「病気の予防」については，目標を達成することができるよう，次のような学習活動が取り上げられている。 第5．6学年～ 自分の生活を振り返り生活習慣病の予防の仕方について調べたり，学習したことを基に感染症を予防する方法について話し合ったりするなど，課題を見付け，その解決を目指した活動 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については，次のような学習活動が取り上げられている。 第3．4学年～ 健康な生活の学習において，学習課題を設定し，児童に見通しをもたせるとともに，「調べよう・考えよう」で手の汚れや手洗いの効果について資料を基に調べたり，考えたりし，「話し合おう」で衣服などを毎日清潔なものに取り替える理由について話し合うなど，自分の考えを広げたり，深めたりする活動 第5．6学年～ 病気の予防の学習において，学習課題を設定し，児童に見通しをもたせるとともに，「調べよう」でむし歯や歯周病の起こり方について資料を基に調べ，「学んだことを生かそう」でむし歯を予防するためにこれから取り組みたいこと考え記述するなど，自分の考えを広げたり，深めたりする活動

内容の構成・排列	○ 内容の構成・配列については，次のような工夫がなされている。 第3．4学年～ 体の発育の仕方と個人差について学習した後，思春期において体の外に現れる変化や個人差についての学習を位置付け，体の中に現れる変化についても同様の学習ができるようにするなど，系統的・発展的に学習できるような工夫 第5．6学年～ 危険の予測と安全な行動について学習した後，交通事故の防止について，人の行動と環境に分けて考える学習活動を位置付け，犯罪被害の防止の学習においても同様の学習活動ができるようにするなど，系統的・発展的に学習できるような工夫
使用上の配慮等	○ 各章の扉に学習のイメージがつかめる漫画を掲載したり（全学年），各項目末の「学んだことを生かそう」で学習したことを自分の生活に生かす視点で記述することができるようにしたり（全学年）するなど，児童の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 毎時間の導入で児童が学習内容を自分のこととして捉えることができる問いを示したり（全学年），他者に伝える活動を示したり（全学年）するなど，主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ 読みやすいユニバーサルデザインフォントを用いたり（全学年），カラーユニバーサルデザインの視点で配色したり（全学年）するとともに，１人1台端末を活用した学習活動として，二次元コードを掲載し，動画や資料，ウェブサイトの情報を活用できるようにする（全学年）など，使用上の便宜が図られている。
その他	○ 学習の導入として「見つけよう」が毎時間設けられ，学習活動の指示文の前に「調べよう」「考えよう」「話し合おう」のマークを設定し，どのような活動をするのかが明確に示されており，また，児童が学習内容を基にした実践力を養う場面が設定されている。 ○ 各ページに QR コードが掲載され，必要に応じてアクセスできる資料が紹介されており，動画や画像，外部リンクなど，児童が学習を深めることができるような内容になっている。また，単元ごとにまとめが設定され，児童が自己の学びを振り返ることができるような工夫がなされている。 ○ 毎時間の終わりには，「学んだことを生かそう」の活動が設定され，児童が学習を通して知識を実生活や実社会で活用できる実践力を育んだり，「さらに広げよう深めよう」では，豊富な例示を示し，発展的な学習ができるような工夫がなされている。

小委員会委員氏名

小委員長名	委　員	委　員	委　員	委　員	委　員
佐藤　豊 （弥生小）	中村　吉秀 （学識経験者）	山﨑　夕記子 （PTA）	笹原　史裕 （南本通小）	中津　功喜 （亀田小）	一戸　寿勝 （桔梗小）

1 教科書名

発行者名	教科書の記号・番号					
224 学研	保健 311	保健 511				
教科書名	新・みんなのほけん3・4	新・みんなの保健5・6				

2 調査研究内容

取扱内容（学習指導要領の総則及び各教科，各学年の目標，内容等）	○「健康な生活」については，目標を達成することができるよう，次のような学習活動が取り上げられている。 第3．4学年～ 例示された2人の1日の生活の仕方を比べ，健康な生活の仕方について考えたり，部屋の中の空気の様子についての実験結果を基に換気する理由を話し合ったりするなど，課題を見付けその解決を目指した活動 ○「体の発育・発達」については，目標を達成することができるよう，次のような学習活動が取り上げられている。 第3．4学年～ 思春期に起こる体の変化や男女の違いについて調べたり，給食の献立を調べ，栄養のバランスについて考えたりするなど，課題を見付け，その解決を目指した活動 ○「心の健康」については，目標を達成することができるよう，次のような学習活動が取り上げられている。 第5．6学年～ 心と体が密接に関係している事例を基に自分の経験を振り返ったり，不安や悩みへの対処として体ほぐしの運動や呼吸法の実習を行ったりするなど，課題を見付け，その解決を目指した活動 ○「けがの防止」については，目標を達成することができるよう，次のような学習活動が取り上げられている。 第5．6学年～ けがの発生原因についてイラストやグラフを基に考えたり，事故を防ぐための工夫や努力の例が役立つ理由について話し合ったりするなど，課題を見付け，その解決を目指した活動 ○「病気の予防」については，目標を達成することができるよう，次のような学習活動が取り上げられている。 第5．6学年～ 病原体が要因となって起こる病気について，自分の経験を振り返ったり，生活習慣病の予防について資料を基に調べ，話し合ったりするなど，課題を見付け，その解決を目指した活動 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については，次のような学習活動が取り上げられている。 第3．4学年～ 健康な生活の学習において，学習課題を設定し，児童に見通しをもたせるとともに，「理由について話し合う」で部屋の明るさや換気など生活環境の大切さについて話し合い，「学びを生かす」で改善が必要な事例を基に教室や部屋の環境を整える方法を考え記述するなど，自分の考えを広げたり，深めたりする活動 第5．6学年～ 心の健康の学習において，学習課題を設定し，児童に見通しをもたせるとともに，「意見を出し合う」で不安や悩みを抱えたときに自分で行えそうな対処について資料を基に考え話し合い，「学びを生かす」で友達との話し合いで参考になった対処の方法を考え記述するなど，自分の考えを広げたり，深めたりする活動

内容の構成・排列	○ 内容の構成・配列については，次のような工夫がなされている。 第3．4学年～ 体の発育の仕方と個人差について学習した後，体つきの変化と個人差について話し合い整理する学習活動を位置付け，体の中で起こる変化についても同様に個人差があることに気付くことができるようにするなど，系統的・発展的に学習できるような工夫 第5．6学年～ 生活習慣病と喫煙の関係について学習した後，喫煙が与える心身への影響について調べ，長期間にわたる喫煙の影響について話し合う学習活動を位置付け，飲酒の害の学習においても同様の学習活動ができるようにするなど，系統的・発展的に学習できるような工夫
使用上の配慮等	○ 保健の学習を身近に感じることができる資料を掲載したり（全学年），「もっと！知りたい・学びたい」で，児童が興味・関心に沿って選択的に学習できるようにしたり（全学年）するなど，児童の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 日常生活を振り返り，健康との関係を考える活動を示したり（全学年），身近な生活にある課題などに対して学習したことを活用する活動を示したり（全学年）するなど，主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ ユニバーサルデザインフォントを使用して誰もが読みやすいよう視認性を高めたり（全学年），レイアウトやデザイン，配色に配慮したり（全学年）するとともに，1人1台端末を活用した学習活動として，二次元コードを掲載し，デジタルコンテンツを活用できるようにする（全学年）など，使用上の便宜が図られている。
その他	○ 各時間が見開き4ページで構成され，3つのピースで完成させる流れとなっている。そのはじめのページに「学習の進め方」が掲載され，授業の流れが分かりやすい紙面になっている。また，話し合いや記述を基にした思考場面も多く，児童が思考力・判断力・表現力を広く養うことができる構成となっている。 ○「かがくの目」では，興味・関心を高め，科学的な理解に結びつけられるよう，「見えないものの見える化」された資料や動画など ICT 機器を活用した学習に対応した資料が掲載されている。また，児童にとって学習の進め方がわかりやすく示されている。 ○ 現代的な健康問題が豊富に掲載されており，5・6年生では，北海道の飲酒運転防止のポスターや，札幌市の喫煙制限区域，札幌市民防災センターの写真を掲載し，児童が実生活との関連を意識できるような工夫がなされている。

小委員会委員氏名

小委員長名	委　員	委　員	委　員	委　員	委　員
佐藤　豊 （弥生小）	中村　吉秀 （学識経験者）	山﨑　夕記子 （PTA）	笹原　史裕 （南本通小）	中津　功喜 （亀田小）	一戸　寿勝 （桔梗小）

1 教科書名

発行者名	教科書の記号・番号					
2 東京書籍	英語 509	英語 510	英語 609			
教科書名	NEW HORIZON Elementary English Course 5	NEW HORIZON Elementary English Course My Picture Dictionary	NEW HORIZON Elementary English Course 6			

2 調査研究内容

〔取扱内容 学習指導要領の総則及び各教科，各学年の目標，内容等〕

○ 「聞くこと」については，目標を達成することができるよう，次のような学習活動が取り上げられている。
第5学年～ 好きな教科や食事の注文など，身近で簡単な事柄について，基本的な表現等を聞いて，理解した内容とイラスト等を結び付ける活動
第6学年～ 自己紹介や中学校でしたいことなど，身近で簡単な事柄について，短い会話等をイラストなどを参考にしながら聞いて，必要な情報を得る活動

○ 「読むこと」については，目標を達成することができるよう，次のような学習活動が取り上げられている。
第5学年～ 文字の名前から音を読むことを通して，活字体で書かれた文字の読み方を適切に発音する活動
第6学年～ 音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現で書かれた小学校の思い出を伝えるメモなどを読んで，その意味を捉える活動

○ 「話すこと[やり取り]」については，目標を達成することができるよう，次のような学習活動が取り上げられている。
第5学年～ 誕生日にほしいものや身近な人について互いに紹介するなど，自分の考えや気持ちを伝え合う活動
第6学年～ 行きたい国に係り，訪れたい観光地をたずねたり，そこでできることに答えたりするなど，短い会話をする活動

○ 「話すこと[発表]」については，目標を達成することができるよう，次のような学習活動が取り上げられている。
第5学年～ 自分のことや自分の暮らす地域のよさに関することなど，身近で簡単な事柄を話す活動
第6学年～ 簡単な語句や基本的な表現を用いて最近の出来事や世界とのつながりについて，自分の考えや気持ちを話す活動

○ 「書くこと」については，目標を達成することができるよう，次のような学習活動が取り上げられている。
第5学年～ おすすめランチセットなど，音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句を書き写す活動
第6学年～ 将来したいことなど，音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いた例を参考にして書く活動

○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については，次のような学習活動が取り上げられている。
第5学年～ 単元を見通した学習課題を設定し，おすすめの施設をたずねることや，自分が作ったオリジナルタウンを使って好きな施設を紹介することなどを組み合わせることにより，考えを広げたり深めたりする活動
第6学年～ 単元を見通した学習課題を設定し，飼育員さんが作ったポスターを読むことや，生き物のために身近でできることを発表することなどを組み合わせることにより，考えを広げたり深めたりする活動

内容の構成・排列	○ 内容の構成・排列については，次のような工夫がなされている。 第5学年～ Unit7において，日本の場所について聞く活動を通して，表現に慣れ親しんだ後，学んだ表現を使って行きたい都道府県についてやり取りする活動に取り組み，終末の活動で，観光案内CMを発表する活動へ展開するなど，系統的・発展的に学習できるような工夫 第6学年～ Unit2において，日常生活について聞く活動を通して，表現に慣れ親しんだ後，学んだ表現を使って一日の生活を紹介し合う活動に取り組み，終末の活動で，「週末の過ごし方カード」を書き，発表する活動へ展開するなど，系統的・発展的に学習できるような工夫
使用上の配慮等	○ 「Over the Horizon」（全学年）では，学習内容やテーマをもとに，視野を広げるなど，児童の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 単元の学習を見通す「Your Plan」（全学年）や，テーマ別の「Check Your Steps」（全学年）を設けるなど，児童が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ 全ての児童にとって，読みやすいフォントとなるよう配慮したり（全学年），識別しやすい配色を用いたり（全学年）するとともに，1人1台端末を活用した学習活動として，各単元において，二次元コードを掲載し，歌アニメーションや実写映像を活用できるようにする（全学年）など，使用上の便宜が図られている。
その他	○ 各単元の学習の流れが「単元のゴールの確認」，「伝えたいことを考えて見通しを立てる」，「単元の目標となる活動を行う」という構成とすることで，児童が言語活動を行う目的を常に意識できるような工夫がなされている。 ○ 活動のモデル会話の動画や歌やチャンツのアニメーション，調べ学習に役立つ「Digital Dictionary」，「Digital Map」など，児童の習熟度や興味・関心に応じたデジタルコンテンツが豊富に掲載され，児童の個別最適な学びに対応している。 ○ 単元の各パートの振り返りや別冊『My Picture Dictionary』の「CAN-DO の樹」を用意し，自己評価欄を設定するなど，児童が自らの学びを把握して改善する「自己調整力」の育成ができるような工夫がなされている。

小委員会委員氏名

小委員長名	委　員	委　員	委　員	委　員	委　員
寺崎　歩 （椴法華小）	長尾　智絵 （学識経験者）	向　大喬 （PTA）	中村健太郎 （あさひ小）	横山　嘉弘 （鍛神小）	藤本　歩 （港小）

1 教科書名

発行者名	教科書の記号・番号					
9 開隆堂	英語 511	英語 512	英語 611	英語 612		
教科書名	Junior Sunshine 5	Junior Sunshine 5 Word Book	Junior Sunshine 6	Junior Sunshine 6 Word Book		

2 調査研究内容

〔取扱内容 学習指導要領の総則及び各教科，各学年の目標，内容等〕

○ 「聞くこと」については，目標を達成することができるよう，次のような学習活動が取り上げられている。
第5学年～ 好きなものや町にある場所など，身近で簡単な事柄について，基本的な表現等を聞いて，理解した内容とイラスト等を結び付ける活動
第6学年～ 自己紹介やつきたい職業など，身近で簡単な事柄について，短い会話等をイラストなどを参考にしながら聞いて，必要な情報を得る活動

○ 「読むこと」については，目標を達成することができるよう，次のような学習活動が取り上げられている。
第5学年～ 音声で慣れ親しんだ英語を文字で結び付けることを通して，活字体で書かれた文字の読み方を適切に発音する活動
第6学年～ 音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現で書かれた旅行会社のウェブページなどを読んで，その意味を捉える活動

○ 「話すこと[やり取り]」については，目標を達成することができるよう，次のような学習活動が取り上げられている。
第5学年～ 好きな教科や身近な人のできることについて互いに紹介するなど，自分の考えや気持ちを伝え合う活動
第6学年～ 行きたい国に係り，そこでしたいことをたずねたり，「行きたい国クイズ」に答えたりするなど，短い会話をする活動

○ 「話すこと[発表]」については，目標を達成することができるよう，次のような学習活動が取り上げられている。
第5学年～ 自分ができること，できないことや，自分の注文したいものに関することなど，身近で簡単な事柄を話す活動
第6学年～ 簡単な語句や基本的な表現を用いて夏休みの思い出や中学校でしたいことについて，自分の考えや気持ちを話す活動

○ 「書くこと」については，目標を達成することができるよう，次のような学習活動が取り上げられている。
第5学年～ 自分の特別な日など，音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句を書き写す活動
第6学年～ 小学校生活の一番の思い出など，音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いた例を参考にして書く活動

○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については，次のような学習活動が取り上げられている。
第5学年～ 単元を見通した学習課題を設定し，お気に入りの場所をたずねることや，自分が作ったマイタウンのお気に入りの場所を紹介することなどを組み合わせることにより，考えを広げたり深めたりする活動
第6学年～ 単元を見通した学習課題を設定し，日常生活での行動について聞くことや，理想の日曜日のスケジュールについて伝え合うことなどを組み合わせることにより，考えを広げたり深めたりする活動

内容の構成・排列	○ 内容の構成・排列については，次のような工夫がなされている。 第5学年～ Lesson8において，様々な動作の言い方について聞く活動を通して，表現に慣れ親しんだ後，学んだ表現を使って自分のヒーローについてやり取りする活動に取り組み，終末の活動で，「ヒーロー図鑑」を書く活動へ展開するなど，系統的・発展的に学習できるような工夫 第6学年～ Lesson6において，学校行事の言い方について聞く活動を通して，表現に慣れ親しんだ後，学んだ表現を使って小学校生活の思い出を伝え合う活動に取り組み，終末の活動で，小学校生活の思い出を発表し，思い出アルバムを作る活動へ展開するなど，系統的・発展的に学習できるような工夫
使用上の配慮等	○ 「Story Time」（全学年）では，これまで学習した表現や語句を用いた短い読み物を掲載するなど，児童の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 1年間の学習を見通す導入ページ（全学年）や，巻末の「CAN-DO チェック」（全学年）を設けるなど，児童が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ 全ての児童にとって，読みやすいフォントとなるよう配慮したり（全学年），識別しやすい配色を用いたり（全学年）するとともに，1人1台端末を活用した学習活動として，各単元において，二次元コードを掲載し，音声やクイズを活用できるようにする（全学年）など，使用上の便宜が図られている。
その他	○ 巻末にCAN-DOチェックを掲載し，児童がレッスンの学習を振り返って，自分の成長や課題を確かめ，身に付いた力や自分の成長を自覚できるような工夫がなされている。 ○ 各単元冒頭の見開きに，単元で身に付けたい力を GOAL として示し，その達成に向けためあてを併記し，単元ゴールの言語活動に向けた学習の流れを明確化することで，児童が主体的に学習に取り組むことができるような構成になっている。 ○ 二次元コードでアクセスできるデジタルコンテンツを用意し，題材や他教科等との関連を踏まえ，児童が世界にはさまざまな価値観があることを知り，世界各国の文化や生活に触れることができるような工夫がなされている。

小委員会委員氏名

小委員長名	委　員	委　員	委　員	委　員	委　員
寺崎　歩 （椴法華小）	長尾　智絵 （学識経験者）	向　大喬 （PTA）	中村健太郎 （あさひ小）	横山　嘉弘 （鍛神小）	藤本　歩 （港小）

1 教科書名

発行者名	教科書の記号・番号					
15 三省堂	英語 513	英語 514	英語 613			
教科書名	CROWN Jr.5	CROWN Jr. My Dictionary	CROWN Jr.6			

2 調査研究内容

〔取扱内容 学習指導要領の総則及び各教科，各学年の目標，内容等〕

○ 「聞くこと」については，目標を達成することができるよう，次のような学習活動が取り上げられている。
第5学年～ 誕生日や行きたい国など，身近で簡単な事柄について，基本的な表現等を聞いて，理解した内容とイラスト等を結び付ける活動
第6学年～ 好きなスポーツや職業など，身近で簡単な事柄について，短い会話等をイラストなどを参考にしながら聞いて，必要な情報を得る活動

○ 「読むこと」については，目標を達成することができるよう，次のような学習活動が取り上げられている。
第5学年～ 文字と音のつながりを学ぶことを通して，活字体で書かれた文字の読み方を適切に発音する活動
第6学年～ 音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現で書かれた6年生の思い出などを読んで，その意味を捉える活動

○ 「話すこと[やり取り]」については，目標を達成することができるよう，次のような学習活動が取り上げられている。
第5学年～ 好きな教科や地域の魅力について互いに紹介するなど，自分の考えや気持ちを伝え合う活動
第6学年～ 夏休みに係り，行った場所をたずねたり，楽しんだことに答えたりするなど，短い会話をする活動

○ 「話すこと[発表]」については，目標を達成することができるよう，次のような学習活動が取り上げられている。
第5学年～ 得意なことや自分たちの地域に関することなど，身近で簡単な事柄を話す活動
第6学年～ 簡単な語句や基本的な表現を用いて修学旅行や校外学習の思い出や将来つきたい職業について，自分の考えや気持ちを話す活動

○ 「書くこと」については，目標を達成することができるよう，次のような学習活動が取り上げられている。
第5学年～ ふだん日曜日にすることなど，音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句を書き写す活動
第6学年～ 希望の職業についたらしたいことなど，音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いた例を参考にして書く活動

○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については，次のような学習活動が取り上げられている。
第5学年～ 単元を見通した学習課題を設定し，行きたい国をたずねることや，パノラマを見ながら，行きたい場所とそこでしたいことを伝え合うことなどを組み合わせることにより，考えを広げたり深めたりする活動
第6学年～ 単元を見通した学習課題を設定し，中学校で力を入れたい教科や入りたい部活動について聞くことや，どんな中学校生活を送りたいか伝え合うことなどを組み合わせることにより，考えを広げたり深めたりする活動

内容の構成・排列	○ 内容の構成・排列については，次のような工夫がなされている。 第5学年～ Lesson5において，人物紹介について聞く活動を通して，表現に慣れ親しんだ後，学んだ表現を使って得意なことについてやり取りする活動に取り組み，終末の活動で，憧れの人を紹介して，その人の素晴らしさを知ってもらう活動へ展開するなど，系統的・発展的に学習できるような工夫 第6学年～ Lesson5において，小学校の行事について聞く活動を通して，表現に慣れ親しんだ後，学んだ表現を使って小学校で一番の思い出を伝え合う活動に取り組み，終末の活動で，小学校生活を振り返って，みんなで思い出を共有する活動へ展開するなど，系統的・発展的に学習できるような工夫
使用上の配慮等	○ 「ABC Fun Box」（全学年）では，音声で十分に慣れ親しんだ語句を扱い，読むことや書くことの活動を積み重ねるなど，児童の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ Unit 全体の学習を見通す「HOP」（全学年）や，まとめの言語活動を行う「JUMP」（全学年）を設けるなど，児童が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ 全ての児童にとって，読みやすいフォントとなるよう配慮したり（全学年），識別しやすい配色を用いたり（全学年）するとともに，1人1台端末を活用した学習活動として，各単元において，二次元コードを掲載し，モデル動画や音声を活用できるようにする（全学年）など，使用上の便宜が図られている。
その他	○ Unit 全体の Goal や Lesson, Part ごとの Goal をわかりやすく示し，児童が言語活動を通して，Unit の最後にはどんなことができるようになるか，また，そこまでにどんなステップを，どのように積み重ねていくのかが一目でわかるような工夫がなされている。 ○ 児童が自ら立てた目標に向かい，対話的・協働的に学び合いながら，単元を重ねるごとに学びを深め，さらに学びを振り返ることで次の学びへと向かう態度を育むことができるような工夫がなされている。 ○ 世界の珍しいスポーツや職業など，世界に目を向ける題材を通して，児童が世界への興味・関心を高めるだけでなく，世界に発信できる日本の文化や情報についても知ることができるような工夫がなされている。

小委員会委員氏名

小委員長名	委　員	委　員	委　員	委　員	委　員
寺崎　歩 （椴法華小）	長尾　智絵 （学識経験者）	向　大喬 （PTA）	中村健太郎 （あさひ小）	横山　嘉弘 （鍛神小）	藤本　歩 （港小）

小委員会名　外国語

1 教科書名

発行者名	教科書の記号・番号					
17 教育出版	英語 515	英語 615				
教科書名	ONE WORLD Smiles 5	ONE WORLD Smiles 6				

2 調査研究内容

取扱内容（学習指導要領の総則及び各教科，各学年の目標，内容等）	○ 「聞くこと」については，目標を達成することができるよう，次のような学習活動が取り上げられている。 第5学年～ 時間割や行きたい場所など，身近で簡単な事柄について，基本的な表現等を聞いて，理解した内容とイラスト等を結び付ける活動 第6学年～ つきたい職業や中学校の行事など，身近で簡単な事柄について，短い会話等をイラストなどを参考にしながら聞いて，必要な情報を得る活動 ○ 「読むこと」については，目標を達成することができるよう，次のような学習活動が取り上げられている。 第5学年～ 日本語と英語の音の違いに気付かせることを通して，活字体で書かれた文字の読み方を適切に発音する活動 第6学年～ 音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現で書かれたクラスの「思い出アルバム」などを読んで，その意味を捉える活動 ○ 「話すこと[やり取り]」については，目標を達成することができるよう，次のような学習活動が取り上げられている。 第5学年～ 夢の授業や行ってみたい都道府県について互いに紹介するなど，自分の考えや気持ちを伝え合う活動 第6学年～ 夏休みに係り，絵日記の内容をたずねたり，伝えたい出来事に答えたりするなど，短い会話をする活動 ○ 「話すこと[発表]」については，目標を達成することができるよう，次のような学習活動が取り上げられている。 第5学年～ 家での習慣や自分ができることに関することなど，身近で簡単な事柄を話す活動 第6学年～ 簡単な語句や基本的な表現を用いて夏休みにしたことや将来の夢について，自分の考えや気持ちを話す活動 ○ 「書くこと」については，目標を達成することができるよう，次のような学習活動が取り上げられている。 第5学年～ 地図記号ガイドなど，音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句を書き写す活動 第6学年～ 中学校でしたいことなど，音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いた例を参考にして書く活動 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については，次のような学習活動が取り上げられている。 第5学年～ 単元を見通した学習課題を設定し，ほしいものをたずねることや，自分で作ったオリジナル・メニューを使ってレストランのロールプレイをすることなどを組み合わせることにより，考えを広げたり深めたりする活動 第6学年～ 単元を見通した学習課題を設定し，行きたい国や地域とそこでできることをたずね合うことや，夢の世界旅行を発表することなどを組み合わせることにより，考えを広げたり深めたりする活動

内容の構成・排列	○ 内容の構成・排列については，次のような工夫がなされている。 第5学年～ Lesson9において，人物紹介について聞く活動を通して，表現に慣れ親しんだ後，学んだ表現を使って得意なことについてやり取りする活動に取り組み，終末の活動で，憧れの人について発表する活動へ展開するなど，系統的・発展的に学習できるような工夫 第6学年～ Lesson4において，日本の食べ物について聞く活動を通して，表現に慣れ親しんだ後，学んだ表現を使って日本の文化を伝え合う活動に取り組み，終末の活動で，日本の行事や文化を紹介するポスターをかき，発表する活動へ展開するなど，系統的・発展的に学習できるような工夫
使用上の配慮等	○ 「Think」（全学年）では，話す内容や コミュニケーションについて気付きや思考を促すなど，児童の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 学びの見通しが立てやすいロードマップ（全学年）や，各単元の「Lesson をふりかえろう」（全学年）を設けるなど，児童が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ 全ての児童にとって，読みやすいフォントとなるよう配慮したり（全学年），識別しやすい配色を用いたり（全学年）するとともに，1人1台端末を活用した学習活動として，各単元において，二次元コードを掲載し，動画やワークシートを活用できるようにする（全学年）など，使用上の便宜が図られている。
その他	○ 単元のめあてが冒頭に明示されており，児童が見通しをもって活動できるようにするとともに，単元末の振り返りにより，自尊感情や自己調整力を高める活動が位置づけられている。 ○ ４技能５領域の活動が，バランス良く配置されており，各パートに対応したデジタルコンテンツにより，児童が繰り返しの学びや個別最適な学び，深い学びへとつなげることができるよう紙面構成が工夫されている。 ○ 北海道とかかわりのある内容の資料等を多く取り上げているとともに，学校生活に則したテーマや他教科との関連性をもたせることにより，児童が興味・関心を生かした学習ができるような工夫がなされている。

小委員会委員氏名

小委員長名	委　員	委　員	委　員	委　員	委　員
寺崎　歩 （椴法華小）	長尾　智絵 （学識経験者）	向　大喬 （PTA）	中村健太郎 （あさひ小）	横山　嘉弘 （鍛神小）	藤本　歩 （港小）

小委員会名　外国語

1 教科書名

発行者名	教科書の記号・番号					
38 光村図書	英語 516	英語 616				
教科書名	Here We Go! 5	Here We Go! 6				

2 調査研究内容

取扱内容（学習指導要領の総則及び各教科，各学年の目標，内容等）	○ 「聞くこと」については，目標を達成することができるよう，次のような学習活動が取り上げられている。 第5学年～ 誕生日にほしいものや憧れの人など，身近で簡単な事柄について，基本的な表現等を聞いて，理解した内容とイラスト等を結び付ける活動 第6学年～ 1日の生活や思い出の学校行事など，身近で簡単な事柄について，短い会話等をイラストなどを参考にしながら聞いて，必要な情報を得る活動 ○ 「読むこと」については，目標を達成することができるよう，次のような学習活動が取り上げられている。 第5学年～ 大文字と小文字を見て文字の名前を読むことを通して，活字体で書かれた文字の読み方を適切に発音する活動 第6学年～ 音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現で書かれた夢宣言などを読んで，その意味を捉える活動 ○ 「話すこと[やり取り]」については，目標を達成することができるよう，次のような学習活動が取り上げられている。 第5学年～ 好きな教科とその理由やオリジナル料理について互いに紹介するなど，自分の考えや気持ちを伝え合う活動 第6学年～ 行きたい国に係り，その理由をたずねたり，その国の魅力に答えたりするなど，短い会話をする活動 ○ 「話すこと[発表]」については，目標を達成することができるよう，次のような学習活動が取り上げられている。 第5学年～ 友だちができることや自分の憧れの人に関することなど，身近で簡単な事柄を話す活動 第6学年～ 簡単な語句や基本的な表現を用いて自己紹介や動物が食べるものについて，自分の考えや気持ちを話す活動 ○ 「書くこと」については，目標を達成することができるよう，次のような学習活動が取り上げられている。 第5学年～ 町の魅力を伝えるパンフレットなど，音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句を書き写す活動 第6学年～ 自分の夢宣言など，音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いた例を参考にして書く活動 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については，次のような学習活動が取り上げられている。 第5学年～ 単元を見通した学習課題を設定し，お気に入りの場所をたずねることや，自分が作ったパンフレットを使って町の魅力を伝えることなどを組み合わせることにより，考えを広げたり深めたりする活動 第6学年～ 単元を見通した学習課題を設定し，夏休みにしたことをたずねることや，自分が書いた絵日記を使って夏休みの思い出を発表することなどを組み合わせることにより，考えを広げたり深めたりする活動

内容の構成・排列	○ 内容の構成・排列については，次のような工夫がなされている。 第5学年～ Unit6において，店や施設について聞く活動を通して，表現に慣れ親しんだ後，学んだ表現を使って道案内についてやり取りする活動に取り組み，終末の活動で，理想の町について発表する活動へ展開するなど，系統的・発展的に学習できるような工夫 第6学年～ Unit2において，日本の行事について聞く活動を通して，表現に慣れ親しんだ後，学んだ表現を使って好きな季節と行事を伝え合う活動に取り組み，終末の活動で，日本の行事やその時にできることを発表する活動へ展開するなど，系統的・発展的に学習できるような工夫
使用上の配慮等	○ 「世界の友達」（全学年）では、各国の小学生のメッセージを視聴し多様な文化や価値観に触れるなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ Unit の話題を自分のことに引き付ける「About You」（全学年）や、巻末の「All About Me」（全学年）を設けるなど、児童が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ 全ての児童にとって、読みやすいフォントとなるよう配慮したり（全学年）、識別しやすい配色を用いたり（全学年）するとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、各単元において、二次元コードを掲載し、アニメーションや音声を活用できるようにする（全学年）など、使用上の便宜が図られている。
その他	○ 巻頭の見開き2ページで CAN-DO リスト（4技能5領域ごと）を掲載したり，Unit の最後に「ふりかえろう」（記述式）を設けたりすることで，児童が見通しや目的意識をもち，また自身の成長を自覚しながら学習できるような工夫がなされている。 ○ 「学習の目標」「学習の流れ」「ふりかえり」を示し，何ができるようになるのか，どのように学んでいくのかを明確にすることで，児童が学習の見通しをもち，主体的に学習できるような工夫がなされている。 ○ 日本文化に関連した教材と国際的視野を広げる教材のバランスのとれた配列が見られ，「言語について考えよう」では英語と日本語を比較して学習することができるようにするなど，児童が実生活や他教科との連携を図ることができるよう工夫がなされている。

小委員会委員氏名

小委員長名	委　員	委　員	委　員	委　員	委　員
寺崎　歩 （椴法華小）	長尾　智絵 （学識経験者）	向　大喬 （PTA）	中村健太郎 （あさひ小）	横山　嘉弘 （鍛神小）	藤本　歩 （港小）

1 教科書名

発行者名	教科書の記号・番号					
61 啓林館	英語 517	英語 617				
教科書名	Blue Sky elementary 5	Blue Sky elementary 6				

2 調査研究内容

〔学習指導要領の総則及び各教科，各学年の目標，内容等〕 取扱内容

○ 「聞くこと」については，目標を達成することができるよう，次のような学習活動が取り上げられている。
第5学年～ 誕生日にほしいものや行ってみたい国など，身近で簡単な事柄について，基本的な表現等を聞いて，理解した内容とイラスト等を結び付ける活動
第6学年～ 好きなものややってみたい部活動など，身近で簡単な事柄について，短い会話等をイラストなどを参考にしながら聞いて，必要な情報を得る活動

○ 「読むこと」については，目標を達成することができるよう，次のような学習活動が取り上げられている。
第5学年～ アルファベットの名前を読むことを通して，活字体で書かれた文字の読み方を適切に発音する活動
第6学年～ 音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現で書かれた将来の夢を伝える吹き出しのセリフなどを読んで，その意味を捉える活動

○ 「話すこと[やり取り]」については，目標を達成することができるよう，次のような学習活動が取り上げられている。
第5学年～ 食べたいものや自分の家までの最短ルートについて互いに紹介するなど，自分の考えや気持ちを伝え合う活動
第6学年～ 自分の住む地域に係り，必要だと思うものをたずねたり，その理由を答えたりするなど，短い会話をする活動

○ 「話すこと[発表]」については，目標を達成することができるよう，次のような学習活動が取り上げられている。
第5学年～ 日本の食べ物やアニメのキャラクターに関することなど，身近で簡単な事柄を話す活動
第6学年～ 簡単な語句や基本的な表現を用いて自分の憧れている人や小学校の思い出について，自分の考えや気持ちを話す活動

○ 「書くこと」については，目標を達成することができるよう，次のような学習活動が取り上げられている。
第5学年～ 友だちができることなど，音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句を書き写す活動
第6学年～ 印象に残ったできごとなど，音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いた例を参考にして書く活動

○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については，次のような学習活動が取り上げられている。
第5学年～ 単元を見通した学習課題を設定し，行ってみたい国をたずねることや，一緒に行きたい国の魅力を伝えて友だちを誘うことなどを組み合わせることにより，考えを広げたり深めたりする活動
第6学年～ 単元を見通した学習課題を設定し，中学校でやってみたいことをたずねることや，中学校を紹介してくれた人にお礼の手紙を書くことなどを組み合わせることにより，考えを広げたり深めたりする活動

内容の構成・排列	○ 内容の構成・排列については，次のような工夫がなされている。 第5学年～ Unit3において，1日の生活について聞く活動を通して，表現に慣れ親しんだ後，学んだ表現を使って家での仕事についてやり取りする活動に取り組み，終末の活動で，放課後の過ごし方について発表する活動へ展開するなど，系統的・発展的に学習できるような工夫 第6学年～ Unit2において，季節ごとの日本の楽しみについて聞く活動を通して，表現に慣れ親しんだ後，学んだ表現を使って日本で楽しめるものを紹介し合う活動に取り組み，終末の活動で，日本の魅力を発表する活動へ展開するなど，系統的・発展的に学習できるような工夫
使用上の配慮等	○ 「Friends around the World」（全学年）では，世界の人々とのコミュニケーションに欠かせ ない異文化理解を促すなど，児童の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 見通しをもって学習が進められる Unit 全体の GOAL（全学年）や，巻末の「Can-Do List」（全学年）を設けるなど，児童が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ 全ての児童にとって，読みやすいフォントとなるよう配慮したり（全学年），識別しやすい配色を用いたり（全学年）するとともに，1人1台端末を活用した学習活動として，各単元において，二次元コードを掲載し，アニメーションや単語クイズを活用できるようにする（全学年）など，使用上の便宜が図られている。
その他	○ 各単元に，導入として「Unit 扉」を設け，単元の GOAL や小単元のめあてを記載するとともに，言語材料の使用場面や目指すゴールのイメージをアニメーションで提示するなど，児童が各単元で何ができるようになるかが理解できるような工夫がなされている。 ○ 学習への興味・関心を高める支援や個別学習への対応として，二次元コードにアクセスすることで，児童が多様な音声や映像の資料をいつでも視聴できるような工夫がなされている。 ○ 各単元に，外国人が自分の国について紹介する映像や，異文化や日本とのつながりを紹介するアニメーションを視聴できるコーナーを設け，児童が日本と外国の違いや異文化への理解を深めることができるような工夫がなされている。

小委員会委員氏名

小委員長名	委　員	委　員	委　員	委　員	委　員
寺崎　歩 （椴法華小）	長尾　智絵 （学識経験者）	向　大喬 （PTA）	中村健太郎 （あさひ小）	横山　嘉弘 （鍛神小）	藤本　歩 （港小）

1 教科書名

発行者名	教科書の記号・番号					
2 東京書籍	道徳 112	道徳 212	道徳 312	道徳 412	道徳 512	道徳 612
教科書名	新編 あたらしいどうとく1	新編 新しいどうとく 2	新編 新しいどうとく 3	新編 新しいどうとく 4	新編 新しい道徳5	新編 新しい道徳6

2 調査研究内容

取扱内容（学習指導要領の総則及び各教科，各学年の目標，内容等）	○ 生命の尊厳については，目標を達成することができるよう，次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 自身の誕生に対する周囲の喜びなどを基に，生きることのすばらしさを知り，生命を大切にすることについて考える活動 第2学年～ 食物連鎖などを基に，生きることのすばらしさを知り，生命を大切にすることについて考える活動 第3学年～ 重い病気を患っている子どもをもつ親の生き方などを基に，生命の尊さを知り，生命あるものを大切にすることについて考える活動 第4学年～ 健康でいることへの喜びなどを基に，生命の尊さを知り，生命あるものを大切にすることについて考える活動 第5学年～ 病気で命を失った子どもの話などを基に，生命はつながりの中にあるかけがえのないものであり，生命を尊重することの大切さについて考える活動 第6学年～ 病気で命を失った子どもの話などを基に，生命はつながりの中にあるかけがえのないものであり，生命を尊重することの大切さについて考える活動 ○ 自然については，目標を達成することができるよう，次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 季節の移り変わりに伴う草木の変化などを基に，身近な自然や動植物に優しい心で接することの大切さについて考える活動 第2学年～ 公園にいる生きものとのふれあいなどを基に，身近な自然や動植物に優しい心で接することの大切さについて考える活動 第3学年～ 身近な動物に対し，大切にしたいことなどを基に，自然のすばらしさ や不思議さを感じ取り，自然や動植物を大切にすることについて考える活動 第4学年～ フクロウの観察などを基に，自然のすばらしさや不思議さを感じ取り，自然や動植物を大切にすることについて考える活動 第5学年～ イルカの保護活動などを基に，自然の偉大さを知り，自然環境を大切にすることについて考える活動 第6学年～ 外来種の問題などを基に，自然の偉大さを知り，自然環境を大切にすることについて考える活動 ○ 伝統と文化については，目標を達成することができるよう，次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 他の国から来た食べ物などを基に，我が国や郷土の文化と生活に親しみ，愛着をもつことの大切さについて考える活動 第2学年～ 通学路における四季の移ろいなどを基に，我が国や郷土の文化と生活に親しみ，愛着をもつことの大切さについて考える活動 第3学年～ 自治体のイメージキャラクターなどを基に，我が国や郷土の伝統と文化を大切にし，国や郷土を愛する心をもつことの大切さについて考える活動 第4学年～ ふろしきの使い方などを基に，我が国や郷土の伝統と文化を大切にし，国や郷土を愛する心をもつことの大切さについて考える活動 第5学年～ 正月料理などを基に，我が国や郷土の伝統と文化を大切にし，先人の努力を知り，国や郷土を愛する心をもつことの大切さについて考える活動 第6学年～ 坂本龍馬の生き方などを基に，我が国や郷土の伝統と文化を大切にし，先人の努力を知り，国や郷土を愛する心をもつことの大切さについて考える活動 ○ 情報化への対応については，目標を達成することができるよう，次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ ICT端末の正しい使い方を扱い，使い方のルールを守るためには，どのようなことが大切なのかを考える活動 第2学年～ ICT端末に係る依存症を扱い，使いすぎないようにするためには，どのようなことが大切なのかを考える活動 第3学年～ 著作権を侵害する場面を扱い，情報を発信する際のきまりを守るためには，どのようなことが大切なのかを考える活動 第4学年～ オンラインゲームで遊ぶ場面を扱い，友人と楽しく遊ぶためには，どのようなことが大切なのかを考える活動 第5学年～ ネットで動画を共有する場面を扱い，発信する情報に責任をもつためには，どのようなことが大切なのかを考える活動 第6学年～ インフォデミックが起こった場面を扱い，情報社会で差別が起きないようにするためには，どのようなことが大切なのかを考える活動

	○　主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については，次のような学習活動が取り上げられている。 第１学年～「おうだんほどうで」において，登場人物と同じようにお辞儀をしたり，やってみてどう思ったのかを友達と話し合ったりするなど，グループでの話合いや役割演技を通して，考えを広げたり，深めたりする活動第２学年～「いそいでいても」において，登場人物になって，挨拶をしてみたり，やってみてどう思ったのかを友達と話し合ったりするなど，グループでの話合いや役割演技を通して，考えを広げたり，深めたりする活動第２学年～「いそいでいても」において，登場人物と同じようにお辞儀をしたり，やってみてどう思ったのかを友達と話し合ったりするなど，グループでの話し合いや役割演技を通して，考えを広げたり，深めたりする活動 第３学年～「SL公園で」において，登場人物の行動の問題点について考えたり，将来の自分に向けてメッセージを送ったりするなど，考えを広げたり，深めたりする活動 第４学年～「大きな絵はがき」において，登場人物の悩みについて考えたり，自分が友達関係で生かしたいことを考えたりするなど，考えを広げたり，深めたりする活動 第５学年～「駅前広場は自転車置き場？」において，「子ども会の参加者」として，提案について話し合ったり，きまりが守られる社会にするために必要な心構えについて考えたりするなど，考えを広げたり，深めたりする活動 第６学年～「修学旅行の夜」において，自由と自分勝手の違いは何かについて考えたり，自由ではなく自分勝手だったことはないか自分を振り返ったりするなど，考えを広げたり，深めたりする活動
内容の構成・排列	○　内容の構成・排列については，次のような工夫がなされている。 ・言語活動については，各学年に，自分の考えを可視化し，友達と考えを比べ，多様な感じ方や考え方があることに気付くことができる「考えるためのツール」を配置し，児童が多様な感じ方や考え方に接する中で，考えを深め，判断し，表現する力などを育むことができる工夫 ・問題解決的な学習については，各学年に，道徳的価値に根差した問題を見付け，多面的・多角的に考えながら話し合う学習指導過程の提案として，「問題を見つけて考えよう」を配置し，自分との関わりで道徳的価値を捉え，自分なりに発展させていくことへの思いや課題が培われるような工夫 ・体験的な学習については，各学年に，「演じて考えよう（役割演技）」や「やってみて考えよう（動作化）」を配置し，体験的行為や活動を通じて学んだ内容から道徳的価値の意義などについて考えを深めるような工夫
使用上の配慮等	○　各学年に，道徳科の授業で養われる道徳性をイメージしながら学習に取り組めるように，「心のちから」や成長を実感できる「学習の記録」を配置し，自らの道徳性に係る成長を実感したり，新たな課題や目標をもったりするなど，児童の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○　各学年に，「どんな学びをするのかな？」や自分の考えを可視化し，話し合い活動を促すためのツールを配置し，児童が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○　全ての児童が学習しやすいよう，ユニバーサルデザインフォントやカラーユニバーサルデザインに配慮する（全学年）とともに，１人１台端末を活用した学習活動として，二次元コードを掲載し，「コンピュータで学びを広げよう」を活用できるようにする（全学年）など，使用上の便宜が図られている。
その他	○　1時間の学習の流れが一目でわかり，柔軟に活用できる，シンプルな教材構成となっており，掲載する発問を２つに絞るなど，児童が道徳的価値に迫ったり，自分を振り返ったりすることができるように工夫がなされている。 ○　すべての教材にQRコードが記載されており，自分の考えを可視化できるコンテンツがある。また，児童が一人一台端末を活用し，事前に朗読音声を聞いたり，場面絵を見たりすることができるなど主体的に学習できる工夫がなされている。 ○　いじめなどの今日的な課題についての学習教材はユニットとして編成され，より多角的に考えられるようになっている。また，関連する写真や動画などの資料で視覚的に捉えることができ，興味をもって学習することができるような工夫がなされている。

小委員会委員氏名

小委員長名	委　員	委　員	委　員	委　員	委　員	委　員
永井　貴之 （東山小）	白府　士孝 （学識経験者）	向　大喬 （PTA）	平石　仁恵 （北昭和小）	三浦　明子 （南本通小）	永井　均 （駒場小）	高橋八千代 （本通小）

1 教科書名

発行者名	教科書の記号・番号					
38 教育出版	道徳・113	道徳・213	道徳・313	道徳・413	道徳・513	道徳・613
教科書名	しょうがくどうとく1 はばたこうあすへ	小学どうとく2 はばたこう明日へ	小学どうとく3 はばたこう明日へ	小学道徳4 はばたこう明日へ	小学道徳5 はばたこう明日へ	小学道徳6 はばたこう明日へ

2 調査研究内容

取扱内容（学習指導要領の総則及び各教科，各学年の目標，内容等）	○ 生命の尊厳については，目標を達成することができるよう，次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ お母さんのお腹の中での命のはじまりなどを基に，生きることのすばらしさを知り，生命を大切にすることについて考える活動 第2学年～ 地震による災害などを基に，生きることのすばらしさを知り，生命を大切にすることについて考える活動 第3学年～ 重い病気を患っている子どもの生き方などを基に，生命の尊さを知り，生命あるものを大切にすることについて考える活動 第4学年～ 院内学級の児童が書いた「命」の詩などを基に，生命の尊さを知り，生命あるものを大切にすることについて考える活動 第5学年～ 病気で命を失った兄弟の話などを基に，生命はつながりの中にあるかけがえのないものであり，生命を尊重することの大切さについて考える活動 第6学年～ 院内学級の教師の思いなどを基に，生命はつながりの中にあるかけがえのないものであり，生命を尊重することの大切さについて考える活動 ○ 自然については，目標を達成することができるよう，次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 自然の中での遊びの経験などを基に，身近な自然や動植物に優しい心で接することの大切さについて考える活動 第2学年～ 生き物と関わるときに気を付けることなどを基に，身近な自然や動植物に優しい心で接することの大切さについて考える活動 第3学年～ 動物園の飼育員の行動などを基に，自然のすばらしさや不思議さを感じ取り，自然や動植物を大切にすることについて考える活動 第4学年～ 世界自然遺産などを基に，自然のすばらしさや不思議さを感じ取り，自然や動植物を大切にすることについて考える活動 第5学年～ 自然保護活動などを基に，自然の偉大さを知り，自然環境を大切にすることについて考える活動 第6学年～ プラスチックごみの問題などを基に，自然の偉大さを知り，自然環境を大切にすることについて考える活動 ○ 伝統と文化については，目標を達成することができるよう，次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 昔から伝わる日本の行事などを基に，我が国や郷土の文化と生活に親しみ，愛着をもつことの大切さについて考える活動 第2学年～ 生まれ育ったふるさとなどを基に，我が国や郷土の文化と生活に親しみ，愛着をもつことの大切さについて考える活動 第3学年～ 地域に伝わる祭りや行事などを基に，我が国や郷土の伝統と文化を大切にし，国や郷土を愛する心をもつことの大切さについて考える活動 第4学年～ 日本や地域の伝統の食べ物などを基に，我が国や郷土の伝統と文化を大切にし，国や郷土を愛する心をもつことの大切さについて考える活動 第5学年～ 伝統的工芸品などを基に，我が国や郷土の伝統と文化を大切にし，先人の努力を知り，国や郷土を愛する心をもつことの大切さについて考える活動 第6学年～ 松浦武四郎の生き方などを基に，我が国や郷土の伝統と文化を大切にし，先人の努力を知り，国や郷土を愛する心をもつことの大切さについて考える活動

	○ 情報化への対応については，目標を達成することができるよう，次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 掲示板で友達に伝える場面を扱い，嘘を伝えて，困らせないためには，どのようなことが大切なのかを考える活動 第2学年～ インターホンでアンケートを受ける場面を扱い，安全に気を付けて毎日の生活を送るためには，どのようなことが大切なのかを考える活動 第3学年～ 新聞づくりの場面を扱い，情報を発信する際のきまりを守るためには，どのようなことが大切なのかを考える活動 第4学年～ インターネットでプレゼントの応募をする場面を扱い，自分の情報を守るためには，どのようなことが大切なのかを考える活動 第5学年～ SNSによるいじめの場面を扱い，自分が被害を受けたときに適切な対応をするためには，どのようなことが大切なのかを考える活動 第6学年～ インターネットで情報を発信する場面を扱い，他人のプライバシー権を侵害しないためには，どのようなことが大切なのかを考える活動 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については，次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 「こくばんとうばん」において，登場人物の続きの言葉を考えたり，にっこりと笑った役になって演じたりするなど，グループでの話合いや役割演技を通して，考えを広げたり，深めたりする活動 第2学年～ 「あいさつのしかた」において，登場人物になって，挨拶をしてみたり，やってみてどう思ったのか，友達と話し合ったりするなど，グループでの話合いや役割演技を通して，考えを広げたり，深めたりする活動 第3学年～ 「新聞係」において，新聞係の問題点について考え，発表したり，みんなから喜ばれる新聞を作るための解決方法を話し合ったりするなど，考えを広げたり，深めたりする活動 第4学年～ 「プロレスごっこ」において，クラスの問題点について考え，発表したり，自分がクラスの一員だったら，どうしたいかを発表したりするなど，考えを広げたり，深めたりする活動 第5学年～ 「図書館はだれのもの」において，自分が「わたし」だったら，どうするのかについて話し合ったり，身のまわりにあるきまりは，何のために作られているのかを考えたりするなど，考えを広げたり，深めたりする活動 第6学年～ 「○○しながら」において，複数のことを同時にやって失敗した際の問題点について考えたり，事例の共通点，異なる点，問題の重さについて話し合ったりするなど，考えを広げたり，深めたりする活動
内容の構成・排列	○ 内容の構成・排列については，次のような工夫がなされている。 ・言語活動については，各学年に，児童が話し合ったり，自分の考えをまとめたりするための「学習のてびき」に「考えよう」「深めよう」を配置し，児童が多様な感じ方や考え方に接する中で，考えを深め，判断し，表現する力などを育むことができる工夫 ・問題解決的な学習については，各学年に，児童が自ら課題を見つけ，友達と議論を重ねながら課題の解決方法を見いだすための「学習のてびき」を配置し，自分との関わりで道徳的価値を捉え，自分なりに発展させていくことへの思いや課題が培われるような工夫 ・体験的な学習については，各学年に，演じたり，話し合ったりしながら自分の考えを発表する「やってみよう」を配置し，体験的行為や活動を通じて学んだ内容から道徳的価値の意義などについて考えを深めるような工夫
使用上の配慮等	○ 各学年に，道徳の学びへの意識を高めながら，見通しをもって学習に取り組める「学びのガイダンス」や各教材末に学習を振り返る「学びチェック」欄を配置し，自らの道徳性に係る成長を実感したり，新たな課題や目標をもったりするなど，児童の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 各学年に，「道徳ではこんな学び方をするよ」や教材での学びをさらに深め充実させる「タブレットを学習に生かそう」を配置し，児童が主体的に学習に取り組むこと ができるような工夫がなされている。 ○ 全ての児童が学習しやすいよう，ユニーバーサルデザインフォントやカラーユニバーサルデザインに配慮する（全学年）とともに，1人1台端末を活用した学習活動として，二次元コードを掲載し，「まなびリンク」を活用できるようにする（全学年）など，使用上の便宜が図られている。
その他	○ 授業の展開に合わせて「体験的な学習」や「問題解決的な学習」などの「学びの手引き」を用意し，児童が「考え，議論する道徳」を実現できるような工夫がなされている。 ○ 「学びの手引」や「まなびリンク」など，「考え，議論する道徳」を重視し，児童が学び方を身に付け，多様な言語活動を行いながら自分の考えを深めたり広げたりできるように内容の構成が配慮され，主体的に学習することができるような工夫がなされている。 ○ 学年段階や道徳性の発達に応じて，SDGs や情報モラル，ソーシャルスキルなど，今日的な教育課題や児童を取り巻く環境の変化に適切に対応できるように教材や資料が工夫され，興味をもって学習することができるような工夫がなされている。

小委員会委員氏名

小委員長名	委　員	委　員	委　員	委　員	委　員	委 員
永井 貴之 （東山小）	白府 士孝 （学識経験者）	向 大喬 （PTA）	平石 仁恵 （北昭和小）	三浦 明子 （南本通小）	永井　均 （駒場小）	高橋八千代 （本通小）

1 教科書名

発行者名	教科書の記号・番号					
38	道徳	道徳	道徳	道徳	道徳	道徳
光村図書	114	214	314	414	514	614
教科書名	どうとく1 きみがいちばんひかるとき	どうとく2 きみがいちばんひかるとき	どうとく3 きみがいちばんひかるとき	道徳4 きみがいちばんひかるとき	道徳5 きみがいちばんひかるとき	道徳6 きみがいちばんひかるとき

2 調査研究内容

取扱内容（学習指導要領の総則及び各教科，各学年の目標，内容等）

○ 生命の尊厳については，目標を達成することができるよう，次のような学習活動が取り上げられている。
第1学年～ 生まれたばかりの赤ちゃんなどを基に，生きることのすばらしさを知り，生命を大切にすることについて考える活動
第2学年～ 小さな頃と比べて，変わってきたと思うところを基に，生きることのすばらしさを知り，生命を大切にすることについて考える活動
第3学年～ モンシロチョウが森の池に落ちたことなどを基に，生命の尊さを知り，生命あるものを大切にすることについて考える活動
第4学年～ おなかの中の小さな命などを基に，生命の尊さを知り，生命あるものを大切にすることについて考える活動
第5学年～ 精一杯生きることなどを基に，生命はつながりの中にあるかけがえのないものであり，生命を尊重することの大切さについて考える活動
第6学年～ 祖母をみとったことなどを基に，生命はつながりの中にあるかけがえのないものであり，生命を尊重することの大切さについて考える活動

○ 自然については，目標を達成することができるよう，次のような学習活動が取り上げられている。
第1学年～ 草花や動物の世話をしたことなどを基に，身近な自然や動植物に優しい心で接することの大切さについて考える活動
第2学年～ ダンゴムシを飼うことなどを基に，身近な自然や動植物に優しい心で接することの大切さについて考える活動
第3学年～ 都会で，トンボを守る取組などを基に，自然のすばらしさや不思議さを感じ取り，自然や動植物を大切にすることについて考える活動
第4学年～ ウミガメの飼育と観察などを基に，自然のすばらしさや不思議さを感じ取り，自然や動植物を大切にすることについて考える活動
第5学年～ 自然はすごいな，素晴らしい」と思ったことなどを基に，自然の偉大さを知り，自然環境を大切にすることについて考える活動
第6学年～ プラスチックゴミが自然に与える影響などを基に，自然の偉大さを知り，自然環境を大切にすることについて考える活動

○ 伝統と文化については，目標を達成することができるよう，次のような学習活動が取り上げられている。
第1学年～ 日本や，住んでいるところに伝わる遊びなどを基に，我が国や郷土の文化と生活に親しみ，愛着をもつことの大切さについて考える活動
第2学年～ 食べたことのあるおせちなどを基に，我が国や郷土の文化と生活に親しみ，愛着をもつことの大切さについて考える活動
第3学年～ ふろしきのいろいろな包み方などを基に，我が国や郷土の伝統と文化を大切にし，国や郷土を愛する心をもつことの大切さについて考える活動
第4学年～ ふるさとの伝統的な行事などを基に，我が国や郷土の伝統と文化を大切にし，国や郷土を愛する心をもつことの大切さについて考える活動
第5学年～ 地域のよさなどを基に，我が国や郷土の伝統と文化を大切にし，先人の努力を知り，国や郷土を愛する心をもつことの大切さについて考える活動
第6学年～ 日本のよさなどを基に，我が国や郷土の伝統と文化を大切にし，先人の努力を知り，国や郷土を愛する心をもつことの大切さについて考える活動

○ 情報化への対応については，目標を達成することができるよう，次のような学習活動が取り上げられている。
第1学年～ 休み時間の場面を扱い，みんなで使う物や場所の約束や決まりを守るためには，どのようなことが大切なのかを考える活動
第2学年～ 図工の時間の場面を扱い，誰かが作ったものを扱うときには，どのようなことが大切なのかを考える活動
第3学年～ 夜寝るときに，ゲームをする場面を扱い，「やめられない」を断ち切るためには，どのようなことが大切なのかを考える活動
第4学年～ 公園に行く場面を扱い，お互いが分かり合うためには，どのようなことが大切なのかを考える活動
第5学年～ インターネットを利用する場面を扱い，インターネットの特性を踏まえたマナーを守るためには，どのようなことが大切なのかを考える活動
第6学年～ スマートフォンで写真を投稿する場面を扱い，安心してインターネットを利用するためには，どのようなことが大切なのかを考える活動

	○　主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については，次のような学習活動が取り上げられている。 第１学年～　「二わのことり」において，小鳥の話したことを考えたり，演じたり，演じているのを見たりした後，思ったことを話したりするなど，グループの話し合いや役割演技を通して，考えを広げたり，深めたりする活動 第２学年～　「けんかをしたけど」において，好きなことを理由と一緒に伝えたり，伝え合ってよかったことを出し合ったりするなど，グループでの話合いや役割演技を通して，考えを広げたり，深めたりする活動 第３学年～　「なおとからのしつもん」において，なおとの質問に，どう答えるかを考えたり，公平に接することができる人が大切にしていることを話し合ったりするなど，考えを広げたり，深めたりする活動 第４学年～　「みんな同じだったら」において，自分の特徴は，どのようなところか，マップを使って書き出したり，自分のよいところを書いてもらったりするなど，考えを広げたり，深めたりする活動 第５学年～　「みんな，おかしいよ！」において，登場人物の言い分を整理したり，相手と理解し合うためには，どのようなことが大切なのかを考えたりするなど，考えを広げたり，深めたりする活動 第６学年～　子ども会のキャンプ」において，謝る人と，謝られる人を交代して，言葉をかけ合ったり，言葉をかけ合って，よかったことを話し合ったりするなど，考えを広げたり，深めたりする活動
内容の構成・排列	○　内容の構成・排列については，次のような工夫がなされている。 ・言語活動については，各学年に，児童から考えを引き出し深めていくさまざまな手立て「道徳で使う言葉」「考えよう・話し合おう」を配置し，児童が多様な感じ方や考え方に接する中で，考えを深め，判断し，表現する力などを育むことができる工夫 ・問題解決的な学習については，各学年に，学んだことを自分に引き寄せて考えたり，問題を解決するためにはどうすればよいかを考えたりするための「学習のてびき」を配置し，自分との関わりで道徳的価値を捉え，自分なりに発展させていくことへの思いや課題が培われるような工夫 ・体験的な学習については，各学年に，演じている人の表情やしぐさをよく見て，言っていることをよく聞いて，考える「演じて考えよう」を配置し，体験的行為や活動を通じて学んだ内容から道徳的価値の意義などについて考えを深めるような工夫
使用上の配慮等	○　各学年に，期待感をもって学習に向かい，1年間の学習を見通すことができるよう「道徳みちあんない」や巻末に，1時間ごとの振り返りを記録する折込「学びの記録」を配置し，自らの道徳性に係る成長を実感したり，新たな課題や目標をもったりするなど，児童の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○　各学年に，楽しみながら考えることができるよう「なんだろう　なんだろう」や，教材を通して何を学ぶかを意識できるよう「学びのテーマ」を配置し，児童が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○　全ての児童が学習しやすいよう，ユニーバーサルデザインフォントやカラーユニバーサルデザインに配慮する（全学年）とともに，１人１台端末を活用した学習活動として，二次元コードを掲載し，デジタルコンテンツを活用できるようにする（全学年）など，使用上の便宜が図られている。
その他	○　各教材には，1時間の学びの道筋を示した「てびき」を用意し，ユニバーサルデザインや特別支援教育などの観点から見やすく，対話を重ねることで，新たな考えに気がついたり，自分を見つめられたりするよう工夫がなされている。 ○　学校で行われている活動や行事を題材にした教材，また今日的な課題「いじめ問題」「情報モラル」「環境」「共生」をユニットで構成するなど，学校生活や身近な生活の中で道徳的価値に気付くことができるように配慮されている。 ○　教材に沿った道徳の学び方を示し，教材・他者・自分との対話が意識できるように示している。また，相手の存在や意見を受け止めることに重点を置いた，対話の練習を促す活動を設定することで，主体的・対話的に学習できるような工夫がなされている。

小委員会委員氏名

小委員長名	委　員	委　員	委　員	委　員	委　員	委　員
永井　貴之 （東山小）	白府　士孝 （学識経験者）	向　大喬 （PTA）	平石　仁恵 （北昭和小）	三浦　明子 （南本通小）	永井　均 （駒場小）	高橋八千代 （本通小）

1 教科書名

発行者名	教科書の記号・番号					
116 日本文教	道徳 115 116	道徳 215 216	道徳 315 316	道徳 415 416	道徳 515 516	道徳 615 616
教科書名	しょうがくどうとく いきるちから1，どうとくノート	小学どうとく 生きる力2，どうとくノート	小学どうとく 生きる力3，どうとくノート	小学道徳 生きる力4，道徳ノート	小学道徳 生きる力5，道徳ノート	小学道徳 生きる力6，道徳ノート

2 調査研究内容

〔取扱内容 学習指導要領の総則及び各教科，各学年の目標，内容等〕

○ 生命の尊厳については，目標を達成することができるよう，次のような学習活動が取り上げられている。

第1学年～ お母さんのお腹の中の赤ちゃんなどを基に，生きることのすばらしさを知り，生命を大切にすることについて考える活動

第2学年～ 交通事故でのけがなどを基に，生きることのすばらしさを知り，生命を大切にすることについて考える活動

第3学年～ 子どもの命を大切に思う親の気持ちなどを基に，生命の尊さを知り，生命あるものを大切にすることについて考える活動

第4学年～ 命に向き合ってきた医師の生き方などを基に，生命の尊さを知り，生命あるものを大切にすることについて考える活動

第5学年～ 命を守るために懸命に努力した人などを基に，生命はつながりの中にあるかけがえのないものであり，生命を尊重することの大切さについて考える活動

第6学年～ 白血病で亡くなった男の子の話などを基に，生命はつながりの中にあるかけがえのないものであり，生命を尊重することの大切さについて考える活動

○ 自然については，目標を達成することができるよう，次のような学習活動が取り上げられている。

第1学年～ つばめの子育ての話などを基に，身近な自然や動植物に優しい心で接することの大切さについて考える活動

第2学年～ 自分が生き物を観察したときのことなどを基に，身近な自然や動植物に優しい心で接することの大切さについて考える活動

第3学年～ 水やりをさぼってかれたサルビアなどを基に，自然のすばらしさや不 思議さを感じ取り，自然や動植物を大切にすることについて考える活動

第4学年～ 道端の小さな草たちなどを基に，自然のすばらしさや不思議さを感じ取り，自然や動植物を大切にすることについて考える活動

第5学年～ 自然を大切にしようと思った経験などを基に，自然の偉大さを知り，自然環境を大切にすることについて考える活動

第6学年～ 環境保護活動に尽力した人の生き方などを基に，自然の偉大さを知り，自然環境を大切にすることについて考える活動

○ 伝統と文化については，目標を達成することができるよう，次のような学習活動が取り上げられている。

第1学年～ 日本の昔から伝わるお菓子などを基に，我が国や郷土の文化と生活に親しみ，愛着をもつことの大切さについて考える活動

第2学年～ 長岡の大花火にこめられた思いや願いなどを基に，我が国や郷土の文化と生活に親しみ，愛着をもつことの大切さについて考える活動

第3学年～ 東京産の野菜などを基に，我が国や郷土の伝統と文化を大切にし，国や郷土を愛する心をもつことの大切さについて考える活動

第4学年～ 江戸時代の浮世絵などを基に，我が国や郷土の伝統と文化を大切にし，国や郷土を愛する心をもつことの大切さについて考える活動

第5学年～ 和太鼓職人の思いなどを基に，我が国や郷土の伝統と文化を大切にし，先人の努力を知り，国や郷土を愛する心をもつことの大切さについて考える活動

第6学年～ 日本の伝統的な作法などを基に，我が国や郷土の伝統と文化を大切にし，先人の努力を知り，国や郷土を愛する心をもつことの大切さについて考える活動

○ 情報化への対応については，目標を達成することができるよう，次のような学習活動が取り上げられている。

第1学年～ 羊飼いが嘘をついて楽しむ場面を扱い，自分のことを信じてもらうためには，どのようなことが大切なのかを考える活動

第2学年～ 夜遅くまで動画を観て，寝坊した場面を扱い，規則正しい生活を送るためには，どのようなことが大切なのかを考える活動

第3学年～ 約束を破ってゲームをする場面を扱い，タブレットなどを正しく使うためには，どのようなことが大切なのかを考える活動

第4学年～ インターネットでのやり取りの場面を扱い，上手にやり取りするためには，どのようなことが大切なのかを考える活動

第5学年～ 電話で友達と約束した場面を扱い，友達とのすれ違いが起こらないようにするためには，どのようなことが大切なのかを考える活動

第6学年～ 携帯電話を夜中まで使う場面を扱い，毎日同じリズムで生活するためには，どのようなことが大切なのかを考える活動

	○　主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については，次のような学習活動が取り上げられている。 第１学年～　「あいさつのあるいちにち」において，互いに挨拶をするときの気持ちを話し合ったり，挨拶をするときと，しないときを演じたりするなど，グループでの話合いや役割演技を通して，考えを広げたり，深めたりする活動 第２学年～　「あぶないよ」において，自分の安全のために心掛けることを考えたり，知らない人に車に乗るように言われた場面を演じたりするなど，グループでの話合いや役割演技を通して，考えを広げたり，深めたりする活動 第３学年～　「これ，全部東京産」において，東京の味を守り続けている店員の思いを考えたり，インターネットで地域で大切にしていることを調べたりするなど，考えを広げたり，深めたりする活動 第４学年～　「つくればいいでしょ」において，自分の長所を伸ばすために取り組むことを考えたり，自分のよさを友達や家族に聞いたりするなど，考えを広げたり，深めたりする活動 第５学年～　「マンガ家　手塚　治虫」において，手塚さんがマンガ家を続けられた思いを考えたり，自分のよさを伸ばすために大切にすることを考えたりするなど，考えを広げたり，深めたりする活動 第６学年～　「わたしのせいじゃない」において，いじめを断ち切るための心のもち方を考えたり，いじめを止めるために，誰に話しかけるべきかを話し合ったりするなど，考えを広げたり，深めたりする活動
内容の程度・排列	○　内容の構成・排列については，次のような工夫がなされている。 ・言語活動については，各学年に，児童が協働的な学びを進めるための「話す」，「聞く」，「書く」などの学習方法を紹介する「道徳の学び方」を配置し，児童が多様な感じ方や考え方に接する中で，考えを深め，判断し，表現する力などを育むことができる工夫 ・問題解決的な学習については，各学年に，問題をつかむ活動や考える活動を促す発問など，児童の思考と対話を促した上で学習の参考となる「ぐっと深める」を配置し，自分との関わりで道徳的価値を捉え，自分なりに発展させていくことへの思いや課題が培われるような工夫 ・体験的な学習については，各学年に，役割演技や動作化を通して思考を深める「ぐっと深める」を配置し，体験的行為や活動を通じて学んだ内容から道徳的価値の意義などについて考えを深めるような工夫
使用上の配慮等	○　各学年に，学習意欲を高め，主体的な学習態度の育成につなげる「オリエンテーション」や道徳の時間での学びを深める「学期ごとの振り返りページ」を配置し，自らの道徳性に係る成長を実感したり，新たな課題や目標をもったりするなど，児童の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○　各学年に，学びを広げ，深める「コラム　心のベンチ」や「導入の発問例」，「考えてみよう」，「見つめよう・生かそう」の3つの発問例を配置し，児童が主体的に学習に取り組むことができような工夫がなされている。 ○　全ての児童が学習しやすいよう，カラーユニバーサルデザインや漢字の振り仮名に配慮する（全学年）とともに，１人１台端末を活用した学習活動として，二次元コードを掲載し，「教科書QRコンテンツ」を活用できるようにする（全学年）など，使用上の便宜が図られている。
その他	○　教材に応じて，授業の流れに沿った 3 つの発問の例を全教科に示し，教師と児童が授業の方向性を共有し，じっくりと学習活動に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○　コラムや教科書 QR コンテンツなど，多角的・多面的な見方・考え方へ視野が広がるような資料が用意され，主体的・対話的に学習できるような工夫がなされている。 ○　いじめ防止や情報モラル，SDGsなど，今日的な課題に関する多様なテーマについて思考し，また，協働して問題を解決する意欲を持続しながら学習することができるような工夫がなされている。

小委員会委員氏名

小委員長名	委　員	委　員	委　員	委　員	委　員	委 員
永井　貴之 （東山小）	白府　士孝 （学識経験者）	向　大喬 （PTA）	平石　仁恵 （北昭和小）	三浦　明子 （南本通小）	永井　均 （駒場小）	高橋八千代 （本通小）

1 教科書名

発行者名	教科書の記号・番号					
208 光文書院	道徳 117	道徳 217	道徳 317	道徳 417	道徳 517	道徳 617
教科書名	しょうがく どうとく ゆたかな こころ 1ねん	小学 どうとく ゆたかな こころ 2年	小学 どうとく ゆたかな 心 3年	小学 道徳 ゆたかな 心 4年	小学 道徳 ゆたかな 心 5年	小学 道徳 ゆたかな 心 6年

2 調査研究内容

取扱内容（学習指導要領の総則及び各教科，各学年の目標，内容等）	○ 生命の尊厳については，目標を達成することができるよう，次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 身体の不自由な動物の子育てなどを基に，生きることのすばらしさを知り，生命を大切にすることについて考える活動 第2学年～ 自分や家族の病気やけがなどを基に，生きることのすばらしさを知り，生命を大切にすることについて考える活動 第3学年～ 自身の先祖について考えることなどを基に，生命の尊さを知り，生命あるものを大切にすることについて考える活動 第4学年～ 院内学級の児童が書いた「命」の詩などを基に，生命の尊さを知り，生命あるものを大切にすることについて考える活動 第5学年～ 動物の命を守る人の話などを基に，生命はつながりの中にあるかけがえのないものであり，生命を尊重することの大切さについて考える活動 第6学年～ 事故で息子を失った親の話などを基に，生命はつながりの中にあるかけがえのないものであり，生命を尊重することの大切さについて考える活動 ○ 自然については，目標を達成することができるよう，次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 動物と触れ合ったときの気持ちなどを基に，身近な自然や動植物に優しい心で接することの大切さについて考える活動 第2学年～ 身近な植物の様子の移り変わりなどを基に，身近な自然や動植物に優しい心で接することの大切さについて考える活動 第3学年～ 絶滅の危機にある動物などを基に，自然のすばらしさや不思議さを感じ取り，自然や動植物を大切にすることについて考える活動 第4学年～ 北海道の自然とエゾリスの関係などを基に，自然のすばらしさや不思議さを感じ取り，自然や動植物を大切にすることについて考える活動 第5学年～ 国立公園の自然を守る取組などを基に，自然の偉大さを知り，自然環境を大切にすることについて考える活動 第6学年～ 北海道のエゾマツなどを基に，自然の偉大さを知り，自然環境を大切にすることについて考える活動 ○ 伝統と文化については，目標を達成することができるよう，次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 紅葉狩りの経験などを基に，我が国や郷土の文化と生活に親しみ，愛着をもつことの大切さについて考える活動 第2学年～ ふるさとで作られた食物などを基に，我が国や郷土の文化と生活に親しみ，愛着をもつことの大切さについて考える活動 第3学年～ 住んでいる土地の伝統行事などを基に，我が国や郷土の伝統と文化を大切にし，国や郷土を愛する心をもつことの大切さについて考える活動 第4学年～ 自分の町の誇りとなる物などを基に，我が国や郷土の伝統と文化を大切にし，国や郷土を愛する心をもつことの大切さについて考える活動 第5学年～ 市町村章などを基に，我が国や郷土の伝統と文化を大切にし，先人の努力を知り，国や郷土を愛する心をもつことの大切さについて考える活動 第6学年～ 熊本城の復旧などを基に，我が国や郷土の伝統と文化を大切にし，先人の努力を知り，国や郷土を愛する心をもつことの大切さについて考える活動 ○ 情報化への対応については，目標を達成することができるよう，次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ スマホやゲーム機を使う場面を扱い，スマホやタブレットを使うためには，どのようなことが大切なのかを考える活動 第2学年～ タブレットを使うときの母親との約束の場面を扱い，安全に気持ちよくタブレットを使うためには，どのようなことが大切なのかを考える活動

	第３学年～　インターネットの情報について判断する場面を扱い，情報と上手に付き合うためには，どのようなことが大切なのかを考える活動 第４学年～　オンラインゲームでいらいらしてしまう場面を扱い，互いが気持ちよく交流するためには，どのようなことが大切なのかを考える活動 第５学年～　権利について考える場面を扱い，他の人の権利を尊重するためには，どのようなことが大切なのかを考える活動 第６学年～　スマホの使い方に関する両親とのやり取りの場面を扱い，スマホを上手に使うためには，どのようなことが大切なのかを考える活動 ○　主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については，次のような学習活動が取り上げられている。 第１学年～「あいさつでげんきに」において，友だちと気持ちをこめた挨拶の練習をしたり，一言付け加えた挨拶をしたりするなど，グループでの話合いや役割演技を通して，考えを広げたり，深めたりする活動 第２学年～「あいさつがきらいな王様」において，会話例を真似したり，合い言葉を意識して会話をしたりするなど，グループでの話合いや役割演技を通して，考えを広げたり，深めたりする活動 第３学年～「ドンマイ！ドンマイ！」において，日直の仕事を忘れた友だちへ伝える言葉を考えたり，相手の気持ちを考えた言葉を伝えたりするなど，考えを広げたり，深めたりする活動 第４学年～「貝がら」において，サッカーの試合で負けた原因について友だちへ伝える言葉を考えたり，相手の気持ちを考えた言葉を伝えたりするなど，考えを広げたり，深めたりする活動 第５学年～「みんなの劇」において，友だちから遊びに誘われたときの断り方について考えたり，相手の気持ちを考えながら自分の思いを伝えたりするなど，考えを広げたり，深めたりする活動 第６学年～「温かいおまんじゅう」において，友だちから宿題を見せてと頼まれたときの断り方について考えたり，相手の気持ちを考えながら自分の思いを伝えたりするなど，考えを広げたり，深めたりする活動
内容の構成・排列	○　内容の構成・排列については，次のような工夫がなされている。 ・言語活動については，各学年に，書いてまとめることによって理解を深めたり，整理したりするための道徳のノートの例として「まとめよう・ふりかえろう」を配置し，児童が多様な感じ方や考え方に接する中で，考えを深め，判断し，表現する力などを育むことができる工夫 ・問題解決的な学習については，各学年に，他者の見方・考え方を確かめたり，ものごとを多面的・多角的に考えたりするための「話し合って考えてみよう」を配置し，自分との関わりで道徳的価値を捉え，自分なりに発展させていくことへの思いや課題が培われるような工夫 ・体験的な学習については，各学年に，コミュニケーションスキルを高めるための体験的な活動を行う「みんなでやってみよう!」を配置し，体験的行為や活動を通じて学んだ内容から道徳的価値の意義などについて考えを深めるような工夫
使用上の配慮等	○　各学年に，1年間の道徳の学習を振り返るとともに，次の学年に向けてのエールとなるような贈る言葉「ことばのたからもの」や巻末に児童が自らの学習状況を確かめる手立てとしての「学びの足あと」を配置し，自らの道徳性に係る成長を実感したり，新たな課題や目標をもったりするなど，児童の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○　各学年に，「道徳の時間は，こんな時間です」や考えを広めたり，深めたりする「考えよう（展開）」「まとめよう（終末）」を配置し，児童が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○　全ての児童が学習しやすいよう，ユニバーサルデザインや漢字に振り仮名を付けるなどの配慮をする（全学年）とともに，1人1台端末を活用した学習活動として，二次元コードを掲載し，デジタルコンテンツを活用できるようにする（全学年）など，使用上の便宜が図られている。
その他	○　冒頭に「導入」，次に「展開，思考ツール，終末，発展」を設置し，1時間の授業のねらいや流れを明確にし，問いをもって主体的に考えられるよう，学習展開・発問の工夫がなされている。 ○　教材名の下に，主題に関わる問題意識をもたせたり，教材の内容に興味関心をもたせたりすることで，児童が学習の意欲を高め，目的意識をもって主体的に学習できるような工夫がなされている。 ○　「いじめを生まない心」「命をかがやかせる」など，特に考えさせたい内容については，重点主題として複数時間配当し，児童が同じテーマを多角的な視点から考えたり，学びをさらに深めたりすることができるよう構成され，興味をもって学習することができるような工夫がなされている。

小委員会委員氏名

小委員長名	委　員	委　員	委　員	委　員	委　員	委　員
永井　貴之 （東山小）	白府　士孝 （学識経験者）	向　大喬 （PTA）	平石　仁恵 （北昭和小）	三浦　明子 （南本通小）	永井　均 （駒場小）	高橋八千代 （本通小）

1 教科書名

発行者名	教科書の記号・番号					
224 学研	道徳 118	道徳 218	道徳 318	道徳 418	道徳 518	道徳 618
教科書名	新版 みんなのどうとく 1	新版 みんなのどうとく 2	新版 みんなのどうとく 3	新版 みんなの道徳 4	新版 みんなの道徳 5	新版 みんなの道徳 6

2 調査研究内容

取扱内容（学習指導要領の総則及び各教科，各学年の目標，内容等）	○ 生命の尊厳については，目標を達成することができるよう，次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 実物大の赤ちゃんの写真などを基に，生きることのすばらしさを知り，生命を大切にすることについて考える活動 第2学年～ 植物の成長などを基に，生きることのすばらしさを知り，生命を大切にすることについて考える活動 第3学年～ 闘病中の児童とその家族の思いなどを基に，生命の尊さを知り，生命あるものを大切にすることについて考える活動 第4学年～ 重い病気を患っている子どもの生き方などを基に，生命の尊さを知り，生命あるものを大切にすることについて考える活動 第5学年～ 児童が書いた「命」の詩を基に，生命はつながりの中にあるかけがえのないものであり，生命を尊重することの大切さについて考える活動 第6学年～ 天国に旅立った祖父の思いなどを基に，生命はつながりの中にあるかけがえのないものであり，生命を尊重することの大切さについて考える活動 ○ 自然については，目標を達成することができるよう，次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 昆虫を飼育する体験などを基に，身近な自然や動植物に優しい心で接することの大切さについて考える活動 第2学年～ 動物園のキリンの死などを基に，身近な自然や動植物に優しい心で接することの大切さについて考える活動 第3学年～ 山火事を止めようとした鳥の行動などを基に，自然のすばらしさや不思議さを感じ取り，自然や動植物を大切にすることについて考える活動 第4学年～ ウミガメの成長などを基に，自然のすばらしさや不思議さを感じ取り，自然や動植物を大切にすることについて考える活動 第5学年～ 病気の動物を支える活動などを基に，自然の偉大さを知り，自然環境を大切にすることについて考える活動 第6学年～ 清掃登山活動などを基に，自然の偉大さを知り，自然環境を大切にすることについて考える活動 ○ 伝統と文化については，目標を達成することができるよう，次のような学習活動が取りあげられている。 第1学年～ 正月の過ごし方などを基に，我が国や郷土の文化と生活に親しみ，愛着をもつことの大切さについて考える活動 第2学年～ 自分の町の好きなところなどを基に，我が国や郷土の文化と生活に親しみ，愛着をもつことの大切さについて考える活動 第3学年～ 大地震からの復興などを基に，我が国や郷土の伝統と文化を大切にし，国や郷土を愛する心をもつことの大切さについて考える活動 第4学年～ 折り紙などを基に，我が国や郷土の伝統と文化を大切にし，国や郷土を愛する心をもつことの大切さについて考える活動 第5学年～ 江戸時代の生活などを基に，我が国や郷土の伝統と文化を大切にし，先人の努力を知り，国や郷土を愛する心をもつことの大切さについて考える活動 第6学年～ 伝統的な祭などを基に，我が国や郷土の伝統と文化を大切にし，先人の努力を知り，国や郷土を愛する心をもつことの大切さについて考える活動 ○ 情報化への対応については，目標を達成することができるよう，次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 掲示板の内容を書き換える場面を扱い，元の情報を変えて困らせないためには，どのようなことが大切なのかを考える活動 第2学年～ 学級新聞に間違った情報を書いて友達から怒られた場面を扱い，情報を発信するためには，どのようなことが大切なのかを考える活動 第3学年～ 家のパソコン使用時の約束を破った場面を扱い，インターネットを安全に使うためには，どのようなことが大切なのかを考える活動 第4学年～ あるサイトに自分の名前を入力してしまう場面を扱い，自分の情報を守るためには，どのようなことが大切なのかを考える活動 第5学年～ SNSに写真をアップロードする場面を扱い，情報を発信する際には，どのようなことが大切なのかを考える活動 第6学年～ SNSのチャットで友達とやりとりする場面を扱い，情報社会でのコミュニケーションには，どのようなことが大切なのかを考える活動

	○　主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については，次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～「金のおの　ぎんのおの」において，話の続きを考えたり，登場人物同士が話す場面を演じたりするなど，グループでの話合いや役割演技を通して，考えを広げたり，深めたりする活動 第2学年～「およげないりすさん」において，登場人物になって，問題を相談する場面を演じたり，演じてみてどう思ったのかを友達と話し合ったりするなど，グループでの話合いや役割演技を通して，考えを広げたり，深めたりする活動 第3学年～「みんなの学級会」において，出された意見のよさについて考えたり，異なる意見が出たときの話し合いをまとめるために大切にすることを話し合ったりするなど，考えを広げたり，深めたりする活動 第4学年～「クラスたいこう全員リレー」において，登場人物の気持ちになって考えたり，自分がこの場にいたら，どんな発言をするのかを発表したりするなど，考えを広げたり，深めたりする活動 第5学年～「日本の『まん画の神様』」において，自分の長所を見つけたり伸ばしたりするために大切なことを考えたり，考えたことを話し合ったり，そこから考えたことを書いたりするなど，考えを広げたり，深めたりする活動 第6学年～「チョモランマ清掃登山隊」において，自然と共存するために，どんなことを大切にしたいか考えて書いたり，書いたものを読み合い，感じたことを話し合ったりするなど，考えを広げたり，深めたりする活動
内容の構成・排列	○　内容の構成・排列については，次のような工夫がなされている。 ・言語活動については，各学年に，児童が自由に意見や感想を記録できる記入欄や，考えを深めるきっかけとなる問いとして「考えよう」を配置し，児童が多様な感じ方や考え方に接する中で，考えを深め，判断し，表現する力などを育むことができる工夫 ・問題解決的な学習については，各学年に，児童が思考を整理するための三つのステップを通した学習の流れを提案する「深めよう」を配置し，自分との関わりで道徳的価値を捉え，自分なりに発展させていくことへの思いや課題が培われるような工夫 ・体験的な学習については，各学年に，自分につなげて考えたり，話題を広げたりする「心のパスポート」を配置し，体験的行為や活動を通じて学んだ内容から道徳的価値の意義などについて考えを深めるような工夫
使用上の配慮等	○　各学年に，自分を取り巻く社会へ意識を向けながら，自分自身とのつながりを探る「つながるわたし　ひろがるわたし」や巻末に1年間の学びや自らの成長を振り返る「つなげよう　ひろげよう」を配置し，自らの道徳性に係る成長を実感したり，新たな課題や目標をもったりするなど，児童の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○　各学年に，「道徳の学習がはじまるよ」や児童が自分の考えを深めるきっかけになるマークボックスを配置し，児童が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○　全ての児童が学習しやすいよう，ユニバーサルデザインフォントやカラーユニバーサルデザインに配慮する（全学年）とともに，1人1台端末を活用した学習活動として，二次元コードを掲載し，デジタルコンテンツを活用できるようにする（全学年）など，使用上の便宜が図られている。
その他	○　授業時間に合った適切な数・内容の発問を掲載したり，自由に意見や感想を記録できる欄を設けたりするなど，児童が問題意識をもち，自ら考え，議論する道徳が実現できるような工夫がなされている。 ○「かがやかせよう　いのち」「共に生きる」など，1つのテーマのもと，内容項目が異なる2教材を連続して学ぶユニット教材を設定している。児童がよりよく生きることについて，多面的・多角的に考えを深められ，興味をもって学習することができるような工夫がなされている。 ○　教材名の下には，「いじめの防止」「食育」など，関連する学びのテーマを示すマークを配置して，今日的課題につなげるなど，興味をもって学習することができるように構成されている。また，カリキュラム・マネジメントにも役立つ構成になっており，児童が主体的に学習できるような工夫がなされている。

小委員会委員氏名

小委員長名	委　員	委　員	委　員	委　員	委　員	委　員
永井　貴之 （東山小）	白府　士孝 （学識経験者）	向　大喬 （PTA）	平石　仁恵 （北昭和小）	三浦　明子 （南本通小）	永井　均 （駒場小）	高橋八千代 （本通小）

小委員会名　　一般図書

教科	書名	発行者	著者名	価格	取扱内容 内容の程度・排列・分量等 使用上の配慮等	障がいの種類	発達の段階	備考
国語	ふわふわちゃん おでかけこんにちは	教育画劇	こが　ようこ	850	登場人物が動物に挨拶をする際の「こんにち…」の続きがページをめくった先に表示されており、子どもが次のページを楽しみにしたり、動物の鳴き声などを模倣したりできるように構成されている。 ページをめくると登場人物の表情や動きが変化するなど、子どもが場面の展開を理解しやすいよう配慮されている。挿絵の背景を簡素にすることで、子どもがイラストに注目しやすいよう工夫されている。	視聴知肢病	A	体裁は18.0×18.0cmで、ページ数は28ページである。 表紙は堅ろうである。 平成28年（2016年）発行
国語	手と手をつないで	ＢＬ出版	マーク・ スペアリング	1,600	登場人物が旅をする展開の中で、朝昼晩、四季の経過などの大体を捉えることができるように構成されている。「のばしてごらん。」「あるいていこう。」「つくろうね。」などの表現が多くあり、教師が子どもに語り掛けながら読み聞かせることができるよう配慮されている。 コラージュで作られた色彩豊かな挿絵により、子どもが興味をもって読むことができるよう工夫されている。	視聴知肢病	B	体裁は25.6×25.6cmで、ページ数は32ページである。 表紙は堅ろうである。 平成28年（2016年）発行
社会	みんなのきもちがわかるかな？ おもいやりの絵本	金の星社	WILLこども知育研究所	1,700	家族や友達、動物などと関わる場面や公共の場において、相手や他者の気持ちを考えた行動について学習できるよう構成されている。様々な場面や行動について相手がどのような気持ちになるかが示されており、子どもが相手の気持ちを想像できるよう配慮されている。 場面や表情が分かりやすいイラストで示されており、子どもが相手の気持ちや場面を視覚的に理解できるよう工夫されている。	視聴知肢病	C	体裁は、23.6×23.5cmで、ページ数は48ページである。 表紙はビニール装丁で、堅ろうである。 平成29年（2017年）発行
算数・数学	音のでるとけいえほん いまなんじ？	金の星社	森のくじら	2,200	分刻みに動かすことができるアナログ時計を操作することにより、時間の単位（時、分）について理解することができるよう構成されている。様々な生活場面に即した時刻を当てるクイズが設定されており、子どもが自身の生活と結び付けやすいよう配慮されている。 ボタンを押すことにより、音声で時刻を教えてくれたり、クイズを出題したりするなど、興味をもって取り組めるよう工夫されている。	視聴知肢病	B	体裁は15.6×15.6cmで、ページ数は15ページである。 紙質は厚手で堅ろうである。 平成26年（2014年）発行
算数・数学	さわって学べる算数図鑑	学研プラス	朝倉　仁	2,200	数と計算の理解に必要な、数と数量の表示や図形の種類などを、動かす・開ける・組み立てるなどの具体的な操作により、分かりやすく学べるよう構成されている。 足し算、掛け算、分数、図形などをいろいろな種類の仕掛けを使って体験的に理解できるよう配慮されている。 巻末はクイズになっていて、自分で選択して、指で操作して答えを導き出すので、意欲的に取り組めるよう工夫されている。	視聴知肢病	C	体裁は28.5×22.4cmで、ページ数は19ページである。 表紙は厚手で堅ろうである。中紙も厚い。 平成27年（2015年）発行

教科	書名	発行者	著者名	価格	取扱内容 内容の程度・排列・分量等 使用上の配慮等	障がいの種類	発達の段階	備考
音楽	うたってたたこう！ わくわくリズムあそび どうようえほん	金の星社	たかい　よしかず	2,200	全14曲の童謡について、伴奏に合わせてカスタネットや鈴の音などを鳴らせることができるよう構成されている。 見開きを使い、曲をテーマにした挿絵が描かれており、歌詞は平仮名で書かれるなど配慮されている。 大きなボタンを同時に押すことで，秘密のサウンド「やったね」「うまい」「たのしいね」といった秘密の声を楽しむことができるよう工夫されている。	視聴知肢病	A	体裁は、19.5×21.8cmで、ページ数は31ページである。 表紙はビニール装丁で、堅ろうである。 平成29年（2017年）発行
音楽	てあそびうた&ゆびあそびゲーム タブレット	朝日新聞出版	瀧　靖之	2,200	子どもになじみ深い曲が全30曲（英語の歌が５曲）掲載されており、曲に合わせて手や指などを使って遊べるよう構成されている。 曲に合わせた手や指遊びの仕方が示されており、体を使って曲を楽しめるよう配慮されている。 じゃんけんや旗揚げゲームなど、ボタンを押して遊ぶゲームが６種類入っており、子どもが簡単な遊びを理解できるよう工夫されている。	視聴知肢病	B	体裁は、25.0×19.0cmで、ページ数は36ページである。 表紙はビニール装丁で、堅ろうである。 平成29年（2017年）発行
音楽	おとがなるしかけえほん はじめてのオーケストラ	大日本絵画	サム・タブリン	2,000	音合わせの説明から始まり、「ハンガリー舞曲第５番」を演奏する管楽器や打楽器等の楽器の音色を実際に聞き比べ，音楽を形づくっている要素を理解できるよう構成されている。説明は全て平仮名で書かれており、楽器には平仮名で振り仮名が振ってあり子どもの読みやすさに配慮している。 音がなる仕掛けは、指で軽く触れるだけで扱いやすく、最後は二次元コードを読み取ることで、動画による演奏を聴けるなど、子どもの学習意欲が高まるよう工夫されている。	視聴知肢病	B	体裁は、21.6×21.7cmで、ページ数は10ページである。 表紙、中紙ともに厚紙で、堅ろうである。 平成29年（2017年）発行
技術・家庭 職業・家庭	親子で楽しんで、 驚くほど身につく！ こどもせいかつ百科	講談社	田中　昌子	1,800	食事や排泄、衣服の着脱、簡単な料理など、様々な日常生活場面の行動の仕方について学習できるよう構成されている。 様々な場面の生活動作が示されており、子どもの実態や興味・関心に応じて取り扱う題材を選定し指導できるよう配慮されている。 日常生活場面の行動が簡潔なイラストで順番に示されており、子どもが視覚的に理解できるよう工夫されている。	視聴知肢病	C	体裁は、24×19cmで、ページ数は128ページである。 表紙はビニール装丁である。 平成27年（2015年）発行

小委員会氏名

小委員長	委員	委員	委員	委員	委員
堤　勝幸 （中の沢小学校）	小林　郁 （八幡小学校）	桝田　慎司 （港小学校）	戸内　理恵 （深堀小学校）	白府　士孝 （函館短期大学）	小野田　府 （ＰＴＡ連合会）